1. 南袖大橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35°　26′　32.85″	橋梁ID
				経度	139°　56′　56.07″	35.442458,139.948908
南袖大橋 (フリガナ)ミナミソデオオハシ	南袖神納線	袖ケ浦市南袖地先				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市	2019.11.13	東京湾	有	一般道		なし

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)　漆畑　雄一朗

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁	Ⅰ					
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1983年	37.40m	12.50m
橋梁形式		
PC単純プレテンT桁橋		

終点側

起点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

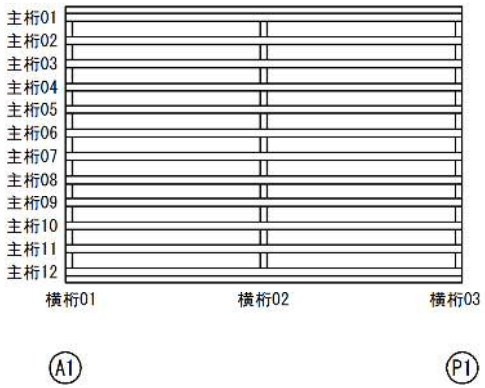
【判定区分:　　】	【判定区分:　　】
【判定区分:　　】	【判定区分:　　】

付図-1　部材番号図	径 間 番 号	1

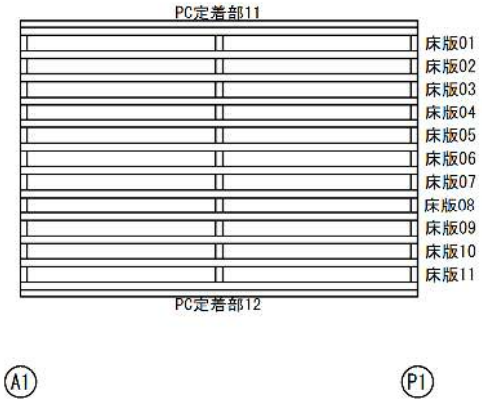
フリガナ 橋　梁　名	ミナミソデオオハシ 南袖大橋	路　線　名	南袖神納線	所在地	袖ケ浦市南袖地先

部材番号図

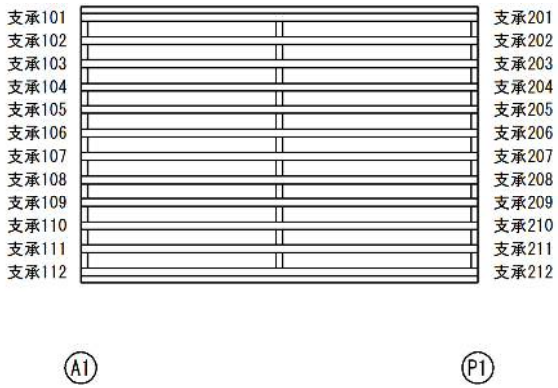
主桁・横桁



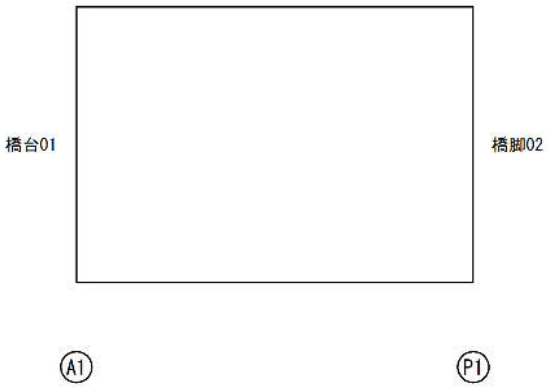
PC定着部・床版



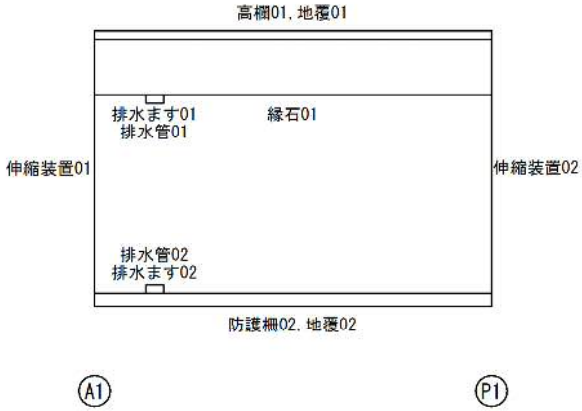
支承部



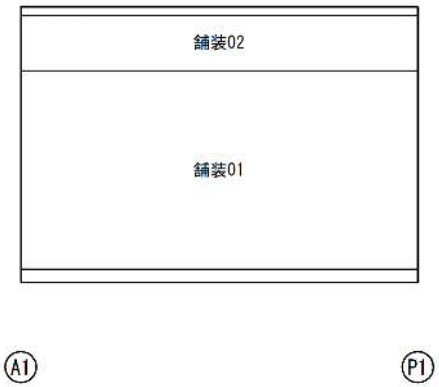
下部工



高欄・防護柵・地覆・伸縮装置・縁石・排水施設



舗装

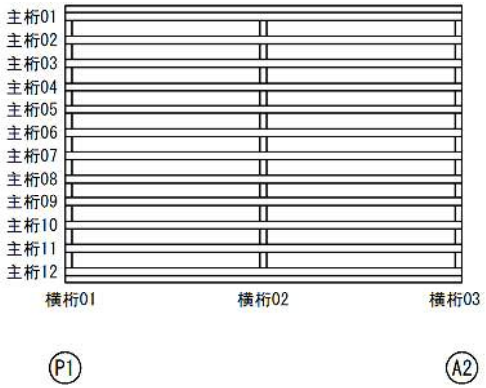


付図-1　部材番号図	径 間 番 号	2

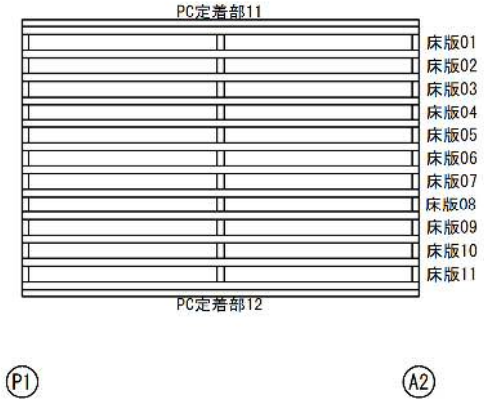
フリガナ 橋　梁　名	ミナミソデオオハシ 南袖大橋	路　線　名	南袖神納線	所在地	袖ケ浦市南袖地先

部材番号図

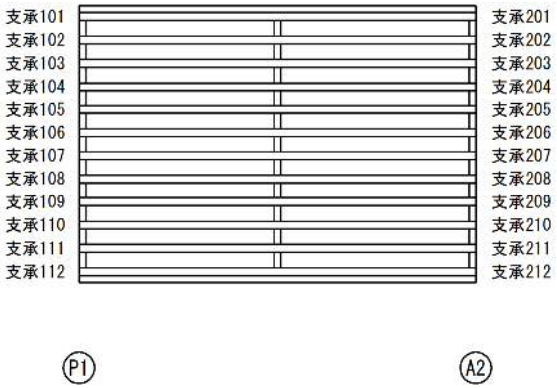
主桁・横桁



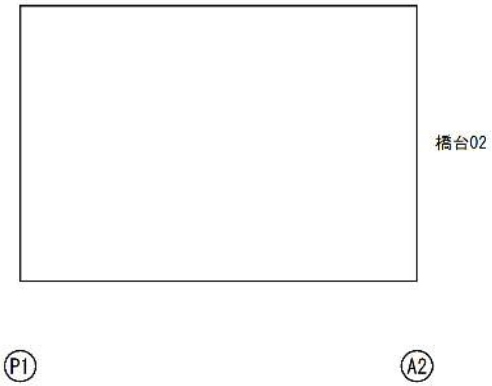
PC定着部・床版



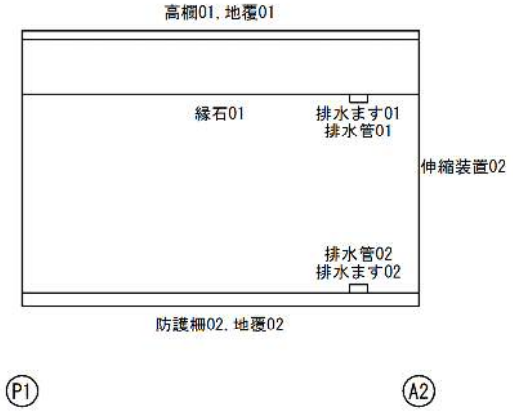
支承部



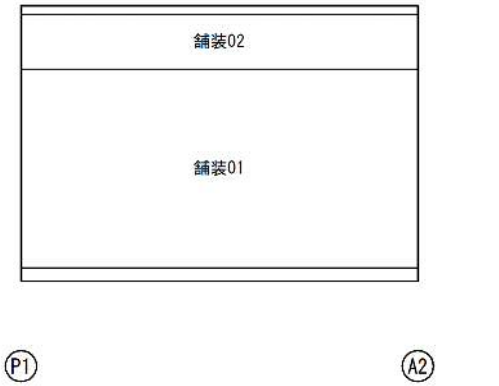
下部工



高欄・防護柵・地覆・伸縮装置・縁石・排水施設



舗装



2. 成教橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35°　26′　24.78″	橋梁ID
				経度	139°　57′　46.87″	35.440217,139.963019
成教橋 (フリガナ)セイキョウハシ	南袖大野台線	袖ケ浦市南袖地先				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市	2019.11.14	東京湾	有	一般道		なし

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)　　定期点検者　開発虎ノ門コンサルタント(株)　漆畑　雄一朗

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁	Ⅰ					
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅱ	ひびわれ,遊離石灰	写真1,橋脚02			
支承部		Ⅱ	不法占用,植生,土砂	写真2,支承108～109			
その他		Ⅱ	脱落,段差,土砂,植生	写真3～6,高欄,舗装,伸縮,排水			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	橋脚に遊離石灰を伴うひびわれ、支承部に土砂堆積等および不法占有が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1982年	41.45m	14.80m
橋梁形式		
PC単純プレテンT桁橋		

起点側

終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

下部構造(橋脚02)【判定区分：　Ⅱ　】	支承部(支承108、109)【判定区分：　Ⅱ　】
写真番号1 橋脚に遊離石灰を伴うひびわれが見られる。	写真番号2 支承部周辺（橋脚）に不法占用および土砂堆積が見られる。
その他(高欄02)【判定区分：　Ⅱ　】	**その他(舗装02)【判定区分：　Ⅱ　】**
写真番号3 高欄にボルトの脱落（2箇所）が見られる。	写真番号4 舗装に段差が見られる。 起点側：H＝50㎜

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

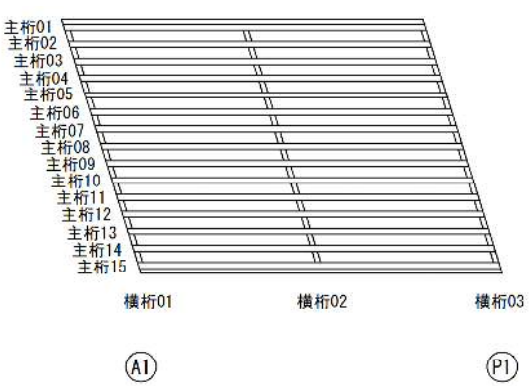
その他(舗装01､02)【判定区分:　Ⅱ　】	その他(排水ます02)【判定区分:　Ⅱ　】
写真番号5 舗装に土砂堆積、植生が見られる。	写真番号6 排水ますに土砂堆積、植生が見られる。
【判定区分:　　】	【判定区分:　　】

付図-1　部材番号図	径 間 番 号	1

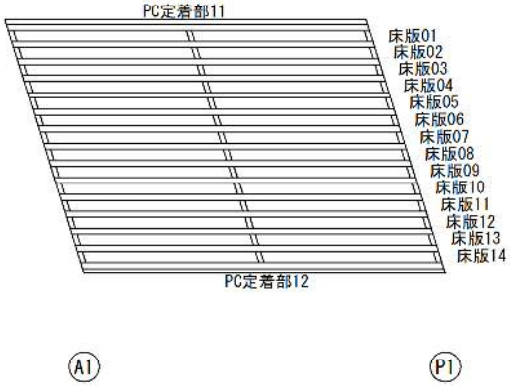
フリガナ 橋　梁　名	セイキョウバシ 成教橋	路　線　名	南袖大野台線	所在地	袖ケ浦市南袖地先

部材番号図

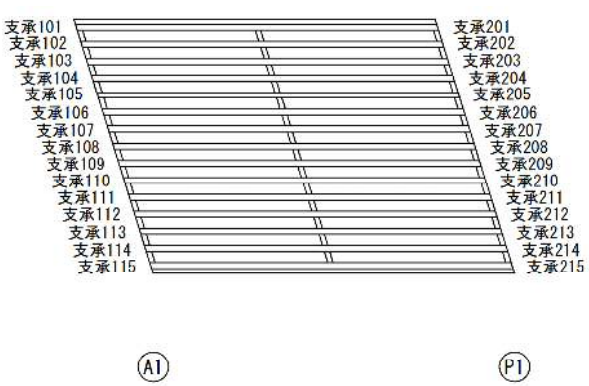
主桁・横桁



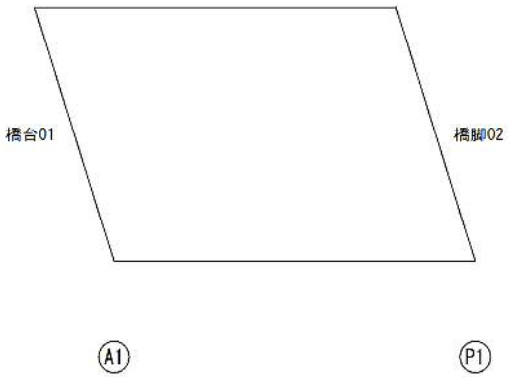
PC定着部・床版



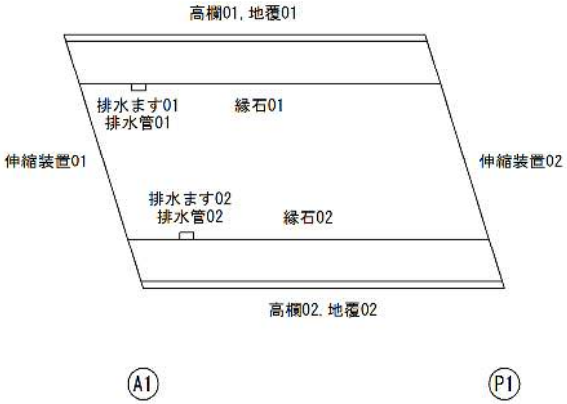
支承部



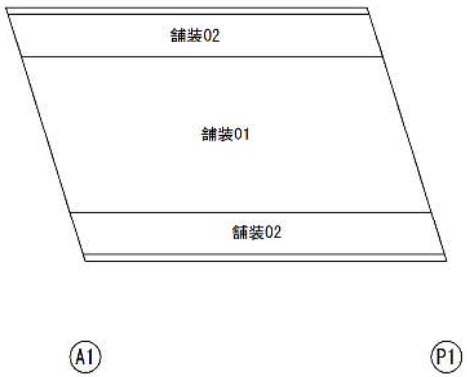
下部工



高欄・地覆・伸縮装置・縁石・排水施設



舗装

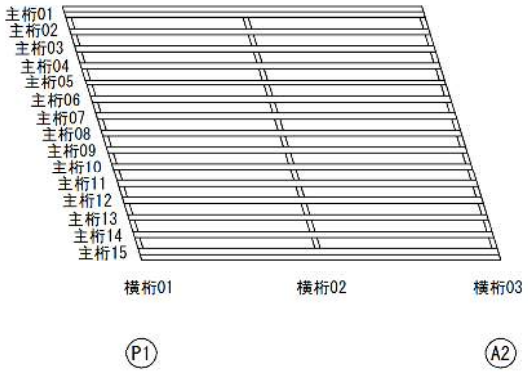


付図-1　部材番号図	径 間 番 号	2

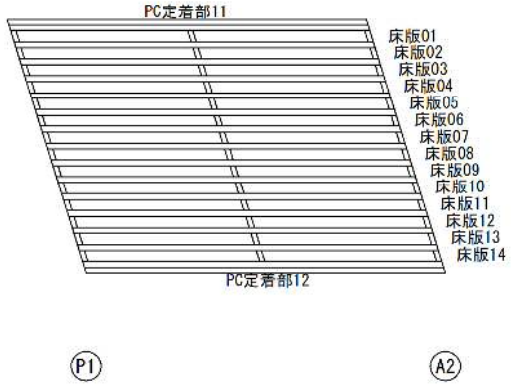
フリガナ 橋　梁　名	セイキョウバシ 成教橋	路　線　名	南袖大野台線	所在地	袖ケ浦市南袖地先

部材番号図

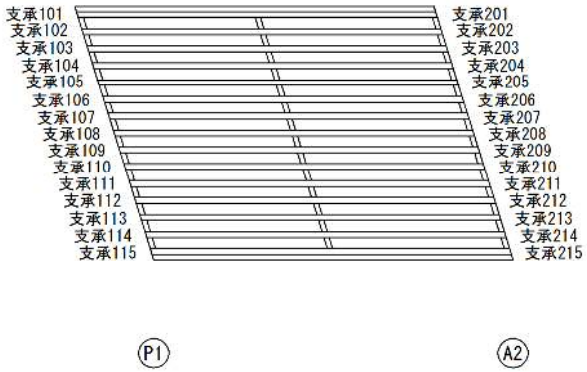
主桁・横桁



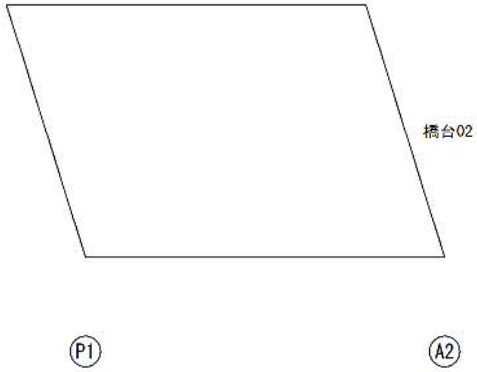
PC定着部・床版



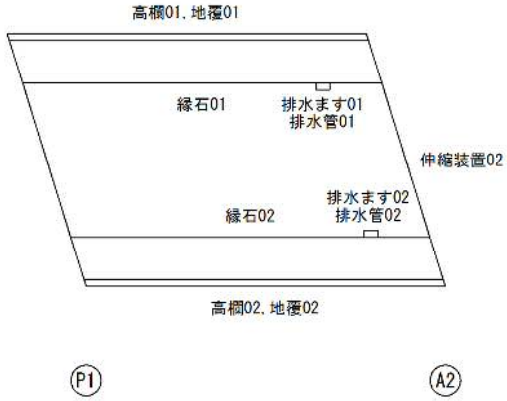
支承部



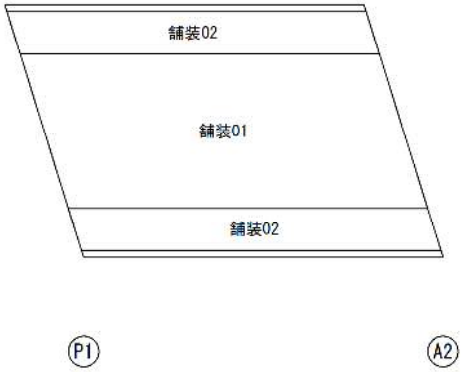
下部工



高欄・地覆・伸縮装置・縁石・排水施設



舗装



3. 代宿丸池橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 27′ 21.29″	橋梁ID
				経度	140° 00′ 56.22″	35.455914,140.015617
代宿丸池橋 (フリガナ)ダイジュクマルイケバシ	久保田26号線	袖ケ浦市久保田3087地先				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市	2019.11.7	浜宿川	有	一般道		なし

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)　漆畑　雄一朗

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅰ					
支承部							
その他		Ⅱ	ゆるみ・脱落	写真1,2,防護柵02			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	防護柵にボルトのゆるみ・脱落が見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1950年	4.30m	3.35m
橋梁形式		
RC単純床版橋(場所打ち)		

起点側

終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2　様式1様式2　　様式2

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

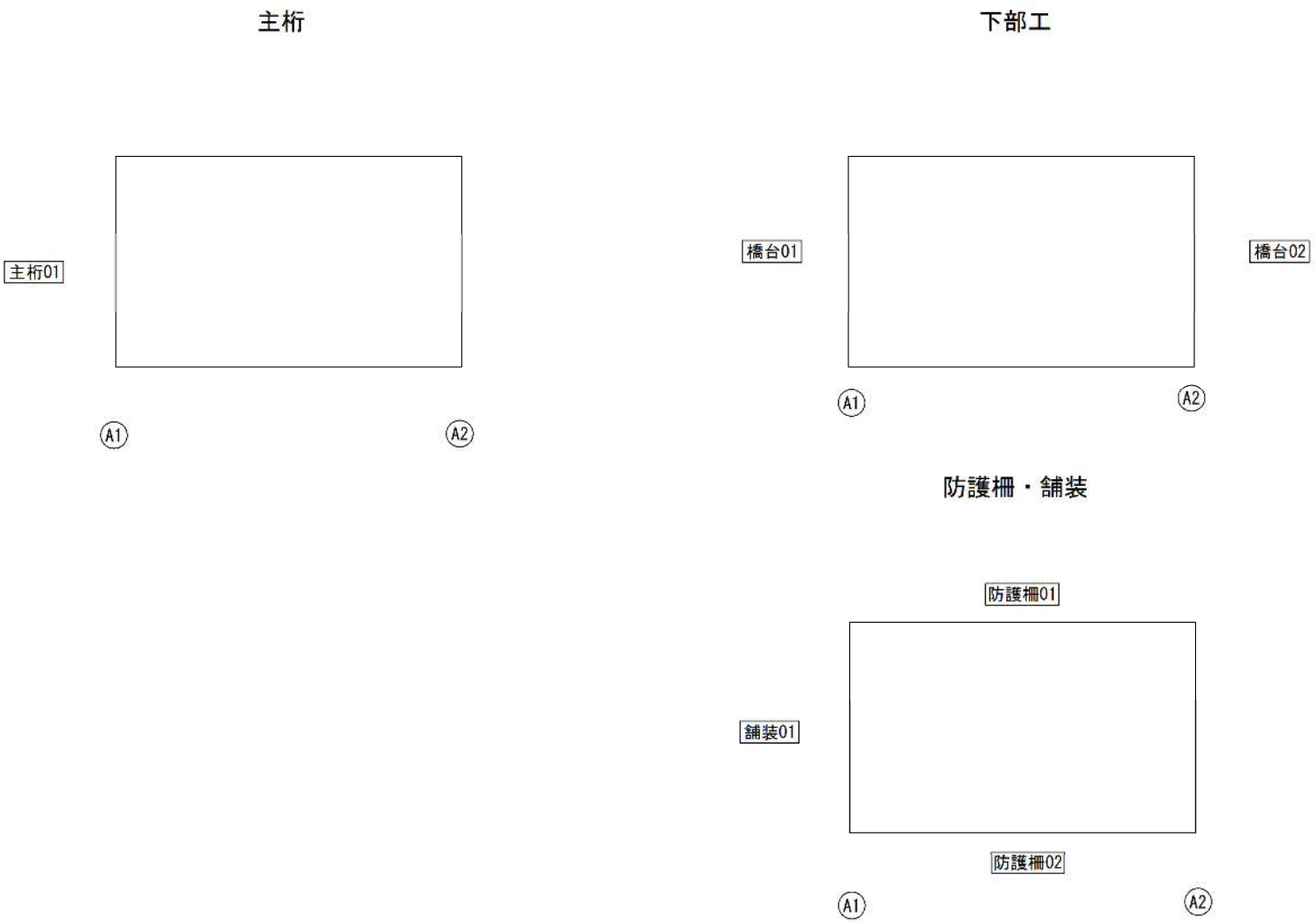
〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他(防護柵02)【判定区分:　Ⅱ　】	その他(防護柵02)【判定区分:　Ⅱ　】
写真番号1 防護柵にボルトのゆるみ(3箇所)が見られる。	写真番号2 防護柵にボルトの脱落(1箇所)が見られる。
【判定区分:　　】	【判定区分:　　】

付図-1　部材番号図	径 間 番 号	1

フリガナ 橋　梁　名	ダイジュクマルイケバシ 代宿丸池橋	路　線　名	久保田26号線	所在地	袖ケ浦市久保田3087地先

部材番号図



4. 久保田馬場橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 27′ 09.60″	橋梁ID
				経度	140° 00′ 18.71″	35.452667,140.005197
久保田馬場橋 (フリガナ)クボタバババシ	久保田13号線	袖ケ浦市久保田2353-7地先				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市	2019.11.7	久保田川	有	一般道		なし

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)　漆畑　雄一朗

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	脱落	写真1,防護柵01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	防護柵にボルトの脱落が見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
不明	5.20m	8.04m
橋梁形式		
RC単純床版橋(場所打ち)		

起点側

終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

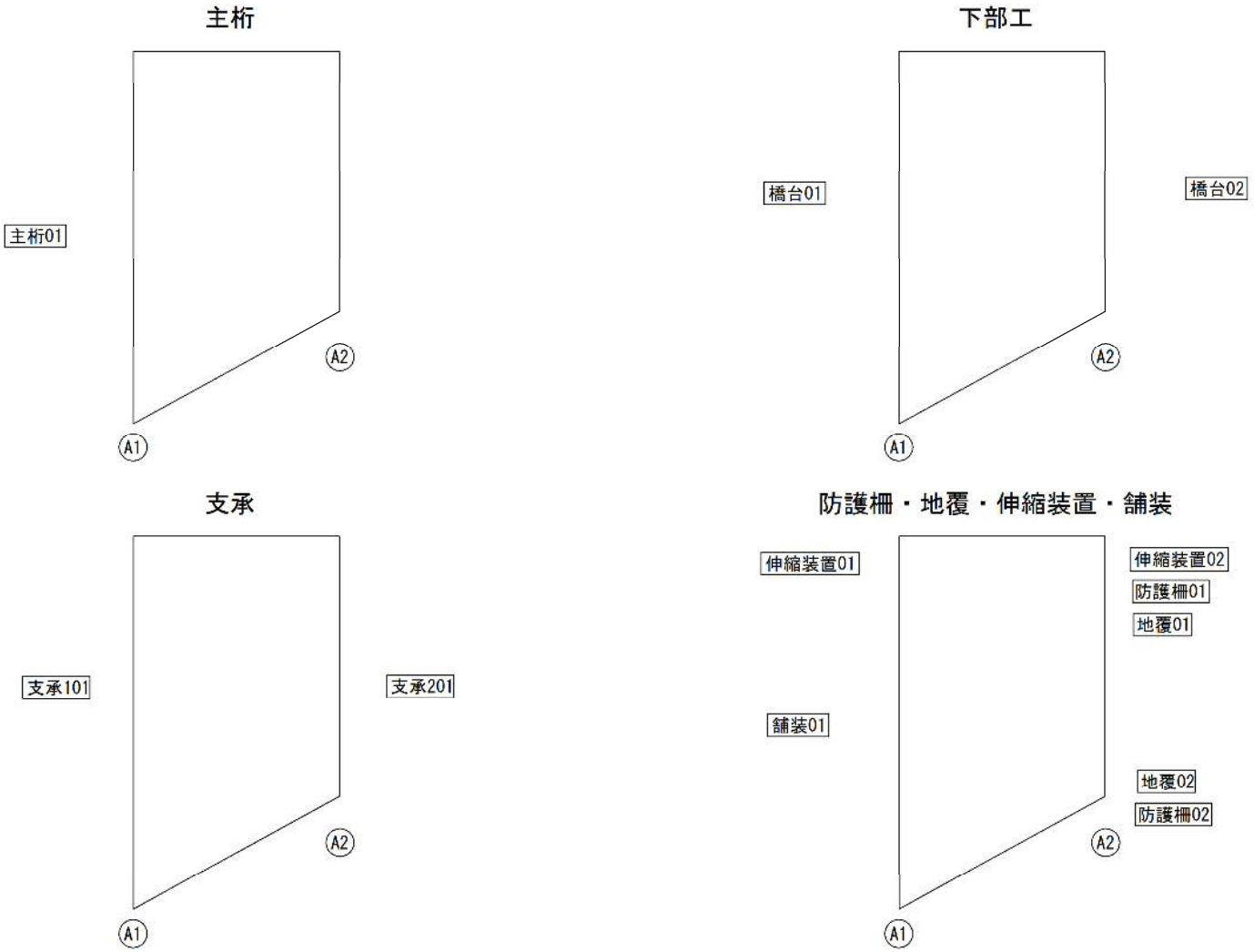
〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他(防護柵01)【判定区分：　Ⅱ　】	【判定区分：　　】
写真番号1 防護柵にボルトの脱落（1箇所）が見られる。	
【判定区分：　　】	【判定区分：　　】

付図-1　部材番号図	径 間 番 号	1

フリガナ 橋　梁　名	クボタババシ 久保田馬場橋	路　線　名	久保田13号線	所在地	袖ケ浦市久保田2353-7地先

部材番号図



5. 久保田新開道橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35°　27′　07.69″	橋梁ID
				経度	140°　00′　29.92″	35.452136,140.008311
久保田新開道橋 (フリガナ)クボタシンカイドウバシ	久保田15号線	袖ケ浦市久保田580地先				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市	2019.11.7	久保田川	有	一般道		なし

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)　漆畑　雄一朗

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
不明	3.80m	3.90m
橋梁形式		
RC単純床版橋(場所打ち)		

起点側

終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

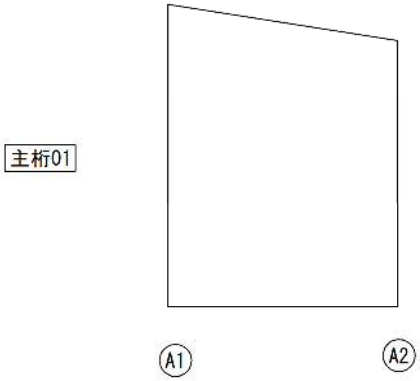
【判定区分:　　】	【判定区分:　　】
【判定区分:　　】	【判定区分:　　】

付図-1　部材番号図	径 間 番 号	1

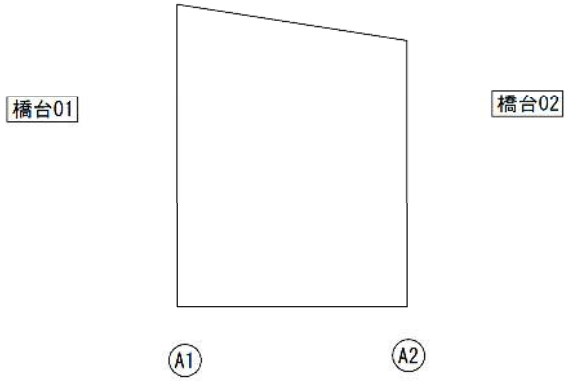
フリガナ 橋　梁　名	クボタシンカイドウバシ 久保田新開道橋	路　線　名	久保田15号線	所在地	袖ケ浦市久保田580地先

部材番号図

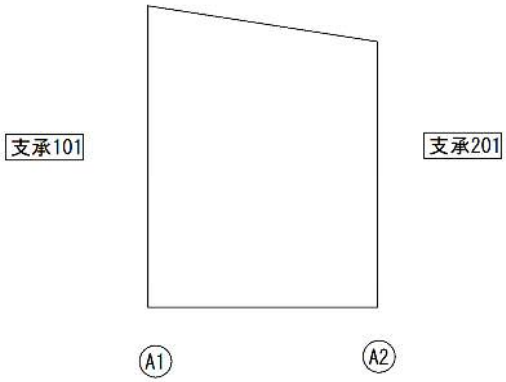
主桁



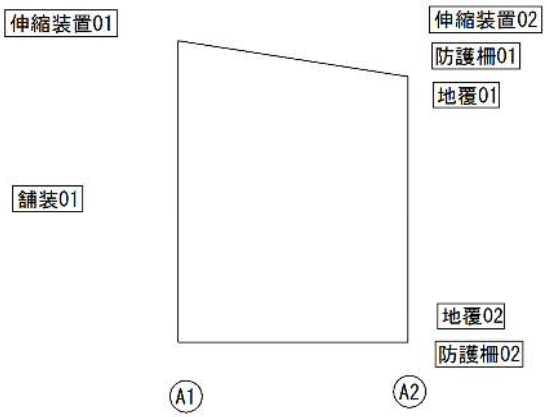
下部工



支承



防護柵・地覆・伸縮装置・舗装



6. 久保田小代々橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35°　26′　41.47″	橋梁ID
				経度	140°　00′　59.68″	35.444853,140.016578
久保田小代々橋 (フリガナ)クボタコダイダイバシ	久保田38号線	袖ケ浦市久保田1754地先				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市	2019.11.6	久保田川	有	一般道		なし

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)　漆畑　雄一朗

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	鉄筋露出,豆板,うき	写真1,2,主桁01			
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅱ	鉄筋露出	写真3,橋台02			
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	段差	写真4,舗装01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	主桁に剥離・鉄筋露出およびうき、橋台の梁部下面に鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
不明	5.04m	3.30m
橋梁形式		
RC単純床版橋(場所打ち)		

起点側

終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2　様式1様式2　　様式2

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

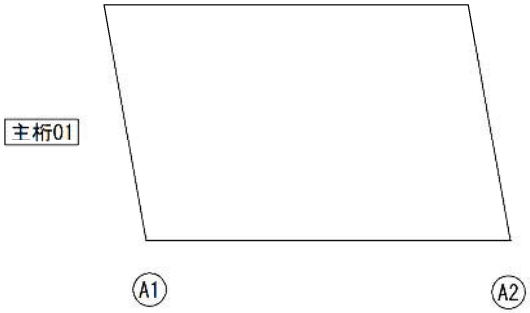
上部構造(主桁01)【判定区分：　Ⅱ　】	上部構造(主桁01)【判定区分：　Ⅱ　】
写真番号1 主桁にうきが見られる。	写真番号2 主桁の広範囲にに鉄筋露出、剥離（豆板）が見られる。
下部構造(橋台02)【判定区分：　Ⅱ　】	**その他(舗装01)【判定区分：　Ⅱ　】**
写真番号3 橋台に鉄筋露出が見られる。	写真番号4 舗装に段差が見られる。 起点側H＝23㎜

付図-1　部材番号図	径 間 番 号	1

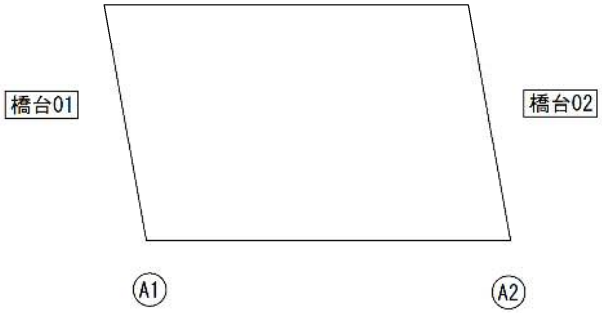
フリガナ 橋　梁　名	クボタコダイダイバシ 久保田小代々橋	路　線　名	久保田38号線	所在地	袖ケ浦市久保田1754地先

部材番号図

主桁

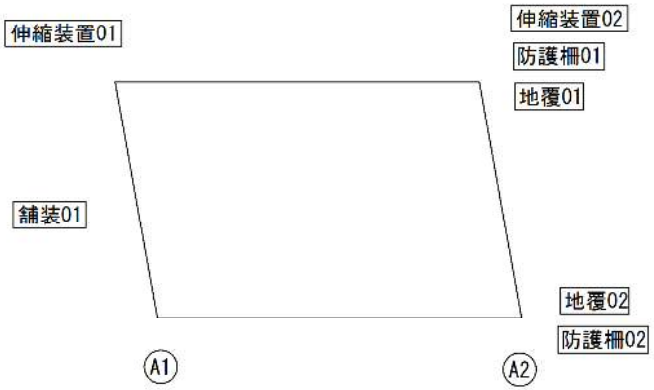


下部工



支承

防護柵・地覆・伸縮装置・舗装



7. 久保田矢崎橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35°　26′　38.50″	橋梁ID
				経度	140°　01′　06.79″	35.444028,140.018553
久保田矢崎橋 (フリガナ)クボタヤザキバシ	久保田坂ノ下線	袖ケ浦市久保田1733地先				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市	2019.11.6	久保田川	有	一般道		水道管

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)　　定期点検者　開発虎ノ門コンサルタント(株)　漆畑　雄一朗

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	腐食,欠損,段差	写真1,2,防護柵02,舗装01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	防護柵の笠木に腐食および断面欠損、舗装に段差が見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
不明	3.80m	5.20m
橋梁形式		
RC単純T桁橋＋RC単純床版橋(場所打ち)		

起点側

終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2　様式1様式2　　様式2

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

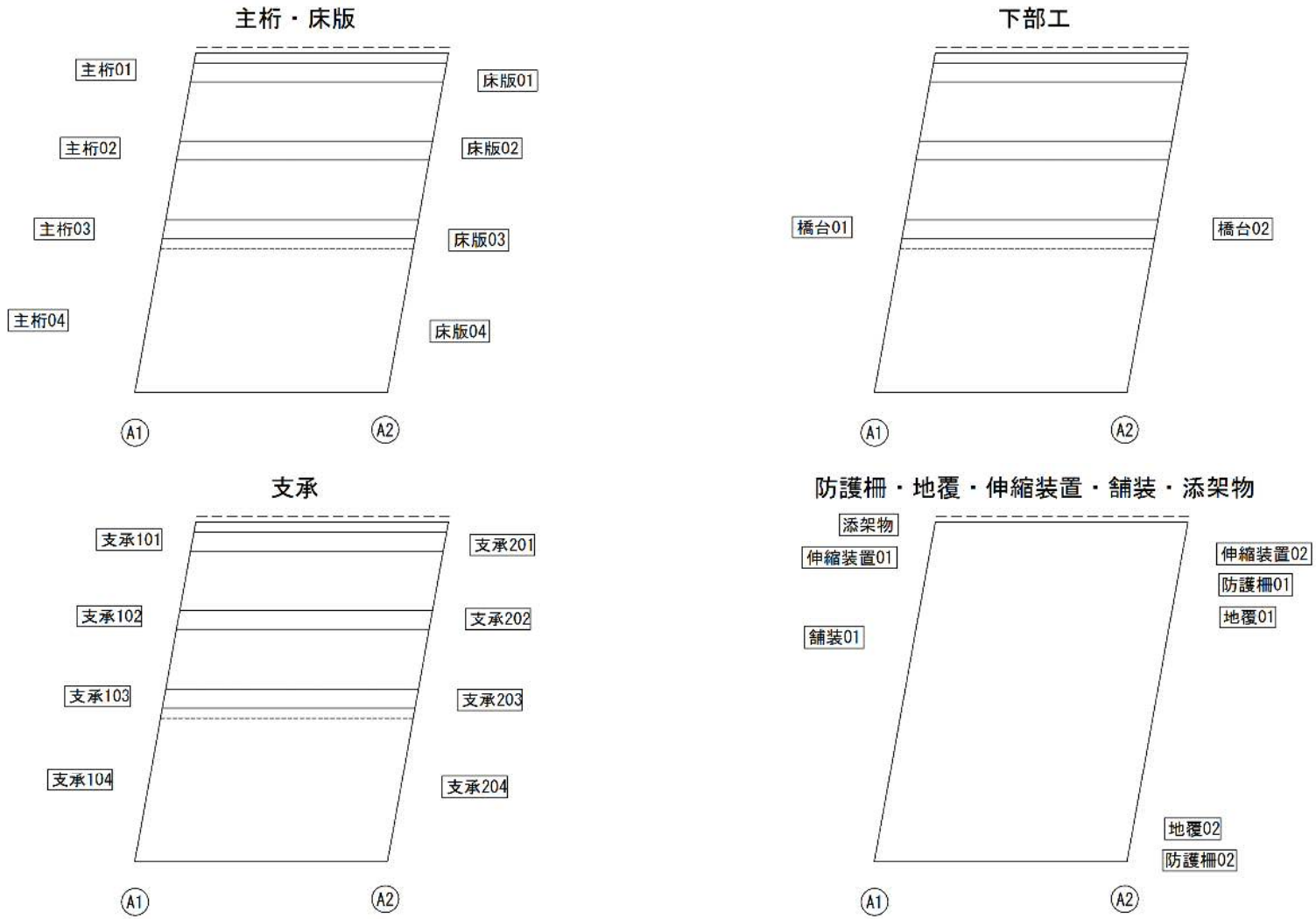
〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他(防護柵02)【判定区分:　Ⅱ　】	その他(舗装01)【判定区分:　Ⅱ　】
写真番号1 防護柵に腐食による欠損が見られる。	写真番号2 舗装に段差が見られる。 起点側:H＝53mm
【判定区分:　　】	【判定区分:　　】

付図-1　部材番号図	径 間 番 号	1

フリガナ 橋　梁　名	クボタヤザキバシ 久保田矢崎橋	路　線　名	久保田坂ノ下線	所在地	袖ケ浦市久保田1733地先

部材番号図



8. 蔵波殿畑一号橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35°　26′　53.34″	橋梁ID
				経度	139°　59′　40.99″	35.448150,139.994719
蔵波殿畑一号橋 (フリガナ)クラナミトノハタイチゴウバシ	蔵波16号線	袖ケ浦市蔵波1879-1-1地先				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市	2019.11.7	蔵波川	有	一般道		なし

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)　漆畑　雄一朗

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁	Ⅰ					
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅱ	腐食	写真1～3,橋台01			
支承部		Ⅱ	腐食	写真4,支承103			
その他		Ⅱ	欠損,脱落	写真5～7,伸縮装置,防護柵			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分) Ⅱ	(所見等) 橋台竪壁上のH形鋼に減肉を伴う腐食、支承に腐食が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
不明	5.30m	4.60m
橋梁形式		
単純鋼床版鈑桁橋		

起点側

終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

下部構造(橋台01)【判定区分：　Ⅱ　】	下部構造(橋台01)【判定区分：　Ⅱ　】
写真番号1 橋台竪壁上のH形鋼に腐食が見られる。	写真番号2 写真番号1の近接写真
下部構造(橋台02)【判定区分：　Ⅱ　】	**支承部(支承103)【判定区分：　Ⅱ　】**
写真番号3 橋台竪壁上のH形鋼に腐食が見られる。	写真番号4 支承に腐食が見られる。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

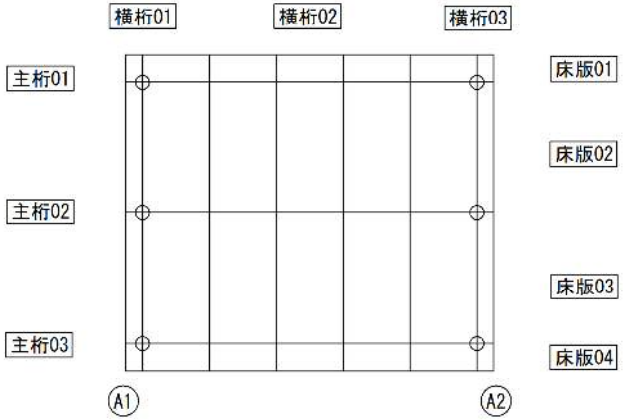
その他(伸縮装置02)【判定区分：　Ⅱ　】	その他(防護柵02)【判定区分：　Ⅱ　】
写真番号5 伸縮装置に目地材の脱落が見られる。	写真番号6 写真番号5の近接写真
その他(防護柵02)【判定区分：　Ⅱ　】	【判定区分：　　】
写真番号7 防護柵にボルトの脱落（1箇所）が見られる。	

付図-1　部材番号図	径 間 番 号	1

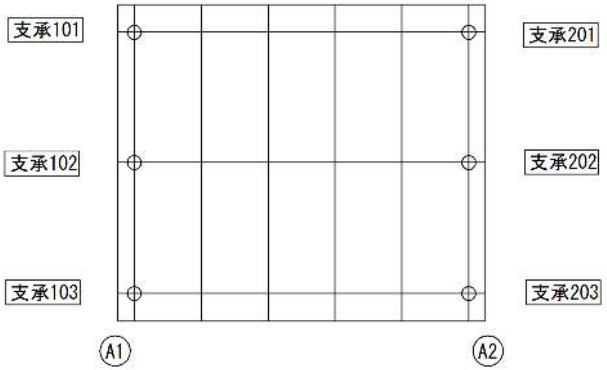
フリガナ 橋　梁　名	クラナミトノハタイチゴウバシ 蔵波殿畑一号橋	路　線　名	蔵波16号線	所在地	袖ケ浦市蔵波1879-1-1地先

部材番号図

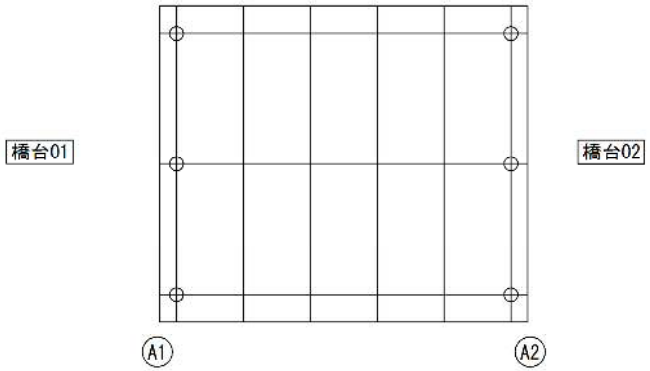
主桁・横桁・床版



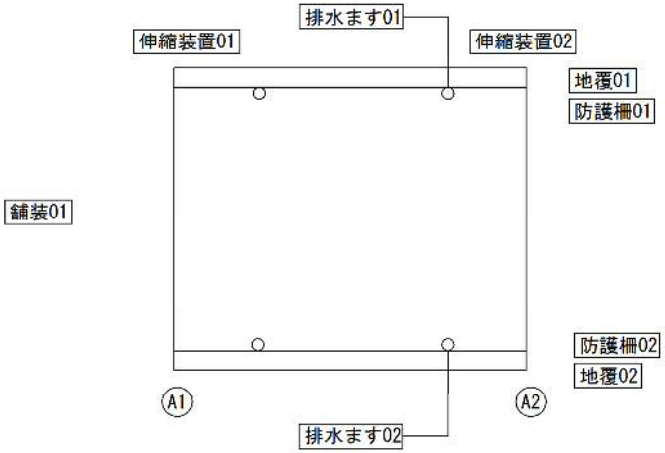
支承



下部工



防護柵・地覆・伸縮装置・舗装・排水ます



9. 蔵波殿畑二号橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35°　26′　52.04″	橋梁ID
				経度	139°　59′　43.55″	35.447789,139.995431
蔵波殿畑二号橋 (フリガナ)クラナミトノハタニゴウバシ	蔵波17号線	袖ケ浦市蔵波1598-1地先				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市	2019.11.8	蔵波川	有	一般道		なし

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)　漆畑　雄一朗

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁	Ⅰ					
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅲ	腐食,欠損	写真1～3,橋台01,02			
支承部		Ⅱ	腐食,機能障害	写真4,支承205			
その他		Ⅱ	目地材の脱落	写真5,伸縮装置02			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅲ	橋台竪壁上のH形鋼に断面欠損を伴う著しい腐食が見られる。早期に措置を講ずることが望ましい状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
不明	5.10m	5.10m
橋梁形式		
単純鋼床版鈑桁橋		

起点側

終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

下部構造(橋台02)【判定区分：　Ⅲ　】	下部構造(橋台02)【判定区分：　Ⅲ　】
写真番号1 橋台に断面欠損を伴う腐食が見られる。	写真番号2 橋台に断面欠損を伴う腐食が見られる。
下部構造(橋台02)【判定区分：　Ⅲ　】	**支承部(支承205)【判定区分：　Ⅱ　】**
写真番号3 橋台に腐食が見られる。	写真番号4 支承に腐食、機能障害が見られる。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

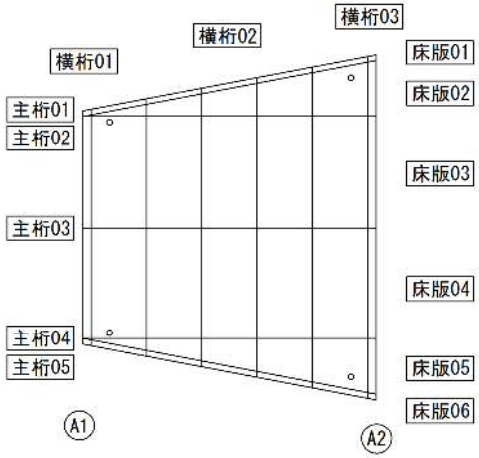
その他(伸縮装置02)【判定区分:　Ⅱ　】	【判定区分:　　】
写真番号5 伸縮装置に目地材の脱落が見られる。	
【判定区分:　　】	【判定区分:　　】

付図-1　部材番号図	径 間 番 号	1

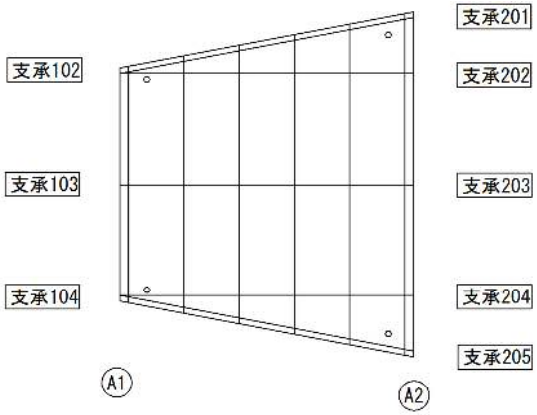
フリガナ 橋　梁　名	クラナミトノハタニコウバシ 蔵波殿畑二号橋	路　線　名	蔵波17号線	所在地	袖ケ浦市蔵波1598-1地先

部材番号図

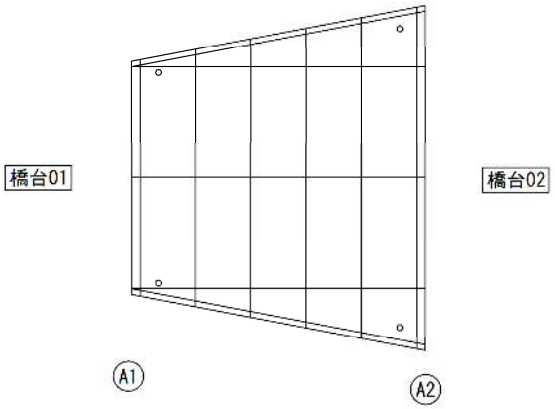
主桁・横桁・床版



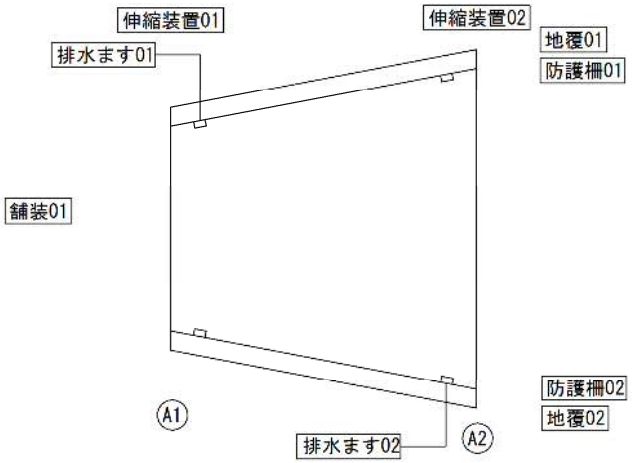
支承



下部工



防護柵・地覆・伸縮装置・舗装・排水ます



10. 蔵波辺田一号橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35°　26′　48.24″	橋梁ID
				経度	139°　59′　52.77″	35.446733,139.997992
蔵波辺田一号橋 (フリガナ)クラナミヘンダイチゴウキョウ	蔵波21号線	袖ケ浦市辺田1578-1地先				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市	2019.11.8	蔵波川	有	一般道		不明

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)　漆畑　雄一朗

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁	Ⅰ					
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅱ	腐食、欠損	写真1～2,橋台01,02			
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	目地材の脱落,欠損	写真3,4,伸縮装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	橋台竪壁上のH形鋼に断面欠損を伴う腐食が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
不明	7.15m	4.65m
橋梁形式		
単純鋼床版鈑桁橋		

起点側

終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

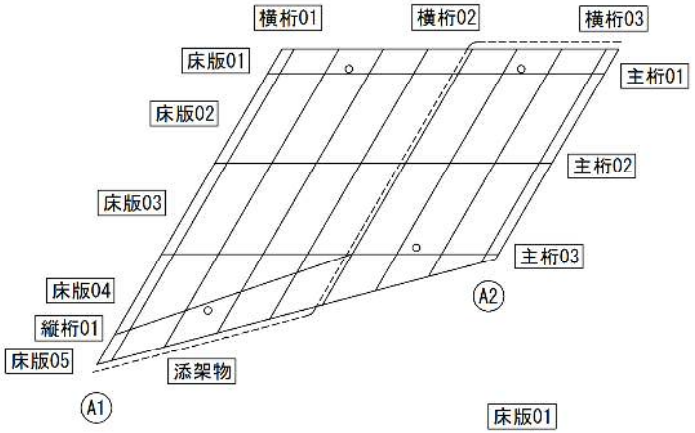
下部構造(橋台01)【判定区分：　Ⅱ　】	下部構造(橋台02)【判定区分：　Ⅱ　】
写真番号1 橋台竪壁上のH形鋼の断面欠損を伴う腐食が見られる。	写真番号2 橋台竪壁上のH形鋼に腐食が見られる。
その他(伸縮装置01)【判定区分：　Ⅱ　】	その他(伸縮装置01)【判定区分：　Ⅱ　】
写真番号3 エラスタイトの脱落が見られる。	写真番号4 写真番号3の橋面上状況 補修材が欠損しており、再劣化が見られる。

付図-1　部材番号図	径 間 番 号	1

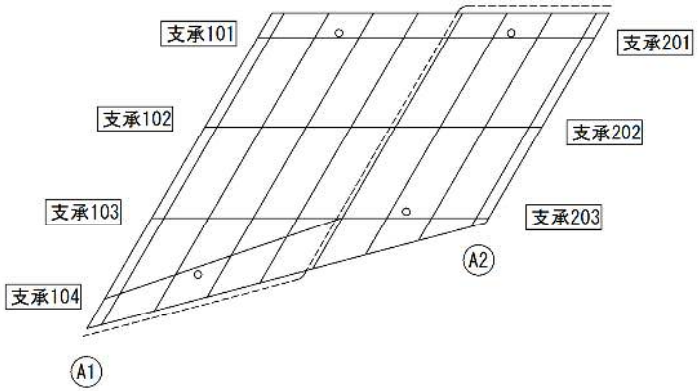
フリガナ 橋　梁　名	クラナミヘンダイチコウキョウ 蔵波辺田一号橋	路　線　名	蔵波21号線	所在地	袖ケ浦市辺田1578-1地先

部材番号図

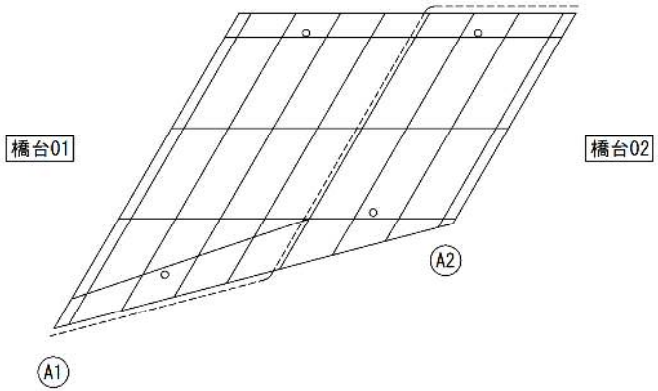
主桁・横桁・縦桁・床版



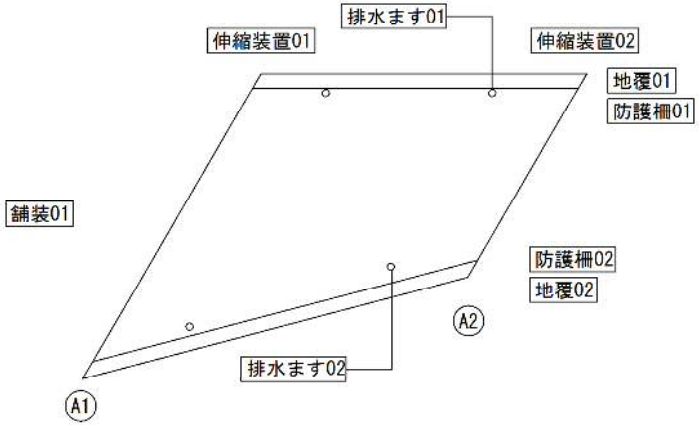
支承



下部工



防護柵・地覆・伸縮装置・舗装・排水ます



11. 蔵波辺田二号橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 26′ 43.61″	橋梁ID
				経度	140° 00′ 00.00″	35.445447,140.000000
蔵波辺田二号橋 (フリガナ)クラナミヘンダニゴウキョウ	蔵波23号線	袖ケ浦市蔵波1402地先				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市	2019.11.8	蔵波川	有	一般道		不明

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)　漆畑　雄一朗

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	腐食	写真1,主桁03			
	横桁						
	床版	Ⅱ	遊離石灰,ひびわれ	写真2,3,床版03,04			
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅱ	腐食	写真4,支承203			
その他		Ⅱ	目地材の脱落,段差	写真5,6,伸縮装置02,舗装01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	主桁および支承ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄに腐食、床版に遊離石灰を伴うひびわれが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
不明	5.23m	3.80m
橋梁形式		
鋼単純H桁橋		

起点側

終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁03)【判定区分：　Ⅱ　】	上部構造(床版03)【判定区分：　Ⅱ　】
写真番号1 主桁に腐食が見られる。	写真番号2 床版に遊離石灰を伴うひびわれが見られる。
上部構造(床版04)【判定区分：　Ⅱ　】	**支承部(支承203)【判定区分：　Ⅱ　】**
写真番号3 床版に遊離石灰を伴うひびわれが見られる。	写真番号4 支承部に腐食が見られる。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

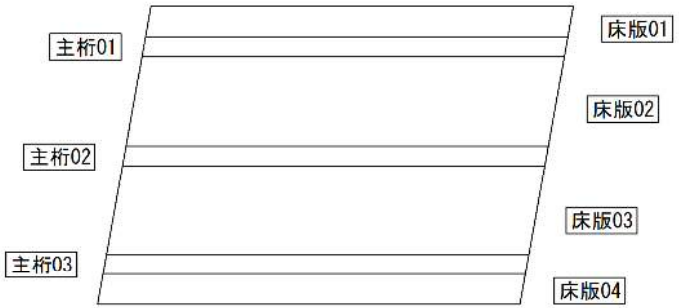
その他(伸縮装置02)【判定区分:　Ⅱ　】	その他(舗装01)【判定区分:　　】
写真番号5 伸縮装置に目地材の脱落が見られる。	写真番号6 舗装の欠損部分に段差が見られる。 終点側:50㎜
【判定区分:　　】	【判定区分:　　】

付図-1　部材番号図	径 間 番 号	1

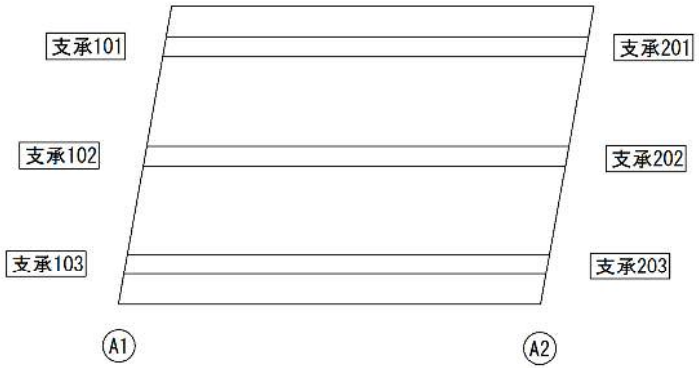
フリガナ 橋　梁　名	クラナミヘンダニコウキョウ 蔵波辺田二号橋	路　線　名	蔵波23号線	所在地	袖ケ浦市蔵波1402地先

部材番号図

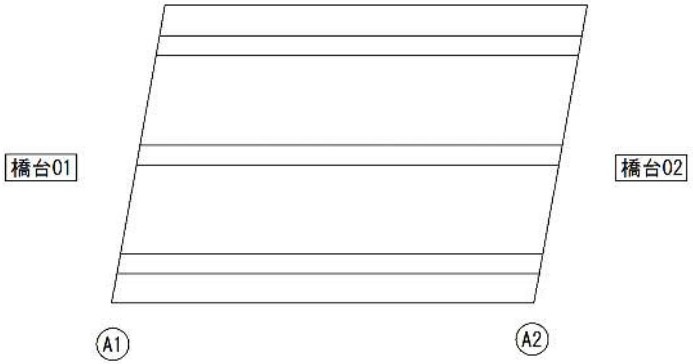
主桁・床版



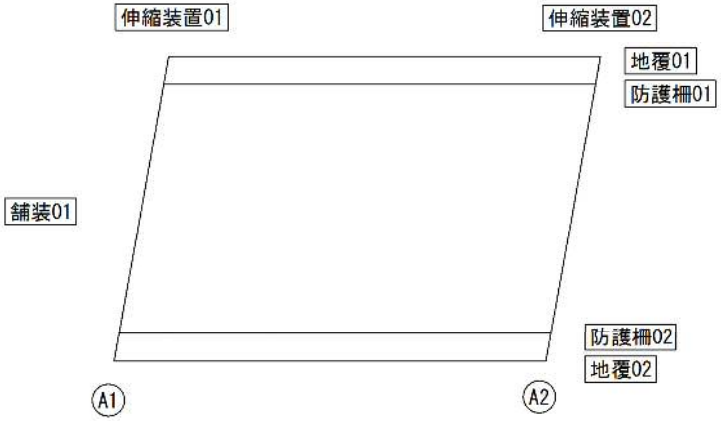
支承



下部工



防護柵・地覆・伸縮装置・舗装



12.蔵波台七丁目一号橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35°　26′　38.07″	橋梁ID
				経度	140°　00′　05.57″	35.443908,140.001547
蔵波台七丁目一号橋 (フリガナ)クラナミダイナナチョウメイチゴウキョウ	蔵波台七丁目8号線	袖ケ浦市蔵波台7-10-1地先				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市	2019.11.8	蔵波川	有	一般道		なし

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)　漆畑　雄一朗

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅰ					
支承部							
その他		Ⅱ	段差	写真1,舗装01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分) Ⅰ	(所見等) 舗装に段差が見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
不明	5.40m	9.60m
橋梁形式		
ボックスカルバート(場所打ち)		

起点側

終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

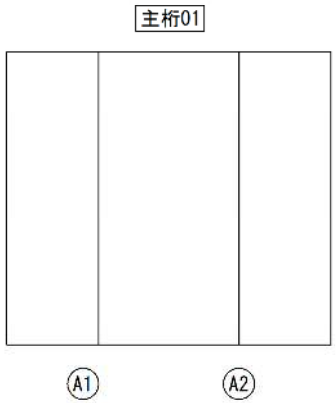
その他(舗装01)【判定区分:　Ⅱ　】	【判定区分:　　】
写真番号1 舗装に段差が見られる。 起点側:H＝28mm	
【判定区分:　　】	【判定区分:　　】

付図-1　部材番号図	径 間 番 号	1

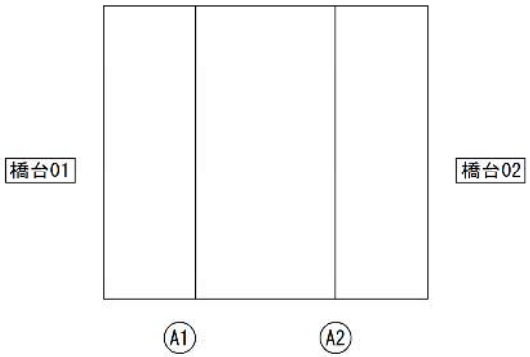
フリガナ 橋　梁　名	クラナミダイナナチョウメイチコウキョウ 蔵波台七丁目一号橋	路　線　名	蔵波台七丁目8号線	所在地	袖ケ浦市蔵波台7-10-1地先

部材番号図

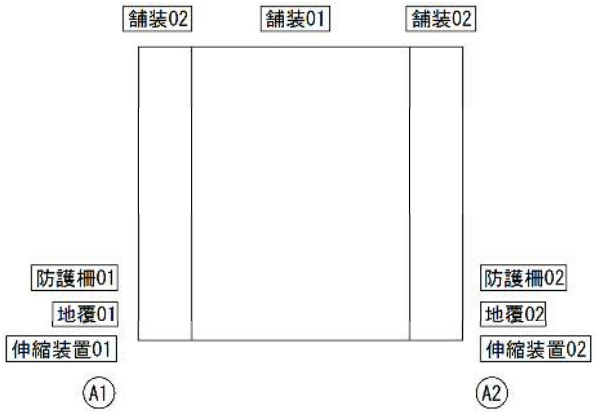
主桁



下部工



防護柵・地覆・伸縮装置・舗装



13. 蔵波跨線橋（JR軌道上除く）

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35°　26′　24.78″	橋梁ID
				経度	139°　57′　46.87″	35.440217,139.963019
蔵波跨線橋 (フリガナ)クラナミコセンキョウ	勝下清水頭線	袖ケ浦市長浦580−113地先				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市	2019.12.9	JR内房線、市道3路線、水路、駐車場	有	一般道		なし

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)　漆畑　雄一朗

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁	Ⅰ					
	床版	Ⅱ	補修材の損傷	写真23,床版08			
下部構造		Ⅱ	落書き	写真1,竪壁02			
支承部		Ⅱ	うき	写真22,落橋防止ｼｽﾃﾑ02			
その他		Ⅱ	脱落,腐食,うき,土砂等	写真2～21,24～26,高欄,伸縮 等			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	跨線部の床版の補修材にふくれ、縁端拡幅にうき、橋台に落書きが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1979年	207.20m	20.30m
橋梁形式		
鋼単純鈑桁橋		

終点側

起点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

下部構造(翼壁01)【判定区分:　Ⅱ　】	その他(防護柵02)【判定区分:　Ⅱ　】
写真番号1 A2橋台前面に落書きが見られる。	写真番号2 防護柵の支柱基部に腐食が見られる。 擁壁部にうきが見られる。点検時に叩き落としを実施したが、落ちなかった。
その他(高欄01)【判定区分:　Ⅱ　】	**その他(高欄02)【判定区分:　Ⅱ　】**
写真番号3 高欄にボルトの脱落(25箇所)が見られる。 ※JR跨線部は番線にて仮固定済み	写真番号4 高欄にボルトのゆるみ(3箇所)が見られる。 上記のうち1箇所(写真番号4)は供回りしているため締付け不可。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他(伸縮装置02)【判定区分：　Ⅱ　】	その他(伸縮装置02)【判定区分：　Ⅱ　】
写真番号5 伸縮装置下面全体に腐食が見られる。また、中央分離帯の直下の部分のみ排水樋が設置されていない。	写真番号6 伸縮装置下面の排水樋に土砂詰まりが見られる。
その他(伸縮装置02)【判定区分：　Ⅱ　】	**その他(排水管02)【判定区分：　Ⅱ　】**
写真番号7 排水樋から排水管に接続する導水管に腐食による欠損が見られる。また、排水管に導水管が接続されていない。	写真番号8 排水管に土砂詰まりが見られる。

別紙2　様式1様式2　　様式2

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他(排水管02)【判定区分：　Ⅱ　】	その他(排水管02)【判定区分：　Ⅱ　】
写真番号9 排水管ジョイント部の接続不良が見られる。また、雨天時において漏水が見られる。	写真番号10 排水管ジョイント部の中に土砂が若干見られる。
その他(排水管05)【判定区分：　Ⅱ　】	その他(排水ます01)【判定区分：　Ⅱ　】
写真番号11 歩道部の排水管に欠損が見られる。	写真番号12 排水ますに欠損、排水管に土砂詰まりが見られる。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他(排水ます03)【判定区分：　Ⅱ　】	その他(地覆06)【判定区分：　Ⅱ　】
写真番号13 歩道部の排水ますに土砂詰まりが見られる。	写真番号14 地覆に欠損が見られる。 （高欄支柱にぐらつきは見られない。）
その他(地覆01)【判定区分：　Ⅱ　】	その他(地覆01)【判定区分：　Ⅱ　】
写真番号15 地覆にうきが見られる。たたき点検を実施したが、落ちなかった。	写真番号16 写真番号15のたたき点検状況

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

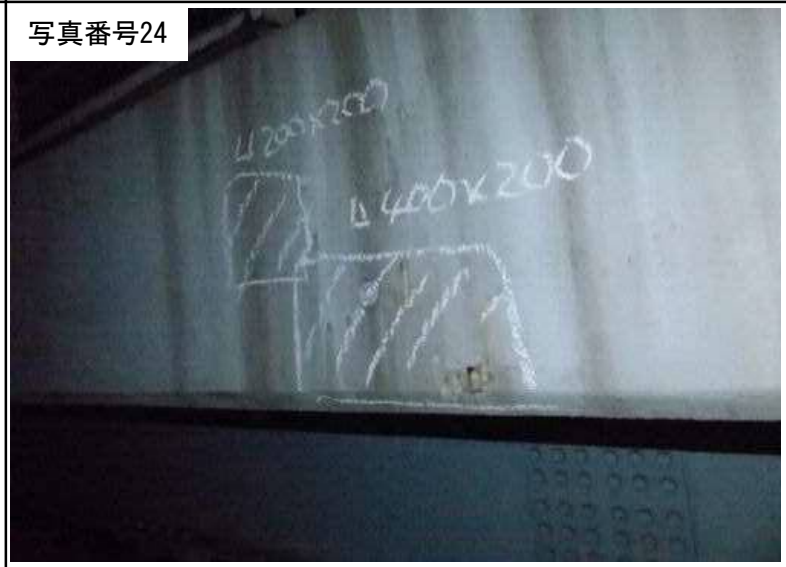
〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他(地覆05)【判定区分：　Ⅱ　】	その他(地覆06)【判定区分：　Ⅱ　】
写真番号17 本線部と歩道部の摺り付けに隙間が見られる。	写真番号18 写真番号17の桁下状況
その他(舗装02)【判定区分：　Ⅱ　】	**その他(舗装02)【判定区分：　Ⅱ　】**
写真番号19 歩道部および中央分離帯に植生が見られる。	写真番号20 歩道部に土砂堆積が見られる。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他(舗装02)【判定区分：　Ⅱ　】	支承部(落橋防止システム)02【判定区分：　Ⅱ　】
写真番号21 歩道部に段差(35mm)が見られる。	写真番号22 ＪＲ点検結果より抜粋 落橋防止システム(縁端拡幅)にうき)が見られる。
上部構造(床版08)【判定区分：　Ⅱ　】	**その他(地覆01)【判定区分：　Ⅱ　】**
写真番号23 ＪＲ点検結果より抜粋 床版の剥落防止(繊維シート)にふくれが見られる。	写真番号24  ＪＲ点検結果より抜粋 地覆の剥落防止(繊維シート)にふくれが見られる。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

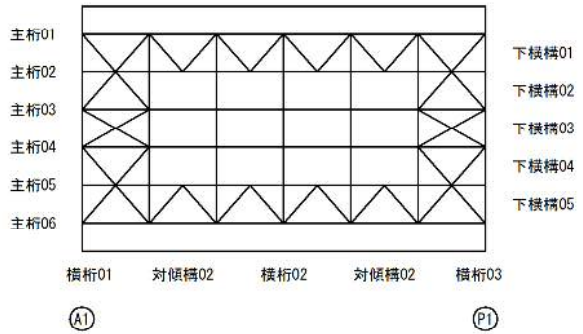
その他(高欄02)【判定区分:　Ⅱ　】	その他(高欄02)【判定区分:　Ⅱ　】
写真番号25 ＪＲ点検結果より抜粋 落下物防止柵にボルトの脱落(5本)が見られる。	写真番号26 ＪＲ点検結果より抜粋 写真番号25の仮固定状況(結束バンドにて固定)
【判定区分:　　】	【判定区分:　　】

付図-1　部材番号図	径 間 番 号	1

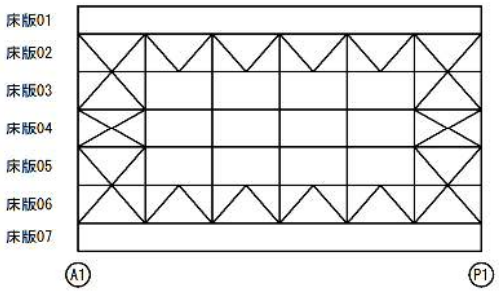
フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋(JR軌道上除く)	路　線　名	勝下清水頭線	所在地	袖ケ浦市長浦580-113地先

部材番号図

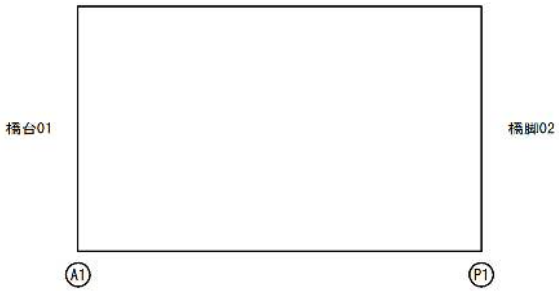
主桁・横桁・対傾構・下横構



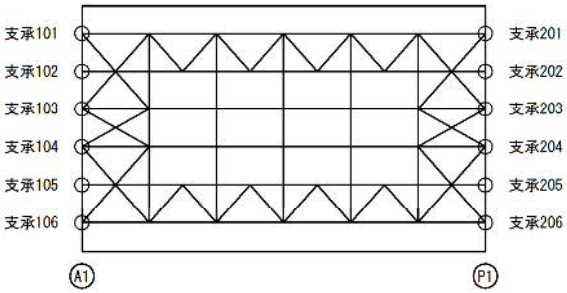
床版



下部工



支承部

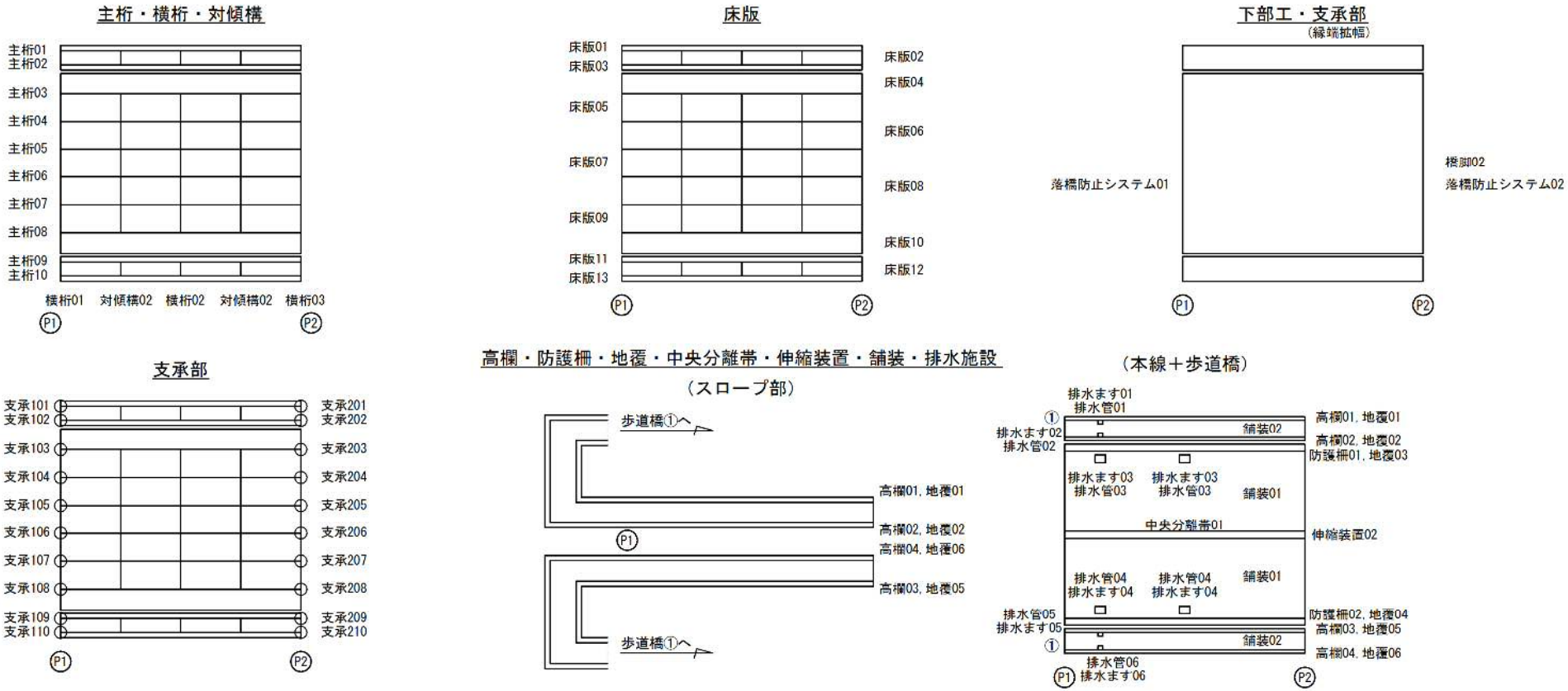


防護柵・地覆・中央分離帯・伸縮装置・舗装・排水施設

付図-1　部材番号図	径 間 番 号	2

フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋(JR軌道上除く)	路　線　名	勝下清水頭線	所在地	袖ケ浦市長浦580-113地先

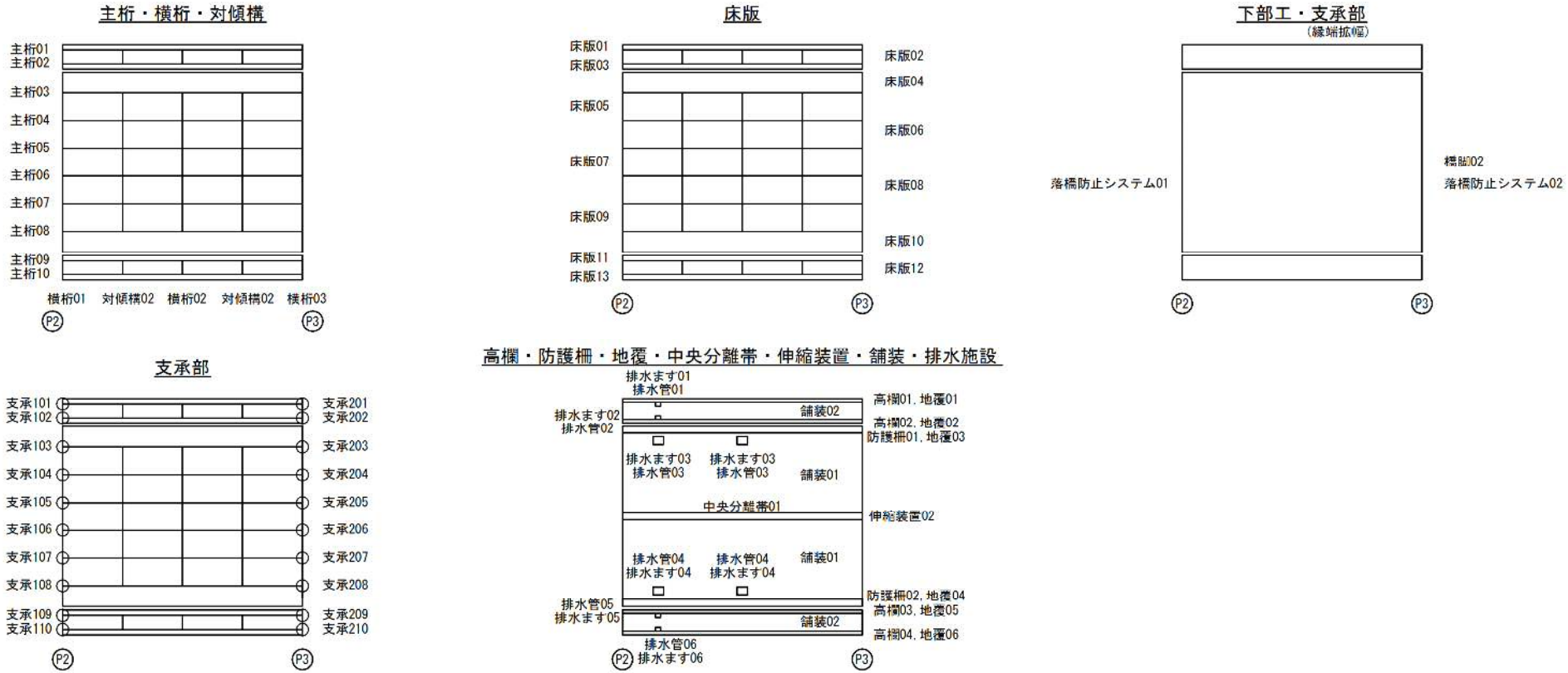
部材番号図



付図-1　部材番号図	径 間 番 号	3

フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋(JR軌道上除く)	路　線　名	勝下清水頭線	所在地	袖ケ浦市長浦580-113地先

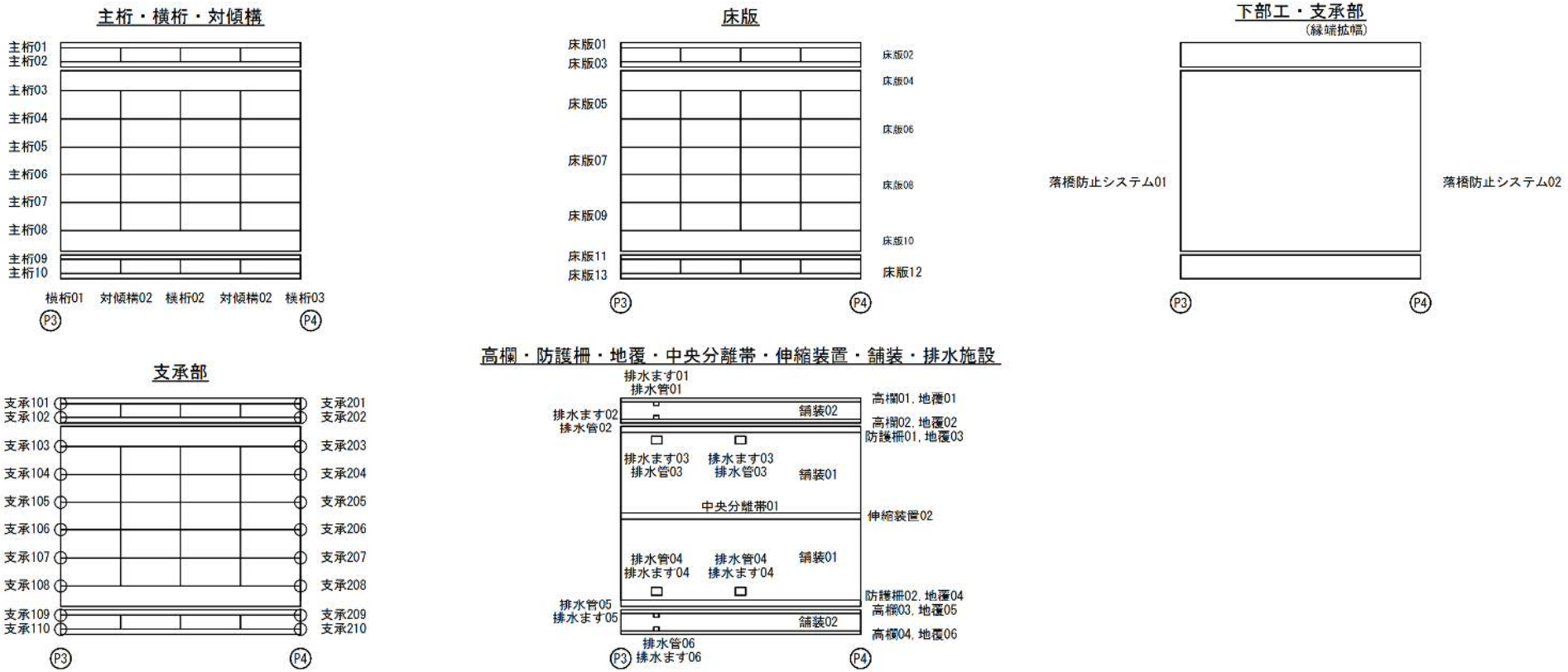
部材番号図



付図-1　部材番号図	径 間 番 号	4

フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋(JR軌道上除く)	路　線　名	勝下清水頭線	所在地	袖ケ浦市長浦580-113地先

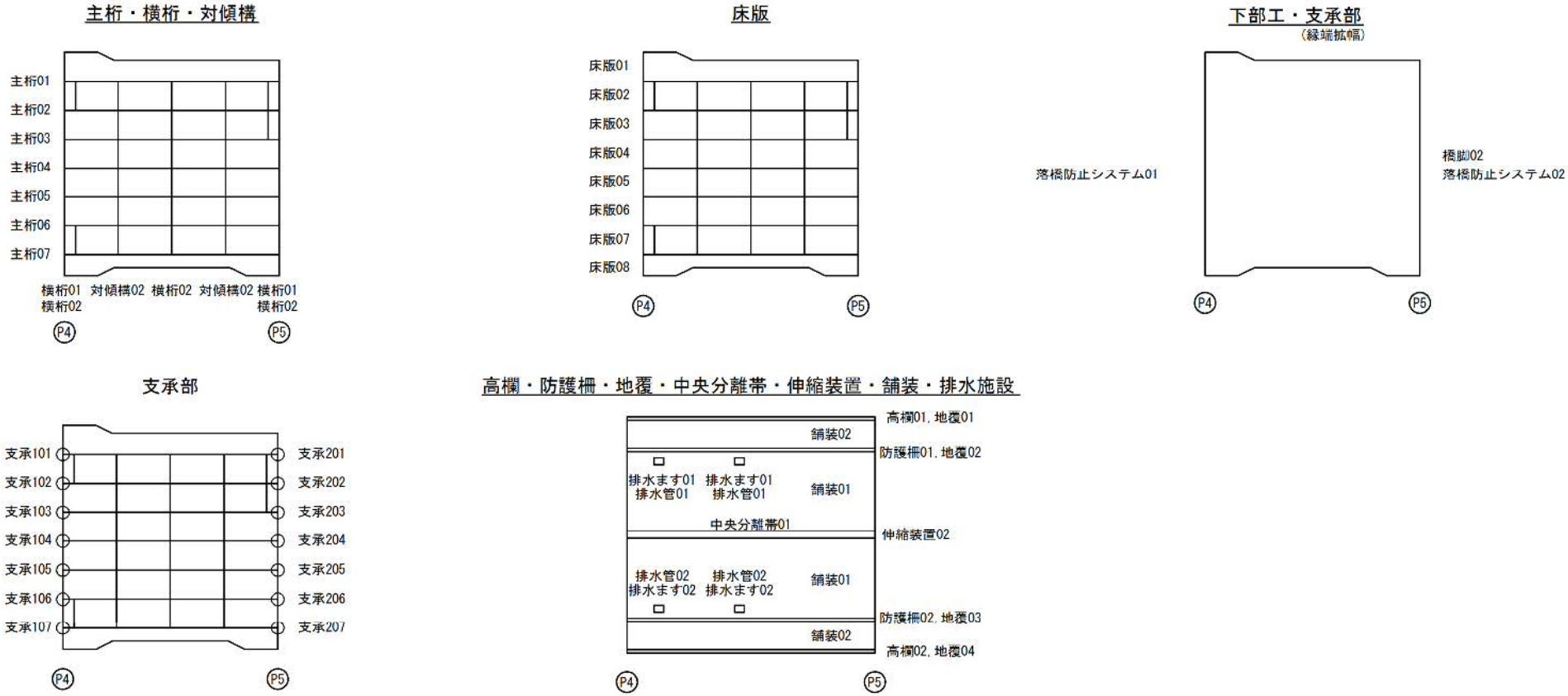
部材番号図



付図-1　部材番号図	径 間 番 号	5

フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋(JR軌道上除く)	路　線　名	勝下清水頭線	所在地	袖ケ浦市長浦580-113地先

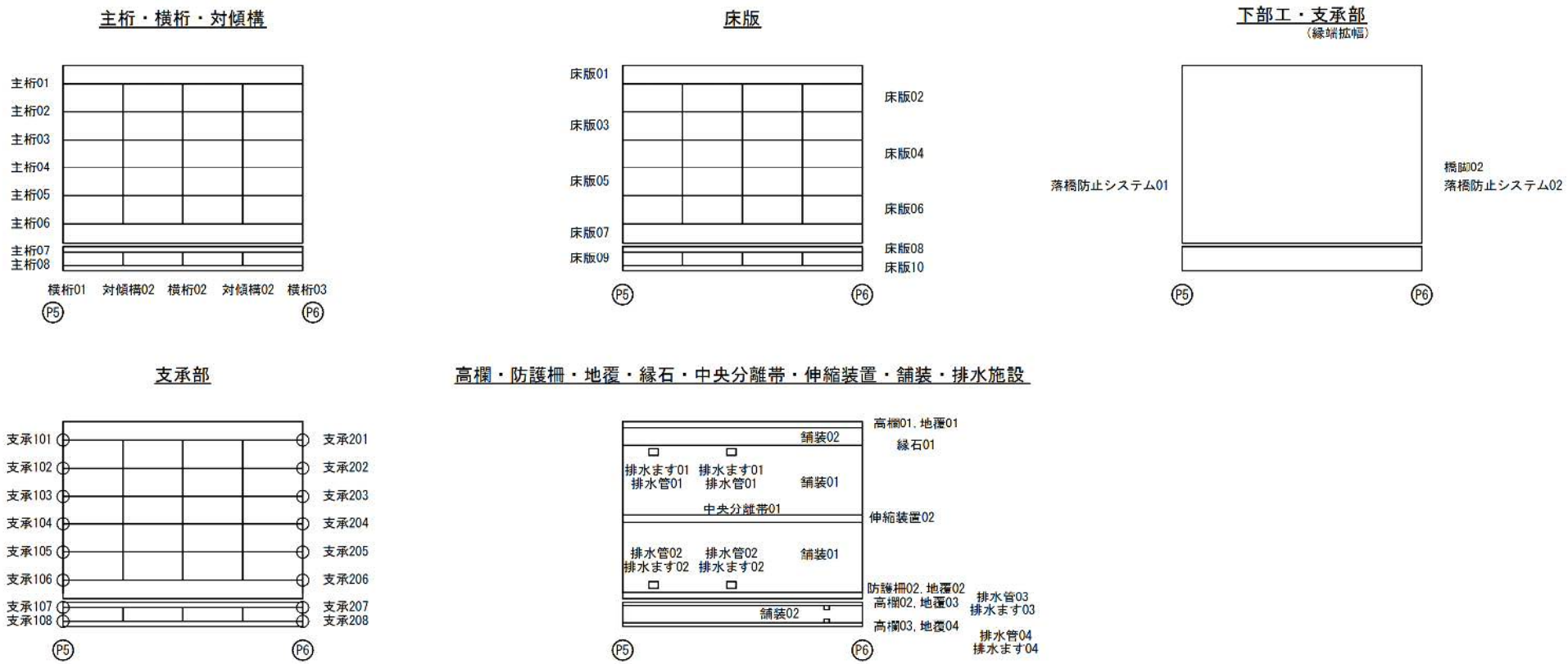
部材番号図



付図-1　部材番号図	径 間 番 号	6

フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋(JR軌道上除く)	路　線　名	勝下清水頭線	所在地	袖ケ浦市長浦580-113地先

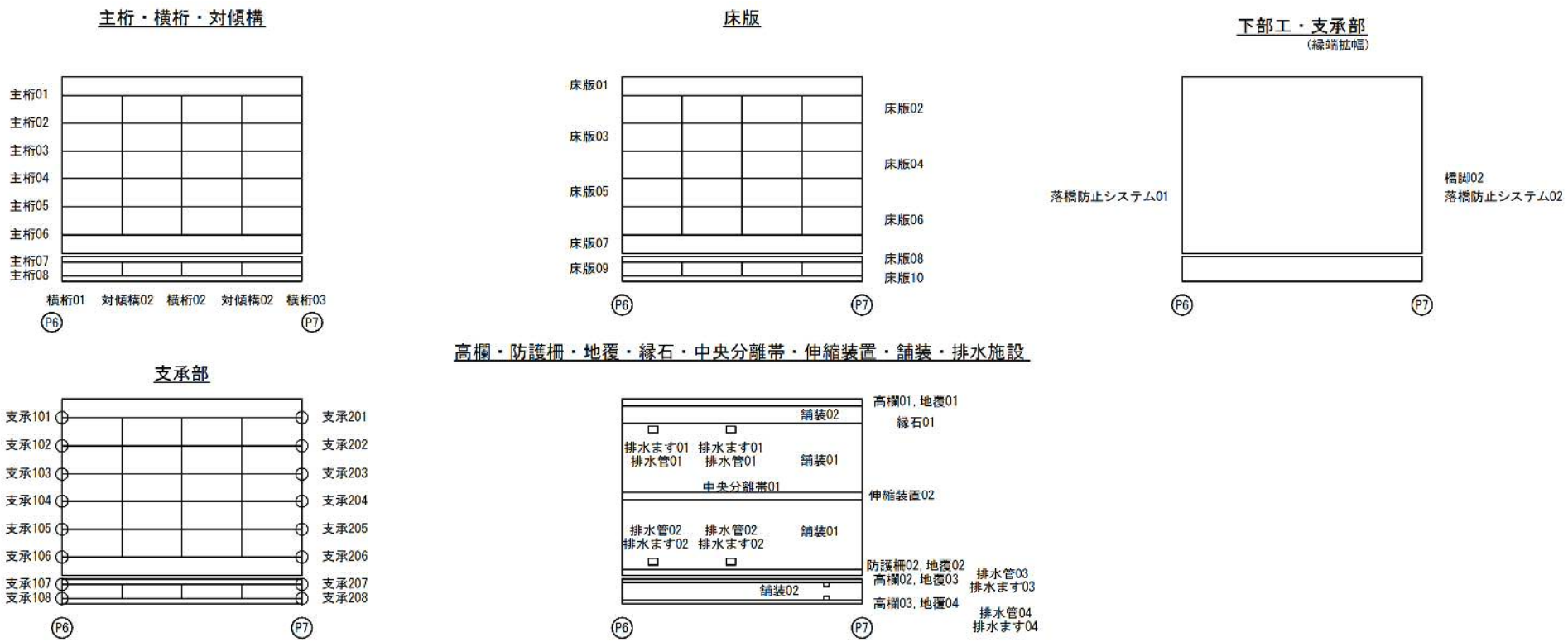
部材番号図



付図-1　部材番号図	径 間 番 号	7

フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋(JR軌道上除く)	路　線　名	勝下清水頭線	所在地	袖ケ浦市長浦580-113地先

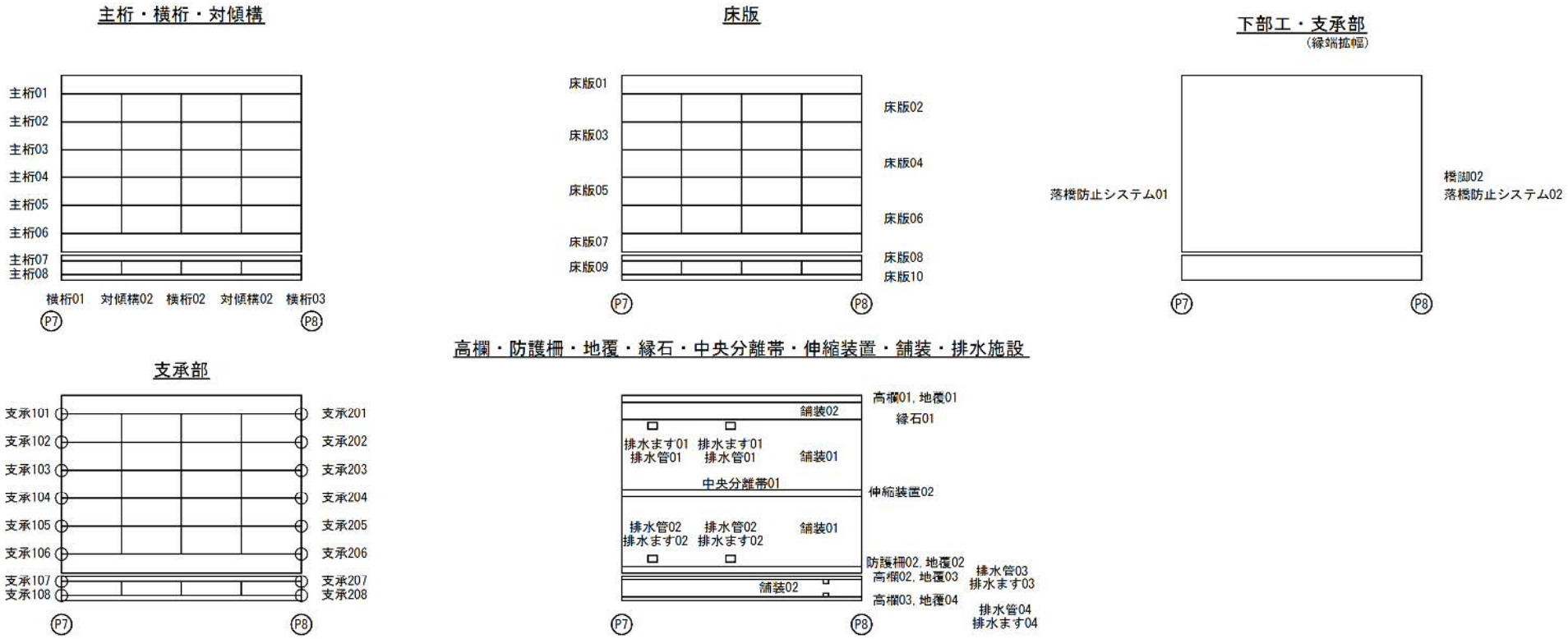
部材番号図



付図-1　部材番号図	径 間 番 号	8

フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋(JR軌道上除く)	路　線　名	勝下清水頭線	所在地	袖ケ浦市長浦580-113地先

部材番号図

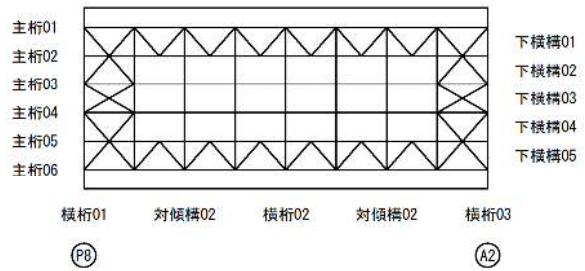


付図-1　部材番号図	径 間 番 号	9

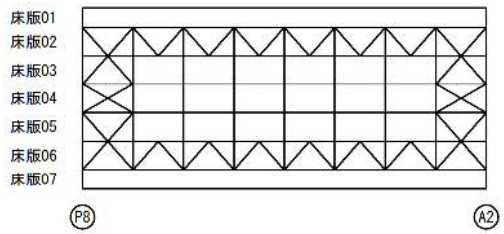
フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋(JR軌道上除く)	路　線　名	勝下清水頭線	所在地	袖ケ浦市長浦580-113地先

部材番号図

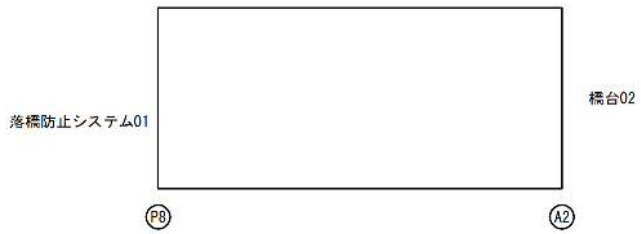
主桁・横桁・対傾構・下横構



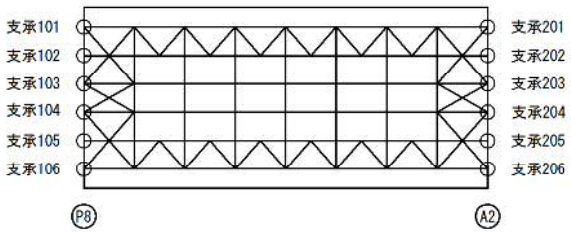
床版



下部工・支承部
(縁端拡幅)



支承部



高欄・防護柵・地覆・縁石・中央分離帯・伸縮装置・舗装・排水施設

定期点検記録様式(その１)　橋梁の諸元と総合検査結果

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

橋梁名 (ﾌﾘｶﾞﾅ)	蔵波跨線橋 (ｸﾗﾅﾐｺｾﾝｷｮｳ)		路線名	市道0110号線(勝下清水頭線)		管轄	袖ケ浦市	橋梁コード	-
所在地	自	袖ケ浦市長浦 (ｿﾃﾞｶﾞｳﾗｼﾅｶﾞｳﾗ)	距離標	自	-		都市建設部	調書更新年月日	
	至	袖ケ浦市蔵波台1丁目 (ｿﾃﾞｶﾞｳﾗｼ ｸﾗﾅﾐﾀﾞｲ 1ﾁｮｳﾒ)		至	-		土木管理課	現地確認年月日	2019年9月19日

供用開始日	1979年3月	橋長	207.2m	活荷重・等級	TL-20	一等橋	適用示方書	道路橋示方書(昭和47年)							交通条件	調査年	—
上部構造形式	9径間単純鋼鈑桁橋			幅員	全幅員	20.30m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線		車道幅・車線		歩道幅	地覆幅	中央帯	中央分離帯	交通量	—
					有効幅員	19.50m	0.40m	2.25m	6.50m	2	6.50m	2	2.25m	0.40m	1.15m	1.00m		昼間12時間
下部構造形式	逆T式橋台　2基 RCﾗｰﾒﾝ式橋脚　8基			備考	[点検会社]JR東日本コンサルタンツ株式会社 [近接不可範囲]なし [関係協議先]第5径間：東日本旅客鉄道株式会社 [再塗装] 2011年3月 [補修履歴]なし				[点検方法]4径間：梯子(橋脚)5径間：軌陸車、梯子 [支障物] なし [橋面防水工] 不明 [第三者被害予防措置範囲] 一般道(第4径間),JR内房線・駐車場(第5径間)								大型混入率	—
基礎形式	直接基礎　2基 くい基礎　8基																荷重制限	

総合検査結果

健全度(橋単位)	

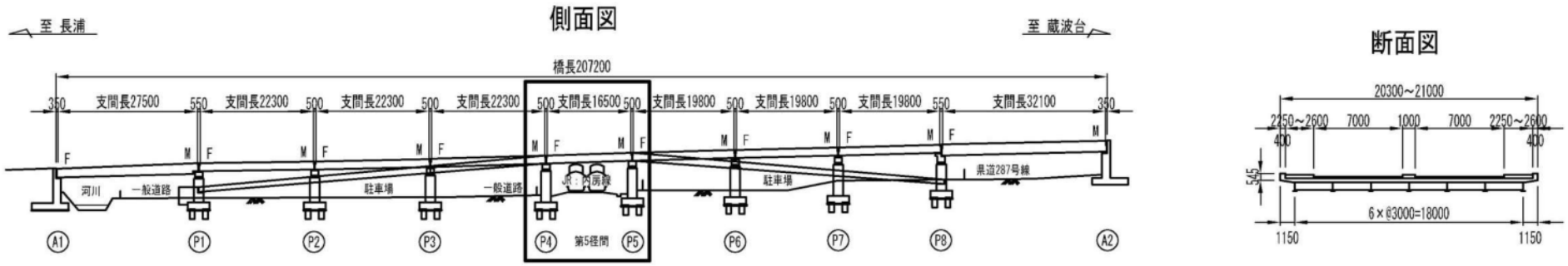
橋梁診断員	

定期点検記録様式（その２）　径間一般図	径間番号	5

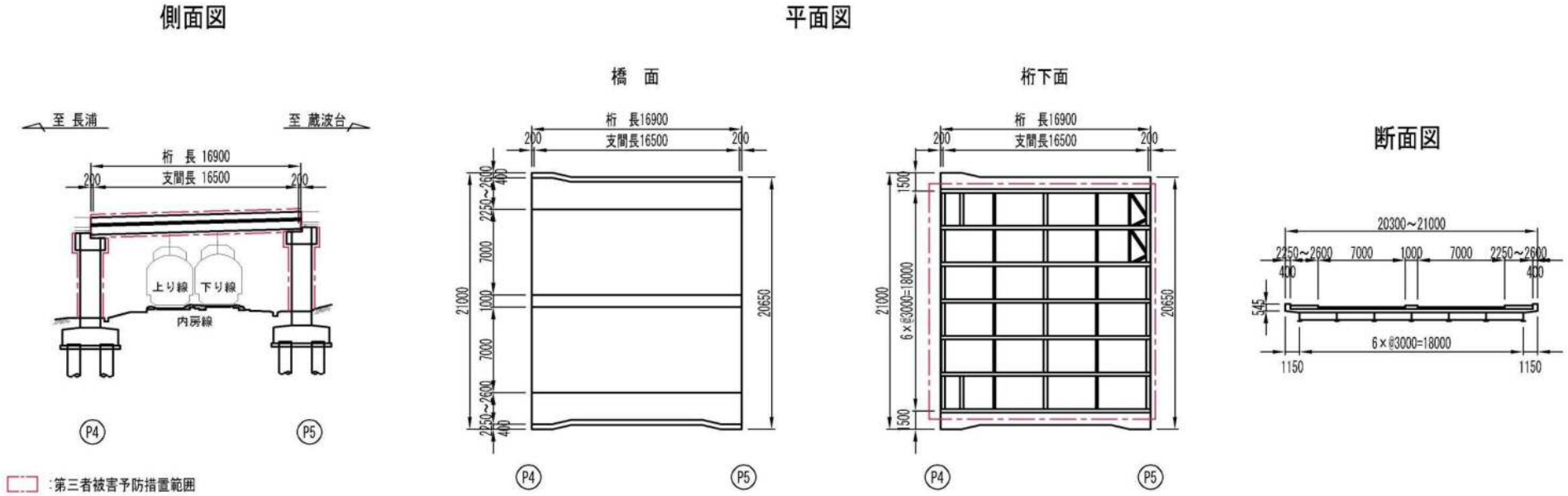
起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

橋　梁　名（フリガナ：クラナミコセンキョウ）	蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線（勝下清水頭線）	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	－

全体図



一般図



○全体図、一般図には近接目視による診断ができていない箇所や近接目視によらない方法を講じた箇所を明記すること。

定期点検記録様式(その３)　現地状況写真	径間番号	1

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

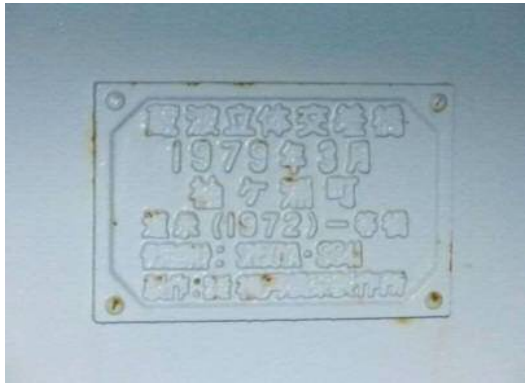
橋梁名 (ﾌﾘｶﾞﾅ)	蔵波跨線橋 (ｸﾗﾅﾐｺｾﾝｷｮｳ)	路線名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-

現地状況写真

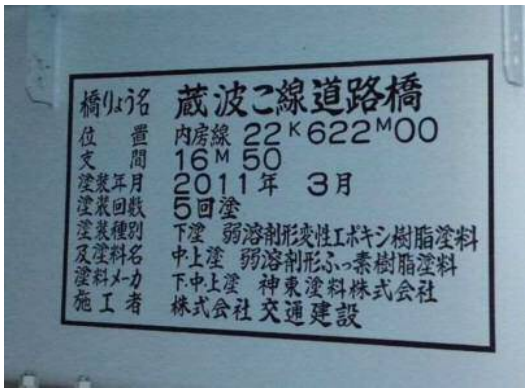
写真番号	1	撮影年月日	2019.9.14
径間番号	1		
メモ(必要に応じて)	正面全景 起点側から		

写真番号	2	撮影年月日	2019.9.15
径間番号	1		
メモ(必要に応じて)	側面全景 起点左		

写真番号	3	撮影年月日	2019.9.15
径間番号	1		
メモ(必要に応じて)	蔵波立体交差橋　　1979年3月　　袖ケ浦町 道示(1972)一等橋　　使用鋼材：SM50YA・SS41 製作：株式会社横河橋梁製作所		



写真番号	4	撮影年月日	2019.9.15
径間番号	1		
メモ(必要に応じて)	塗装年月 2011年3月　塗装回数 5回塗 塗装種別及塗料名 下塗 弱溶剤形変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料 中・上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料		



写真番号	5	撮影年月日	2019.9.15
径間番号	1		
メモ(必要に応じて)	連結部にF11Tのﾎﾞﾙﾄ使用 落下防止措置無し		

写真番号	6	撮影年月日	2019.9.15
径間番号	1		
メモ(必要に応じて)	点検状況 軌陸車による点検状況		

定期点検記録様式(その３)　現地状況写真	径間番号	1

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	－

現地状況写真

写真番号	7	撮影年月日	2019.9.15
径間番号	1		
メモ(必要に応じて)	点検状況 寸法計測状況		

写真番号	8	撮影年月日	2019.9.15
径間番号	1		
メモ(必要に応じて)	ミーティング状況		

写真番号		撮影年月日	
径間番号			
メモ(必要に応じて)			

写真番号		撮影年月日	
径間番号			
メモ(必要に応じて)			

写真番号		撮影年月日	
径間番号			
メモ(必要に応じて)			

定期点検記録様式(その３)　現地状況写真	径間番号	4

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-

現地状況写真

写真番号	9	撮影年月日	2019.9.14
径間番号	4		
メモ(必要に応じて)	正面 起点側から		

写真番号	10	撮影年月日	2019.9.15
径間番号	4		
メモ(必要に応じて)	路面 起点左		

写真番号	11	撮影年月日	2019.9.15
径間番号	4		
メモ(必要に応じて)	側面 起点左		

写真番号	12	撮影年月日	2019.9.15
径間番号	4		
メモ(必要に応じて)	床組 起点側から		

写真番号	13	撮影年月日	2019.9.15
径間番号	4		
メモ(必要に応じて)	P4橋脚		

写真番号	14	撮影年月日	2019.9.14
径間番号	4		
メモ(必要に応じて)	伸縮装置 P4橋脚上_車道部		

定期点検記録様式(その３)　現地状況写真	径間番号	4

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	－

現地状況写真

写真番号	15	撮影年月日	2019.9.14	写真番号	16	撮影年月日	2019.9.14	写真番号		撮影年月日	
径間番号	4			径間番号	4			径間番号			
メモ(必要に応じて)	伸縮装置 P4橋脚上_歩道部(上り)			メモ(必要に応じて)	伸縮装置 P4橋脚上_歩道部(下り)			メモ(必要に応じて)			

写真番号		撮影年月日		写真番号		撮影年月日		写真番号		撮影年月日	
径間番号				径間番号				径間番号			
メモ(必要に応じて)				メモ(必要に応じて)				メモ(必要に応じて)			

定期点検記録様式(その３)　現地状況写真	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

橋梁名 (フリガナ: クラナミコセンキョウ)	蔵波跨線橋	路線名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	－

現地状況写真

写真番号	17	撮影年月日	2019.9.14
径間番号	5		
メモ(必要に応じて)	正面 起点側から		

写真番号	18	撮影年月日	2019.9.14
径間番号	5		
メモ(必要に応じて)	路面 起点左		

写真番号	19	撮影年月日	2019.9.15
径間番号	5		
メモ(必要に応じて)	側面 起点左		

写真番号	20	撮影年月日	2019.9.15
径間番号	5		
メモ(必要に応じて)	床組 起点側から		

写真番号	21	撮影年月日	2019.9.15
径間番号	5		
メモ(必要に応じて)	P5橋脚		

写真番号	22	撮影年月日	2019.9.15
径間番号	5		
メモ(必要に応じて)	支承全景 P4橋脚上(固定)		

定期点検記録様式(その３)　現地状況写真	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

橋　梁　名 (フリガナ)	蔵波跨線橋 (クラナミコセンキョウ)	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	－

現地状況写真

写真番号	23	撮影年月日	2019.9.15
径間番号	5		
メモ(必要に応じて)	支承近景 P4橋脚上(固定)		

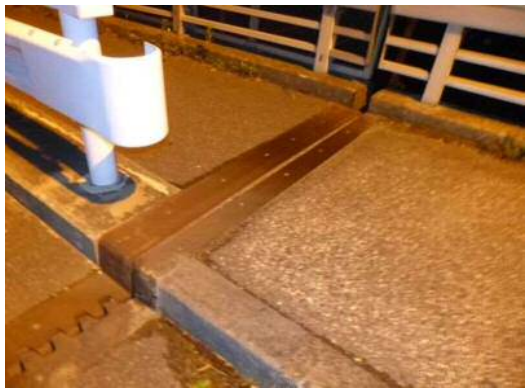
写真番号	24	撮影年月日	2019.9.15
径間番号	5		
メモ(必要に応じて)	支承全景 P5橋脚上(可動)		

写真番号	25	撮影年月日	2019.9.15
径間番号	5		
メモ(必要に応じて)	支承近景 P5橋脚上(可動)		

写真番号	26	撮影年月日	2019.9.14
径間番号	5		
メモ(必要に応じて)	伸縮装置 P5橋脚上_車道部		

写真番号	27	撮影年月日	2019.9.14
径間番号	5		
メモ(必要に応じて)	伸縮装置 P5橋脚上_歩道部(上り)		

写真番号	28	撮影年月日	2019.9.14
径間番号	5		
メモ(必要に応じて)	伸縮装置 P5橋脚上_歩道部(下り)		



定期点検記録様式（その４）部材番号図及び要素番号図	径間番号	4

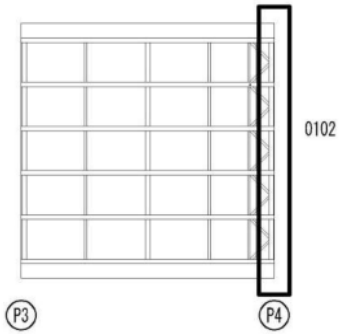
起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

橋　梁　名（ﾌﾘｶﾞﾅ）	蔵波跨線橋（ｸﾗﾅﾐｺｾﾝｷｮｳ）	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	－

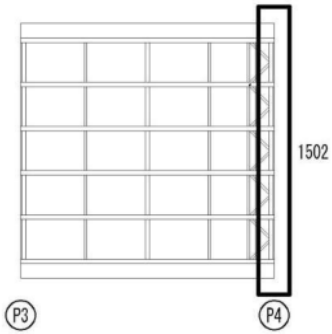
部材番号図及び要素番号図

【要素番号図】

梁部(Pb),隅角部・接合部(Pc)
柱部・壁部(Pw)

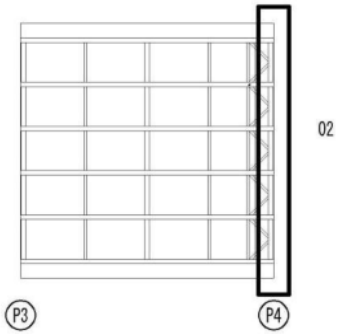


落橋防止ｼｽﾃﾑ(Sf)



【部材番号図】

梁部(Pb),隅角部・接合部(Pc)
柱部・壁部(Pw)



定期点検記録様式（その４）部材番号図及び要素番号図	径間番号	5

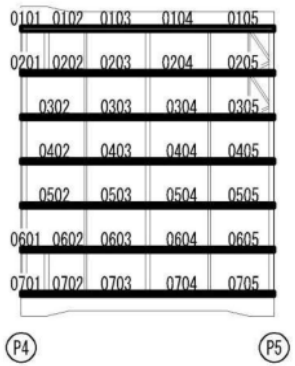
起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線（勝下清水頭線）	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	－

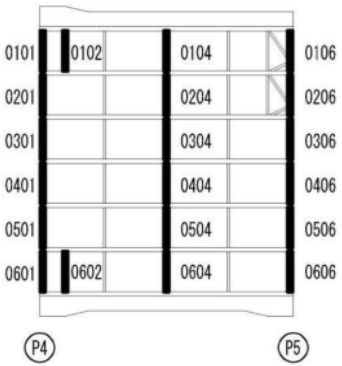
部材番号図及び要素番号図

【要素番号図】

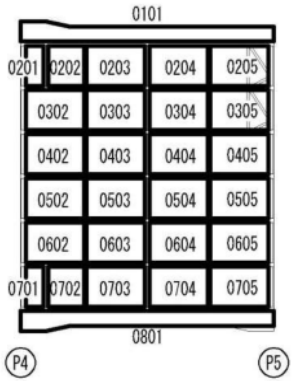
主桁（Mg）



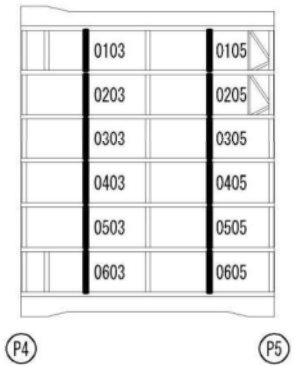
横桁（Cr）



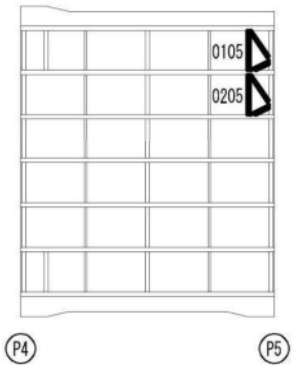
床版（Ds）



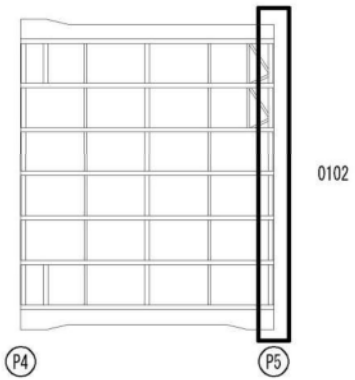
対傾構（Cf）



上横構（Lu）



梁部（Pb），隅角部・接合部（Pc）柱部・壁部（Pw）



定期点検記録様式（その４）部材番号図及び要素番号図	径間番号	5

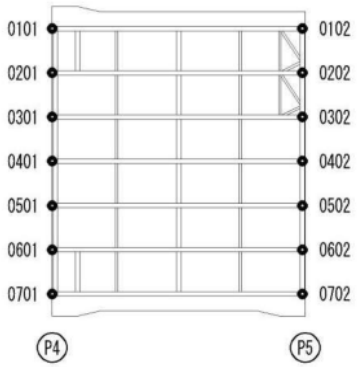
起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線（勝下清水頭線）	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	－

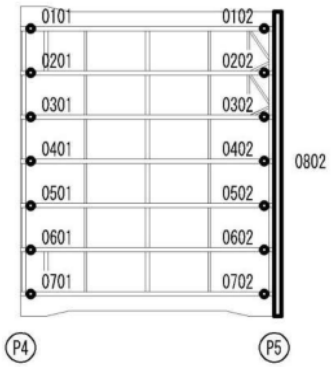
部材番号図及び要素番号図

【要素番号図】

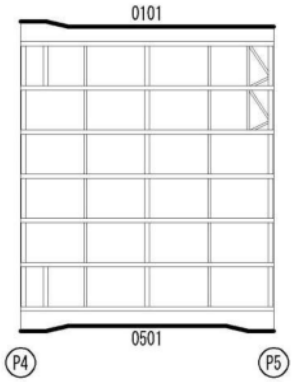
支承本体(Bh)，ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ(Ba)，沓座ﾓﾙﾀﾙ(Bm)



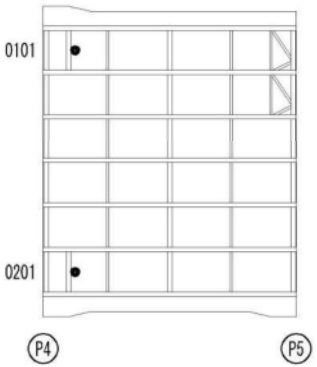
落橋防止ｼｽﾃﾑ(Sf)



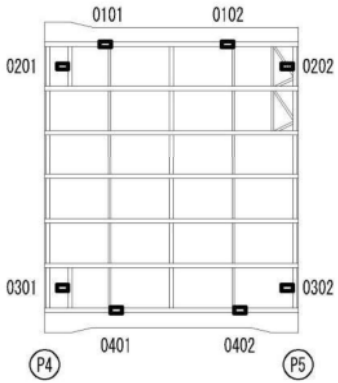
地覆(Fg)，高欄(Ra)



排水管(Dp)，排水ます(Dr)



添架物(Ut)



定期点検記録様式（その４）部材番号図及び要素番号図	径間番号	5

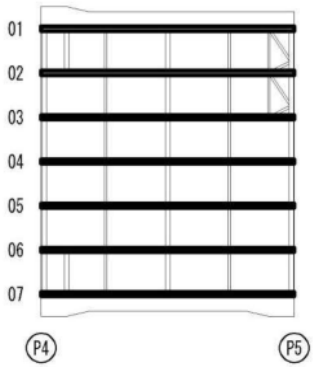
起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	－

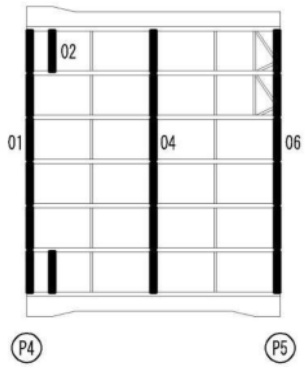
部材番号図及び要素番号図

【部材番号図】

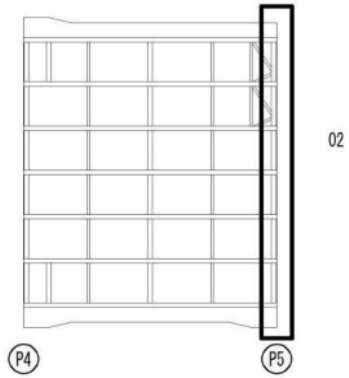
主桁(Mg)



横桁(Cr)



梁部(Pb),隅角部・接合部(Pc)
柱部・壁部(Pw)



定期点検記録様式(その５) 状態把握の方法	径間番号	4,5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

橋梁名 (ﾌﾘｶﾞﾅ)	蔵波跨線橋 (ｸﾗﾅﾐｺｾﾝｷｮｳ)	路線名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	－

近接目視による状態の把握ができていない個所・近接目視によらない方法を講じた箇所

	部材名	部材番号	要素番号	理由	対応策・機器等の性能や条件
健全性の診断のための支援					
記録のための支援	ﾌｰﾁﾝｸﾞ	Ff02	Ff0102	土中部のため、近接目視不可	

○近接目視又は打音、触診ができていない個所および近接目視によらない方法を講じた箇所を記載する。

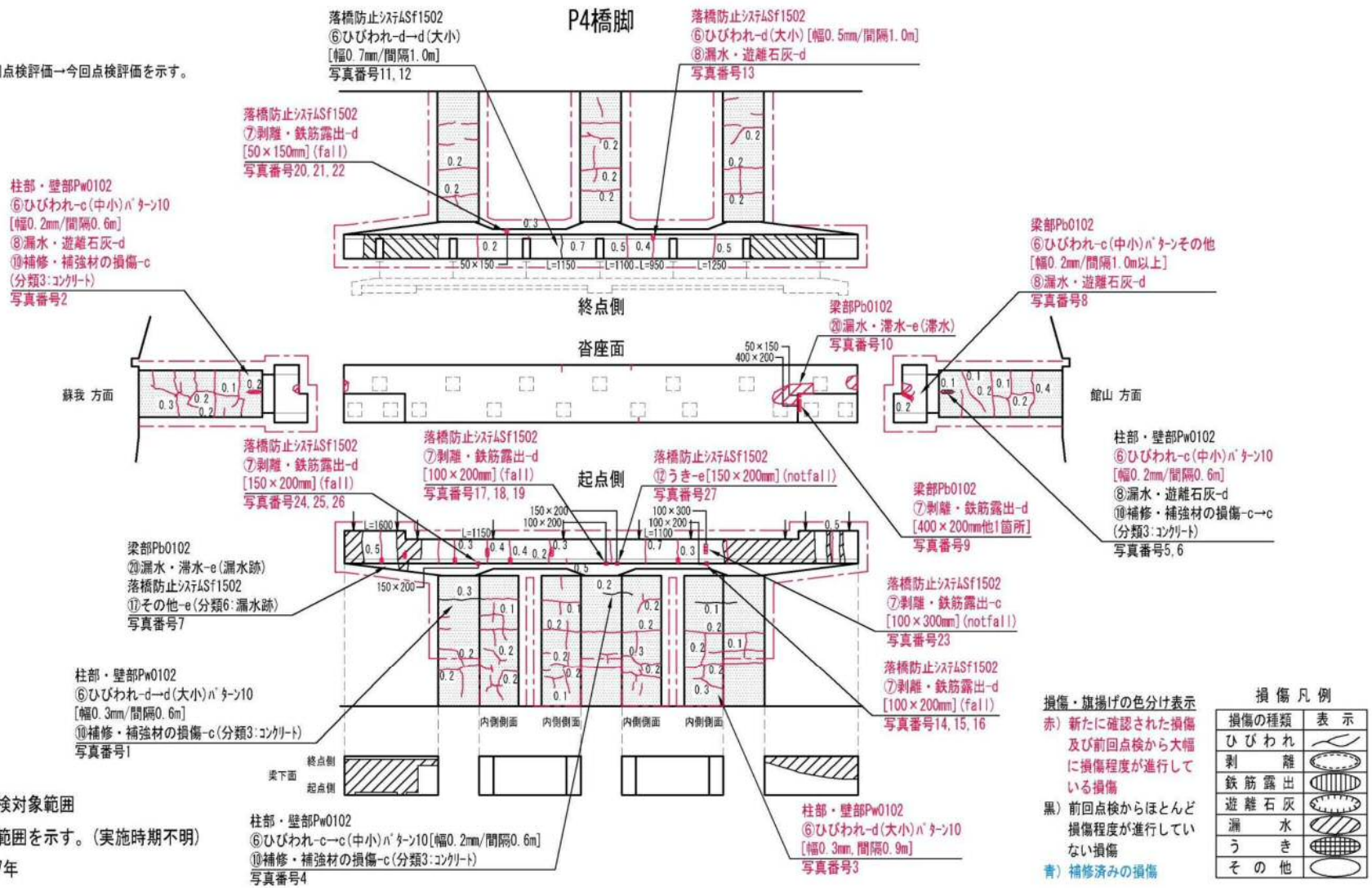
データ記録様式(その９)　損傷図	径間番号	4

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-

損傷図

※1　損傷評価の矢印は、前回点検評価→今回点検評価を示す。

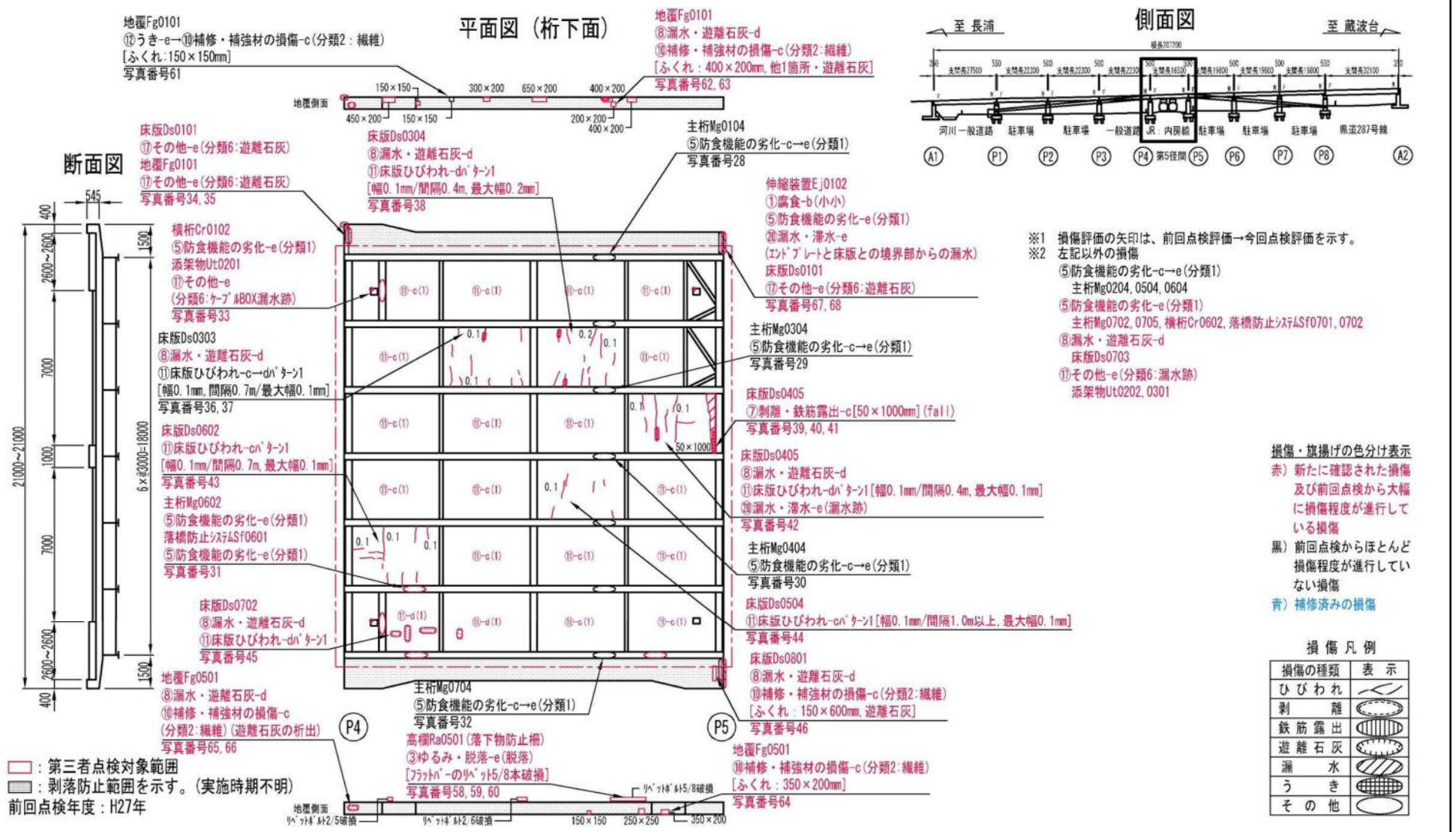


データ記録様式（その９） 損傷図	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

橋梁名（ﾌﾘｶﾞﾅ）	蔵波跨線橋（ｸﾗﾅﾐｺｾﾝｷｮｳ）	路線名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-

損傷図



データ記録様式(その９)　損傷図	径間番号	5

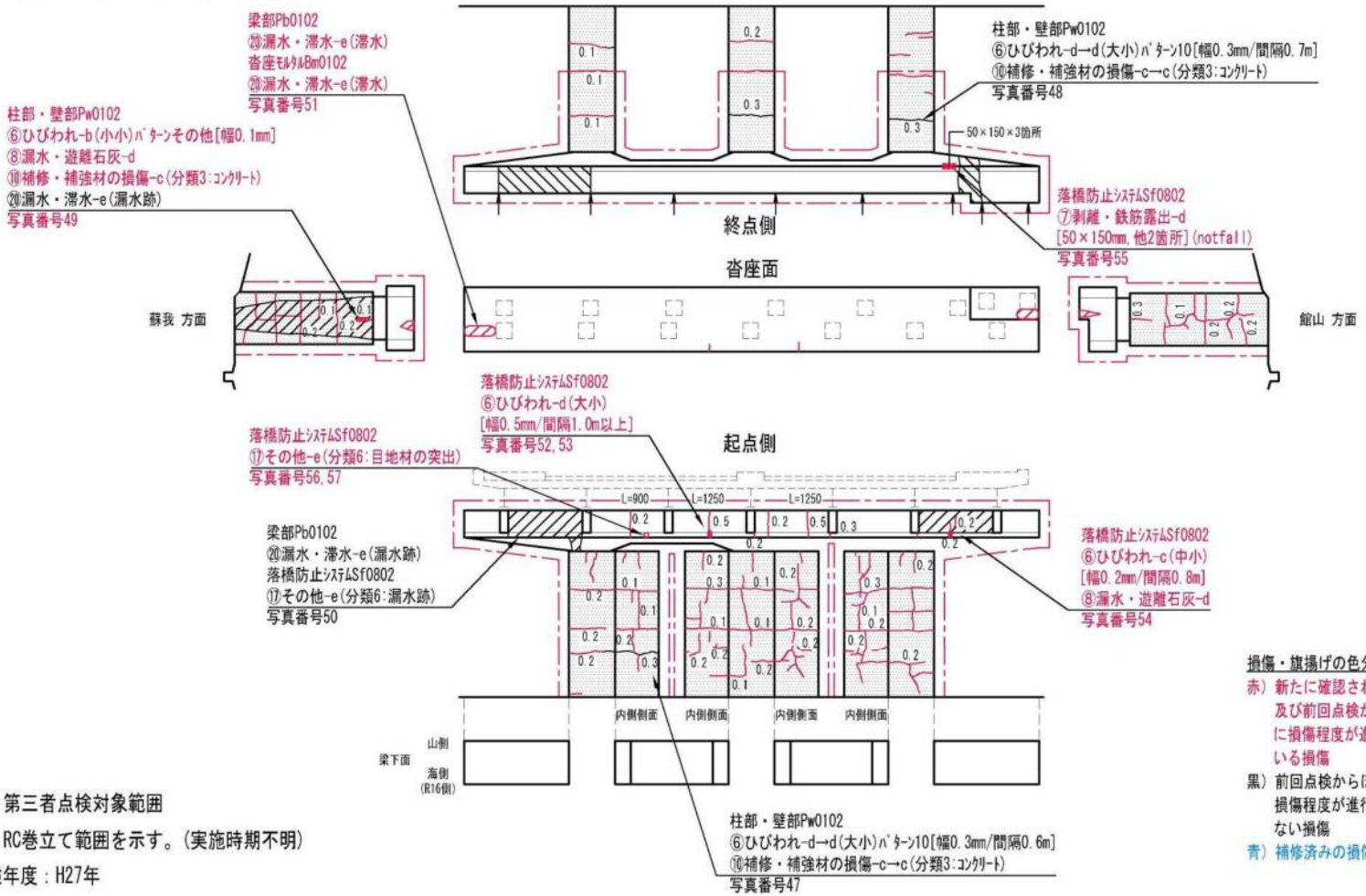
起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-

損傷図

P5橋脚

※1　損傷評価の矢印は、前回点検評価→今回点検評価を示す。



データ記録様式(その１０)　損傷写真	径間番号	4

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-
備　　考							

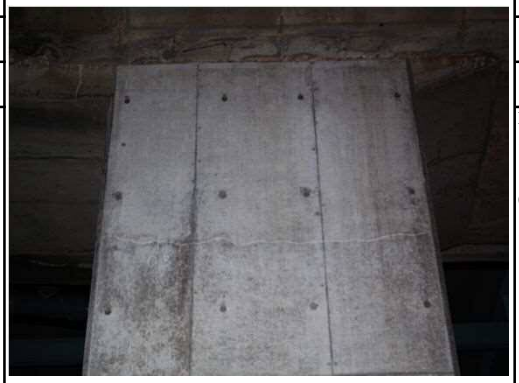
損傷写真

写真番号	1	撮影年月日	2019.09.20
部材名	柱部・壁部	要素番号	0102
損傷の種類	補修・補強材の損傷	損傷程度	c

前回損傷程度: c

メモ: P4橋脚柱ｺﾝｸﾘｰﾄ巻立て部にひびわれが見られる。⑥ひびわれ-d(大小)ﾊﾟﾀｰﾝ10 [幅0.3mm/間隔0.6m]

写真番号	前回-1	撮影年月日	2015.08.28
部材名	柱部・壁部	要素番号	0102
損傷の種類	補修・補強材の損傷	損傷程度	c



前回点検年度：2015年度

前回損傷程度:

メモ: P4橋脚左柱、起点方面から側面にかけて水平方向のひびわれ ⑩補修・補強材の損傷以外に⑥ひびわれd(大小)にも該当

写真番号	2	撮影年月日	2019.09.20
部材名	柱部・壁部	要素番号	0102
損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d

前回損傷程度: d

メモ: P4橋脚ｺﾝｸﾘｰﾄ巻立て部にひびわれが見られる。写真の損傷ランクはc [幅0.2mm/間隔0.6m] ⑧漏水・遊離石灰-d ⑩補修・補強材の損傷-c(分類3:ｺﾝｸﾘｰﾄ)

写真番号	3	撮影年月日	2019.09.20
部材名	柱部・壁部	要素番号	0102
損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d

前回損傷程度: d

メモ: P4橋脚ｺﾝｸﾘｰﾄ巻立て部にひびわれが見られる。[幅0.3mm,間隔0.9m]

写真番号	4	撮影年月日	2019.09.20
部材名	柱部・壁部	要素番号	0102
損傷の種類	補修・補強材の損傷	損傷程度	c

前回損傷程度: c

メモ: P4橋脚ｺﾝｸﾘｰﾄ巻立て部にひびわれが見られる。⑥ひびわれ-c(中小)ﾊﾟﾀｰﾝ10 [幅0.2mm/間隔0.6m]

写真番号	5	撮影年月日	2019.09.20
部材名	柱部・壁部	要素番号	0102
損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d

前回損傷程度: d

メモ: P4橋脚ｺﾝｸﾘｰﾄ巻立て部に遊離石灰を伴うひびわれが見られる。写真の損傷ランクはc [幅0.2mm/間隔0.6m] ⑧漏水・遊離石灰-d ⑩補修・補強材の損傷-c(分類3:ｺﾝｸﾘｰﾄ)

データ記録様式(その１０)　損傷写真	径間番号	4

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

ﾌﾘｶﾞﾅ 橋　梁　名	ｸﾗﾅﾐｺｾﾝｷｮｳ 蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-
備　　考							

損傷写真

写真番号	6	撮影年月日	2019.09.20
部材名	柱部・壁部	要素番号	0102
損傷の種類	補修・補強材の損傷	損傷程度	c

前回損傷程度: c

メモ: 写真番号5の近景写真

写真番号	前回-3	撮影年月日	2015.08.28
部材名	柱部・壁部	要素番号	0102
損傷の種類	補修・補強材の損傷	損傷程度	c

前回点検年度：2015年度

前回損傷程度:

メモ: P4橋脚右柱、右側面遊離石灰の浸出

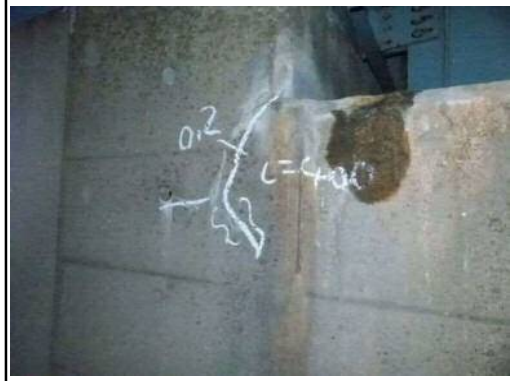
写真番号	7	撮影年月日	2019.09.20
部材名	梁部	要素番号	0102
損傷の種類	漏水・滞水	損傷程度	e

前回損傷程度:

メモ: P4橋脚梁部やｺﾝｸﾘｰﾄ縁端拡幅部に漏水跡が見られる。
落橋防止ｼｽﾃﾑ
Sf1502
⑰その他-e(分類6:漏水跡)

過年度点検では記録がない損傷である。

写真番号	8	撮影年月日	2019.09.20
部材名	梁部	要素番号	0102
損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	c



前回損傷程度:

メモ: P4橋脚梁部にひびわれが見られる。
[幅0.2mm/間隔1.0m以上]
⑧漏水・遊離石灰-d

写真番号	9	撮影年月日	2019.09.20
部材名	梁部	要素番号	0102
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d

前回損傷程度:

メモ: P4橋脚梁部に鉄筋露出が見られる。
[400×200mm他1箇所]

写真番号	10	撮影年月日	2019.09.20
部材名	梁部	要素番号	0102
損傷の種類	漏水・滞水	損傷程度	e

前回損傷程度:

メモ: P4橋脚梁部に滞水が見られる。

データ記録様式(その１０)　損傷写真	径間番号	4

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

ﾌﾘｶﾞﾅ 橋　梁　名	ｸﾗﾅﾐｺｾﾝｷｮｳ 蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-
備　　考							

損傷写真

写真番号	11	撮影年月日	2019.09.20
部材名	落橋防止システム	要素番号	1502
損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d

前回損傷程度: d

メモ: P4橋脚ｺﾝｸﾘｰﾄ縁端拡幅部にひびわれが見られる。[幅0.7mm/間隔1.0m]

前回点検では5径間の損傷として計上されている

写真番号	前回-8	撮影年月日	2015.08.21
部材名	落橋防止システム	要素番号	0101
損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d

前回点検年度：2015年度

前回損傷程度:

メモ: P4橋脚終点方縁端拡幅ｺﾝｸﾘｰﾄに幅0.5mmのひびわれ

写真番号	12	撮影年月日	2019.09.20
部材名	落橋防止システム	要素番号	1502
損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d

前回損傷程度: d

メモ: 写真番号11の近景写真
ひびわれ幅0.7mm

写真番号	13	撮影年月日	2019.09.20
部材名	落橋防止システム	要素番号	1502
損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d

前回損傷程度: d

メモ: P4橋脚ｺﾝｸﾘｰﾄ縁端拡幅部にひびわれが見られる。[幅0.5mm/間隔1.0m]
⑧漏水・遊離石灰-d

写真番号	14	撮影年月日	2019.09.20
部材名	落橋防止システム	要素番号	1502
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d

前回損傷程度:

メモ: P4橋脚ｺﾝｸﾘｰﾄ縁端拡幅部に鉄筋露出が見られる。[100×200mm]
fall

写真番号	15	撮影年月日	2019.09.20
部材名	落橋防止システム	要素番号	1502
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d

前回損傷程度:

メモ: 写真番号14の叩き落し前

データ記録様式(その１０)　損傷写真	径間番号	4

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-
備　　考							

損傷写真

写真番号	16	撮影年月日	2019.09.20
部材名	落橋防止システム	要素番号	1502
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d

前回損傷程度

メモ

写真番号14の防錆処理後

写真番号	17	撮影年月日	2019.09.20
部材名	落橋防止システム	要素番号	1502
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d

前回損傷程度

メモ

P4橋脚ｺﾝｸﾘｰﾄ縁端拡幅部に鉄筋露出が見られる[100×200mm] fall

写真番号	18	撮影年月日	2019.09.20
部材名	落橋防止システム	要素番号	1502
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d

前回損傷程度

メモ

写真番号17の叩き落し前

写真番号	19	撮影年月日	2019.09.20
部材名	落橋防止システム	要素番号	1502
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d

前回損傷程度

メモ

写真番号17の防錆処理後

写真番号	20	撮影年月日	2019.09.20
部材名	落橋防止システム	要素番号	1502
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d

前回損傷程度

メモ

P4橋脚ｺﾝｸﾘｰﾄ縁端拡幅部に鉄筋露出が見られる[50×150mm] fall

写真番号	21	撮影年月日	2019.09.20
部材名	落橋防止システム	要素番号	1502
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d

前回損傷程度

メモ

写真番号20の叩き落し前

データ記録様式(その１０)　損傷写真	径間番号	4

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

ﾌﾘｶﾞﾅ 橋　梁　名	ｸﾗﾅﾐｺｾﾝｷｮｳ 蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-
備　考							

損傷写真

写真番号	22	撮影年月日	2019.09.20
部材名	落橋防止システム	要素番号	1502
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d

前回損傷程度

メモ

写真番号20の防錆処理後

写真番号	23	撮影年月日	2019.09.20
部材名	落橋防止システム	要素番号	1502
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d

前回損傷程度

メモ

P4橋脚ｺﾝｸﾘｰﾄ縁端拡幅部に剥離が見られる。
写真の損傷ランクはc
[100×300mm]
notfall

写真番号	24	撮影年月日	2019.09.20
部材名	落橋防止システム	要素番号	1502
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d

前回損傷程度

メモ

P4橋脚ｺﾝｸﾘｰﾄ縁端拡幅部に鉄筋露出が見られる。
[150×200mm]
fall

写真番号	25	撮影年月日	2019.09.20
部材名	落橋防止システム	要素番号	1502
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d

前回損傷程度

メモ

写真番号24の叩き落し前

写真番号	26	撮影年月日	2019.09.20
部材名	落橋防止システム	要素番号	1502
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d

前回損傷程度

メモ

写真番号24の防錆処理後

写真番号	27	撮影年月日	2019.09.20
部材名	落橋防止システム	要素番号	1502
損傷の種類	うき	損傷程度	e

前回損傷程度

メモ

P4橋脚ｺﾝｸﾘｰﾄ縁端拡幅部にうきが見られる。
[150×200mm]
notfall

データ記録様式(その１０)　損傷写真	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-
備　　考							

損傷写真

写真番号	28	撮影年月日	2019.09.15
部材名	主桁	要素番号	0104
損傷の種類	防食機能の劣化	損傷程度	e

前回損傷程度: c

メモ: 主桁に点錆が見られる。

写真番号	前回-1	撮影年月日	2015.08.28
部材名	主桁	要素番号	0103
損傷の種類	防食機能の劣化	損傷程度	c

前回点検年度:2015年度

前回損傷程度:

メモ: 桁連結部フランジ下面ボルトの塗膜が劣化

写真番号	29	撮影年月日	2019.09.15
部材名	主桁	要素番号	0304
損傷の種類	防食機能の劣化	損傷程度	e

前回損傷程度: c

メモ: 主桁に点錆が見られる。

写真番号	30	撮影年月日	2019.09.15
部材名	主桁	要素番号	0404
損傷の種類	防食機能の劣化	損傷程度	e

前回損傷程度: c

メモ: 主桁に点錆の劣化が見られる。

写真番号	31	撮影年月日	2019.09.20
部材名	主桁	要素番号	0602
損傷の種類	防食機能の劣化	損傷程度	e

前回損傷程度:

メモ: 主桁や落橋防止ｼｽﾃﾑのﾌﾞﾗｹｯﾄに点錆が見られる。
落橋防止ｼｽﾃﾑ
Sf0601
⑤防食機能の劣化-e(分類1)

写真番号	32	撮影年月日	2019.09.15
部材名	主桁	要素番号	0704
損傷の種類	防食機能の劣化	損傷程度	e

前回損傷程度: c

メモ: 主桁に点錆が見られる。

データ記録様式(その１０)　損傷写真	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

ﾌﾘｶﾞﾅ 橋　梁　名	ｸﾗﾅﾐｺｾﾝｷｮｳ 蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-
備　　考							

損傷写真

写真番号	33	撮影年月日	2019.09.20
部材名	横桁	要素番号	0102
損傷の種類	防食機能の劣化	損傷程度	e

前回損傷程度

メモ

横桁に点錆が見られる。また、ｹｰﾌﾞﾙBOXに漏水跡が見られる。
添架物Ut0201
⑰その他-e(分類6:ｹｰﾌﾞﾙBOX漏水跡)

写真番号	34	撮影年月日	2019.09.20
部材名	床版	要素番号	0101
損傷の種類	その他	損傷程度	e

前回損傷程度

メモ

床版に伝い水による遊離石灰の析出が見られる。
地覆Fg0101
⑰その他-e(分類6:遊離石灰)

写真番号	35	撮影年月日	2019.09.20
部材名	地覆	要素番号	0101
損傷の種類	その他	損傷程度	e

前回損傷程度

メモ

写真番号34の近景写真

地覆に伸縮装置からの漏水により遊離石灰の析出が見られる

写真番号	36	撮影年月日	2019.09.20
部材名	床版	要素番号	0303
損傷の種類	床版ひびわれ	損傷程度	d

前回損傷程度

c

メモ

床版に1方向の遊離石灰を伴うひびわれが見られる。
[幅0.1mm,間隔0.7m/最大幅0.1mm]
⑧漏水・遊離石灰-d

写真番号	37	撮影年月日	2019.09.20
部材名	床版	要素番号	0303
損傷の種類	床版ひびわれ	損傷程度	d

前回損傷程度

c

メモ

写真番号36の近景写真

写真番号	前回-5	撮影年月日	2015.08.21
部材名	床版	要素番号	0302
損傷の種類	床版ひびわれ	損傷程度	c

前回点検年度:2015年度

前回損傷程度

メモ

床版に幅0.15mm,長さ0.3mの1方向ひびわれがある

データ記録様式(その１０)　損傷写真	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-
備　　考							

損傷写真

写真番号	38	撮影年月日	2019.09.15
部材名	床版	要素番号	0304
損傷の種類	床版ひびわれ	損傷程度	d

前回損傷程度

メモ

床版に1方向の遊離石灰を伴うひびわれが見られる。
[幅0.1mm/0.4m,最大幅0.2mm]
⑧漏水・遊離石灰-d

写真番号	39	撮影年月日	2019.09.15
部材名	床版	要素番号	0405
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c

前回損傷程度

メモ

床版に剥離が見られる。
[50×1000mm]
fall

写真番号	40	撮影年月日	2019.09.15
部材名	床版	要素番号	0405
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c

前回損傷程度

メモ

写真番号39の叩き落し前

写真番号	41	撮影年月日	2019.09.15
部材名	床版	要素番号	0405
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c

前回損傷程度

メモ

写真番号39の防錆処理後

写真番号	42	撮影年月日	2019.09.15
部材名	床版	要素番号	0405
損傷の種類	床版ひびわれ	損傷程度	d

前回損傷程度

メモ

床版に1方向の遊離石灰を伴うひびわれや漏水跡が見られる。
[幅0.1mm/間隔0.4m,最大幅0.1mm]
⑧漏水・遊離石灰-d
⑳漏水・滞水-e(漏水跡)

写真番号	43	撮影年月日	2019.09.20
部材名	床版	要素番号	0602
損傷の種類	床版ひびわれ	損傷程度	c

前回損傷程度

メモ

床版に1方向のひびわれが見られる。
[幅0.1mm/間隔0.7m,最大幅0.1mm]

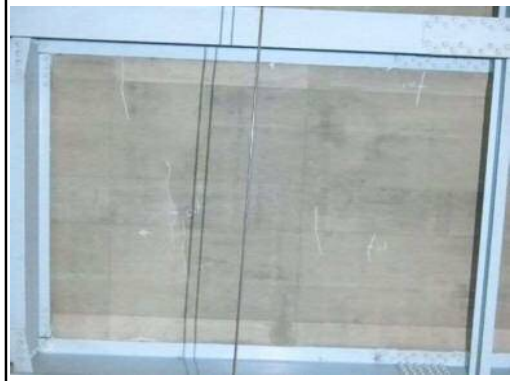
データ記録様式(その１０)　損傷写真	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

ﾌﾘｶﾞﾅ 橋　梁　名	ｸﾗﾅﾐｺｾﾝｷｮｳ 蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-
備　考							

損傷写真

写真番号	44	撮影年月日	2019.09.15
部材名	床版	要素番号	0504
損傷の種類	床版ひびわれ	損傷程度	c



前回損傷程度

メモ

床版に1方向のひびわれが見られる。
[幅0.1mm/間隔1.0m以上,最大幅0.1mm]

写真番号	45	撮影年月日	2019.09.20
部材名	床版	要素番号	0702
損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d

前回損傷程度

メモ

床版にひびわれから遊離石灰の析出が見られる。
⑪床版ひびわれ-dﾊﾟﾀｰﾝ1

写真番号	46	撮影年月日	2019.09.15
部材名	床版	要素番号	0801
損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d

前回損傷程度

メモ

床版に遊離石灰の析出、繊維ｼｰﾄのふくれが見られる。
⑩補修・補強材の損傷-c(分類2:繊維)
[ふくれ：150×600mm,遊離石灰]

写真番号	47	撮影年月日	2019.09.20
部材名	柱部・壁部	要素番号	0102
損傷の種類	補修・補強材の損傷	損傷程度	c

前回損傷程度

c

メモ

P5橋脚ｺﾝｸﾘｰﾄ巻立て部にひびわれが見られる。
⑥ひびわれ-d(大小)ﾊﾟﾀｰﾝ10
[幅0.3mm/間隔0.6m]

写真番号	前回-9	撮影年月日	2015.08.28
部材名	柱部・壁部	要素番号	0102
損傷の種類	補修・補強材の損傷	損傷程度	c

前回点検年度:2015年度

前回損傷程度

メモ

P5橋脚左柱、側面及び終点方面に水平方向のひびわれ
⑩補修・補強材の損傷以外に⑥ひびわれd(大小)にも該当

写真番号	48	撮影年月日	2019.09.20
部材名	柱部・壁部	要素番号	0102
損傷の種類	補修・補強材の損傷	損傷程度	c

前回損傷程度

c

メモ

P5橋脚ｺﾝｸﾘｰﾄ巻立て部にひびわれが見られる。
⑥ひびわれ-d(大小)ﾊﾟﾀｰﾝ10
[幅0.3mm/間隔0.7m]

データ記録様式(その１０)　損傷写真	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-
備　　考							

損傷写真

写真番号	49	撮影年月日	2019.09.15
部材名	柱部・壁部	要素番号	0102
損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d

前回損傷程度

メモ

P5橋脚ｺﾝｸﾘｰﾄ巻立て部にひびわれから遊離石灰の析出や漏水跡が見られる。
⑥ひびわれ-b(小小)[幅0.1mm]
⑩補修・補強材の損傷-c(分類3:ｺﾝｸﾘｰﾄ)
⑳漏水・滞水-e(漏水跡)

写真番号	50	撮影年月日	2019.09.15
部材名	梁部	要素番号	0102
損傷の種類	漏水・滞水	損傷程度	e

前回損傷程度

メモ

P5橋脚梁部やｺﾝｸﾘｰﾄ縁端拡幅部に漏水跡が見られる。
落橋防止ｼｽﾃﾑ
Sf0802
⑰その他-e(分類6:漏水跡)

過年度点検では記録がない損傷である。

写真番号	51	撮影年月日	2019.09.15
部材名	梁部	要素番号	0102
損傷の種類	漏水・滞水	損傷程度	e

前回損傷程度

メモ

P5橋脚梁部や沓座ﾓﾙﾀﾙに滞水が見られる。
沓座ﾓﾙﾀﾙBm0102
⑳漏水・滞水-e(滞水)
写真番号67の直下

写真番号	52	撮影年月日	2019.09.15
部材名	落橋防止システム	要素番号	0802
損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d

前回損傷程度

メモ

P5橋脚ｺﾝｸﾘｰﾄ縁端拡幅部にひびわれが見られる。
[幅0.5mm,間隔1.0m以上]

写真番号	53	撮影年月日	2019.09.15
部材名	落橋防止システム	要素番号	0802
損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d

前回損傷程度

メモ

写真番号52の近景写真
ひびわれ幅0.5mm

写真番号	54	撮影年月日	2019.09.15
部材名	落橋防止システム	要素番号	0802
損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d

前回損傷程度

メモ

P5橋脚ｺﾝｸﾘｰﾄ縁端拡幅部に遊離石灰を伴うひびわれが見られる。
写真の損傷ランクはc
[幅0.2mm,間隔0.8m]
⑧漏水・遊離石灰-d

データ記録様式(その１０)　損傷写真	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

ﾌﾘｶﾞﾅ 橋　梁　名	ｸﾗﾅﾐｺｾﾝｷｮｳ 蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-
備　考							

損傷写真

写真番号	55	撮影年月日	2019.09.20
部材名	落橋防止システム	要素番号	0802
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d

前回損傷程度

メモ

P5橋脚ｺﾝｸﾘｰﾄ縁端拡幅部に鉄筋露出が見られる。
[50×150mm,他2箇所]
notfall

写真番号	56	撮影年月日	2019.09.15
部材名	落橋防止システム	要素番号	0802
損傷の種類	その他	損傷程度	e

前回損傷程度

メモ

P5橋脚ｺﾝｸﾘｰﾄ縁端拡幅部に目地材の突出が見られる。

写真番号	57	撮影年月日	2019.09.15
部材名	落橋防止システム	要素番号	0802
損傷の種類	その他	損傷程度	e

前回損傷程度

メモ

写真番号56の近景写真

写真番号	58	撮影年月日	2019.09.15
部材名	高欄	要素番号	0501
損傷の種類	ゆるみ・脱落	損傷程度	e

前回損傷程度

メモ

落下物防止柵のﾘﾍﾞｯﾄﾎﾞﾙﾄに破損が見られる。
[ﾌﾗｯﾄﾊﾞｰのﾘﾍﾞｯﾄ5/8本破損]

写真番号	59	撮影年月日	2019.09.15
部材名	高欄	要素番号	0501
損傷の種類	ゆるみ・脱落	損傷程度	e

前回損傷程度

メモ

写真番号58の近景写真

写真番号	60	撮影年月日	2019.09.20
部材名	高欄	要素番号	0501
損傷の種類	ゆるみ・脱落	損傷程度	e

前回損傷程度

メモ

写真番号58の養生後

ﾅｲﾛﾝ製結束ﾊﾞﾝﾄﾞ(ｲﾝｼｭﾛｯｸ)で固定

データ記録様式(その１０)　損傷写真	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-
備　　考							

損傷写真

写真番号	61	撮影年月日	2019.09.20
部材名	地覆	要素番号	0101
損傷の種類	補修・補強材の損傷	損傷程度	c

前回損傷程度

メモ

地覆に繊維ｼｰﾄの剥離によるふくれが見られる。[ふくれ:150×150mm]

写真番号	前回-7	撮影年月日	2018.08.21
部材名	地覆	要素番号	0101
損傷の種類	うき	損傷程度	e

前回点検年度:2015年度

前回損傷程度

メモ

剥落防止工施工済み箇所の一部にうき150mm×150mm

写真番号	62	撮影年月日	2019.09.15
部材名	地覆	要素番号	0101
損傷の種類	補修・補強材の損傷	損傷程度	c

前回損傷程度

メモ

地覆に繊維ｼｰﾄの剥離によるふくれや遊離石灰の析出が見られる。[ふくれ：400×200mm,他1箇所・遊離石灰]
⑧漏水・遊離石灰-d

写真番号	63	撮影年月日	2019.09.15
部材名	地覆	要素番号	0101
損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d

前回損傷程度

メモ

写真番号62の近景写真

写真番号	64	撮影年月日	2019.09.15
部材名	地覆	要素番号	0501
損傷の種類	補修・補強材の損傷	損傷程度	c

前回損傷程度

メモ

地覆に繊維ｼｰﾄの剥離によるふくれが見られる。[ふくれ：350×200mm]

写真番号	65	撮影年月日	2019.09.20
部材名	地覆	要素番号	0501
損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d

前回損傷程度

メモ

地覆に遊離石灰の析出が見られる。
⑩補修・補強材の損傷-c(分類2:繊維)(遊離石灰の析出)

データ記録様式(その１０)　損傷写真	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

ﾌﾘｶﾞﾅ 橋　梁　名	ｸﾗﾅﾐｺｾﾝｷｮｳ 蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-
備　考							

損傷写真

写真番号	66	撮影年月日	2019.09.20
部材名	地覆	要素番号	0101
損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d

前回損傷程度

メモ

写真番号65の別角度写真

写真番号	67	撮影年月日	2019.09.15
部材名	伸縮装置	要素番号	0102
損傷の種類	腐食	損傷程度	b

前回損傷程度

メモ

P5橋脚上の伸縮装置に腐食や漏水が見られる。
⑤防食機能の劣化-e(分類1)
⑳漏水・滞水-e(漏水)
床版Ds0101
⑰その他-e(分類6:遊離石灰)

写真番号51の直上

写真番号	68	撮影年月日	2019.09.15
部材名	伸縮装置	要素番号	0102
損傷の種類	漏水・滞水	損傷程度	e

前回損傷程度

メモ

写真番号67の近景写真

写真番号	1001	撮影年月日	2019.09.20
部材名	主桁	要素番号	0101
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

損傷なし
主桁Mg0102,0201,0202
横桁Cr0101,0102,0201
対傾構Cf0103,0203

写真番号	1002	撮影年月日	2019.09.20
部材名	主桁	要素番号	0302
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

損傷なし
主桁Mg0402,0502
横桁Cr0301,0401
対傾構Cf0303,0403

写真番号	1003	撮影年月日	2019.09.20
部材名	主桁	要素番号	0601
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

損傷なし
主桁Mg0602,0701,0702
横桁Cr0501,0601,0602
対傾構Cf0503,0603

データ記録様式(その１０)　損傷写真	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-
備　　考							

損傷写真

写真番号	1004	撮影年月日	2019.09.20
部材名	主桁	要素番号	0103
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

損傷なし
主桁Mg0203
横桁Cr0104,0204
添架物Ut0101

写真番号	1005	撮影年月日	2019.09.20
部材名	主桁	要素番号	0303
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

損傷なし
主桁Mg0403
横桁Cr0304,0404

写真番号	1006	撮影年月日	2019.09.20
部材名	主桁	要素番号	0503
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

損傷なし
主桁Mg0603,0703
横桁Cr0504,0604
添架物Ut0401

写真番号	1007	撮影年月日	2019.09.20
部材名	主桁	要素番号	0105
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

損傷なし
主桁Mg0205
横桁Cr0106,0206
対傾構Cf0105,
0205
上横構Lu0105,
0205

写真番号	1008	撮影年月日	2019.09.20
部材名	主桁	要素番号	0305
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

損傷なし
主桁Mg0405
横桁Cr0306,0406
対傾構Cf0305,
0405

写真番号	1009	撮影年月日	2019.09.20
部材名	主桁	要素番号	0505
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

損傷なし
主桁Mg0605
横桁Cr0506,0606
対傾構Cf0505,
0605

データ記録様式(その１０)　損傷写真	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	－
備　　考							

損傷写真

写真番号	1010	撮影年月日	2019.09.20
部材名	支承本体	要素番号	0101
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

損傷なし
沓座ﾓﾙﾀﾙBm0101

写真番号	1011	撮影年月日	2019.09.20
部材名	支承本体	要素番号	0201
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

損傷なし
沓座ﾓﾙﾀﾙBm0201

写真番号	1012	撮影年月日	2019.09.20
部材名	支承本体	要素番号	0301
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

損傷なし
沓座ﾓﾙﾀﾙBm0301

写真番号	1013	撮影年月日	2019.09.20
部材名	支承本体	要素番号	0401
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

損傷なし
沓座ﾓﾙﾀﾙBm0401

写真番号	1014	撮影年月日	2019.09.20
部材名	支承本体	要素番号	0501
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

損傷なし
沓座ﾓﾙﾀﾙBm0501

写真番号	1015	撮影年月日	2019.09.20
部材名	支承本体	要素番号	0601
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

損傷なし
沓座ﾓﾙﾀﾙBm0601

データ記録様式(その１０)　損傷写真	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-
備　　考							

損傷写真

写真番号	1016	撮影年月日	2019.09.20
部材名	支承本体	要素番号	0701
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

損傷なし
沓座ﾓﾙﾀﾙBm0701

写真番号	1017	撮影年月日	2019.09.15
部材名	支承本体	要素番号	0102
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

写真番号	1018	撮影年月日	2019.09.15
部材名	支承本体	要素番号	0202
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

損傷なし
沓座ﾓﾙﾀﾙBm00202

写真番号	1019	撮影年月日	2019.09.15
部材名	支承本体	要素番号	0302
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

損傷なし
沓座ﾓﾙﾀﾙBm0302

写真番号	1020	撮影年月日	2019.09.15
部材名	支承本体	要素番号	0402
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

損傷なし
沓座ﾓﾙﾀﾙBm0402

写真番号	1021	撮影年月日	2019.09.15
部材名	支承本体	要素番号	0502
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

損傷なし
沓座ﾓﾙﾀﾙBm0502

データ記録様式(その１０)　損傷写真	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-
備　　考							

損傷写真

写真番号	1022	撮影年月日	2019.09.15
部材名	支承本体	要素番号	0702
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

損傷なし
沓座ﾓﾙﾀﾙBm0702

写真番号	1023	撮影年月日	2019.09.20
部材名	落橋防止システム	要素番号	0301
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

損傷なし
落橋防止ｼｽﾃﾑ
Sf0101,0201
添架物
Ut0101

写真番号	1024	撮影年月日	2019.09.20
部材名	落橋防止システム	要素番号	0401
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

損傷なし
落橋防止ｼｽﾃﾑ
Sf0501

写真番号	1025	撮影年月日	2019.09.15
部材名	落橋防止システム	要素番号	0402
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

損傷なし
落橋防止ｼｽﾃﾑ
Sf0102,0202,0302

写真番号	1026	撮影年月日	2019.09.15
部材名	落橋防止システム	要素番号	0502
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

損傷なし
落橋防止ｼｽﾃﾑ
Sf0602

写真番号	1027	撮影年月日	2019.09.20
部材名	高欄	要素番号	0101
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

データ記録様式(その１０)　損傷写真	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-
備　　考							

損傷写真

写真番号	1028	撮影年月日	2019.09.20
部材名	排水管	要素番号	0101
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

写真番号	1029	撮影年月日	2019.09.20
部材名	排水管	要素番号	0201
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

写真番号	1030	撮影年月日	2019.09.15
部材名	添架物	要素番号	0302
損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ

写真番号		撮影年月日	
部材名		要素番号	
損傷の種類		損傷程度	

前回損傷程度

メモ

写真番号		撮影年月日	
部材名		要素番号	
損傷の種類		損傷程度	

前回損傷程度

メモ

写真番号		撮影年月日	
部材名		要素番号	
損傷の種類		損傷程度	

前回損傷程度

メモ

データ記録様式(その１１）損傷程度の評価記入表 (主要部材)	径間番号	4

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

橋梁名 (フリガナ)	蔵波跨線橋 (クラナミコセンキョウ)	路線名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-

工種	材料	部材種別			損傷程度			損傷パターン	損傷の種類	分類
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値	単位			
P	C	柱部・壁部	Pw	0102	d	幅0.3/間隔0.6	mm/m	(10)	ひびわれ	
P	C	柱部・壁部	Pw	0102	d				漏水・遊離石灰	
P	C	柱部・壁部	Pw	0102	c				補修・補強材の損傷	(3)
P	C	柱部・壁部	Pw	0102	NA				定着部の異常	
P	C	梁部	Pb	0102	c	幅0.2/間隔1.0以上	mm/m	その他のパターン	ひびわれ	
P	C	梁部	Pb	0102	d	400×200,他1	mm,箇所		剥離・鉄筋露出	
P	C	梁部	Pb	0102	d				漏水・遊離石灰	
P	C	梁部	Pb	0102	NA				補修・補強材の損傷	
P	C	梁部	Pb	0102	NA				定着部の異常	
P	C	梁部	Pb	0102	e				漏水・滞水	
P	C	隅角部・接合部	Pc	0102	a				NON	
F	C	フーチング	Ff	0102	不可視					

データ記録様式(その１１）損傷程度の評価記入表 (主要部材)	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

橋梁名 (フリガナ)	蔵波跨線橋 (クラナミコセンキョウ)	路線名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-

工種	材料	部材種別			損傷程度			損傷パターン	損傷の種類	分類
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値	単位			
S	S	主桁	Mg	0101	a				NON	
S	S	主桁	Mg	0102	a				NON	
S	S	主桁	Mg	0103	a				NON	
S	S	主桁	Mg	0104	e				防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0104	NA				補修・補強材の損傷	
S	S	主桁	Mg	0104	NA				遊間の異常	
S	S	主桁	Mg	0104	NA				定着部の異常	
S	S	主桁	Mg	0105	a				NON	
S	S	主桁	Mg	0201	a				NON	
S	S	主桁	Mg	0202	a				NON	
S	S	主桁	Mg	0203	a				NON	
S	S	主桁	Mg	0204	e				防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0204	NA				補修・補強材の損傷	
S	S	主桁	Mg	0204	NA				遊間の異常	
S	S	主桁	Mg	0204	NA				定着部の異常	
S	S	主桁	Mg	0205	a				NON	
S	S	主桁	Mg	0302	a				NON	
S	S	主桁	Mg	0303	a				NON	
S	S	主桁	Mg	0304	e				防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0304	NA				補修・補強材の損傷	

データ記録様式(その１１) 損傷程度の評価記入表 (主要部材)	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

橋梁名(フリガナ)	蔵波跨線橋(クラナミコセンキョウ)	路線名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-

工種	材料	部材種別			損傷程度			損傷パターン	損傷の種類	分類
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値	単位			
S	S	主桁	Mg	0304	NA				遊間の異常	
S	S	主桁	Mg	0304	NA				定着部の異常	
S	S	主桁	Mg	0305	a				NON	
S	S	主桁	Mg	0402	a				NON	
S	S	主桁	Mg	0403	a				NON	
S	S	主桁	Mg	0404	e				防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0404	NA				補修・補強材の損傷	
S	S	主桁	Mg	0404	NA				遊間の異常	
S	S	主桁	Mg	0404	NA				定着部の異常	
S	S	主桁	Mg	0405	a				NON	
S	S	主桁	Mg	0502	a				NON	
S	S	主桁	Mg	0503	a				NON	
S	S	主桁	Mg	0504	e				防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0504	NA				補修・補強材の損傷	
S	S	主桁	Mg	0504	NA				遊間の異常	
S	S	主桁	Mg	0504	NA				定着部の異常	
S	S	主桁	Mg	0505	a				NON	
S	S	主桁	Mg	0601	a				NON	
S	S	主桁	Mg	0602	e				防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0602	NA				補修・補強材の損傷	

データ記録様式(その１１）損傷程度の評価記入表 (主要部材)	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

橋梁名 (ﾌﾘｶﾞﾅ)	蔵波跨線橋 (ｸﾗﾅﾐｺｾﾝｷｮｳ)	路線名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-

工種	材料	部材種別			損傷程度			損傷パターン	損傷の種類	分類
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値	単位			
S	S	主桁	Mg	0602	NA				遊間の異常	
S	S	主桁	Mg	0602	NA				定着部の異常	
S	S	主桁	Mg	0603	a				NON	
S	S	主桁	Mg	0604	e				防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0604	NA				補修・補強材の損傷	
S	S	主桁	Mg	0604	NA				遊間の異常	
S	S	主桁	Mg	0604	NA				定着部の異常	
S	S	主桁	Mg	0605	a				NON	
S	S	主桁	Mg	0701	a				NON	
S	S	主桁	Mg	0702	e				防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0702	NA				補修・補強材の損傷	
S	S	主桁	Mg	0702	NA				遊間の異常	
S	S	主桁	Mg	0702	NA				定着部の異常	
S	S	主桁	Mg	0703	a				NON	
S	S	主桁	Mg	0704	e				防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0704	NA				補修・補強材の損傷	
S	S	主桁	Mg	0704	NA				遊間の異常	
S	S	主桁	Mg	0704	NA				定着部の異常	
S	S	主桁	Mg	0705	e				防食機能の劣化	(1)
S	S	主桁	Mg	0705	NA				補修・補強材の損傷	

データ記録様式(その１１）損傷程度の評価記入表 (主要部材)	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

橋梁名(フリガナ)	蔵波跨線橋(クラナミコセンキョウ)	路線名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-

工種	材料	部材種別			損傷程度			損傷パターン	損傷の種類	分類
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値	単位			
S	S	主桁	Mg	0705	NA				定着部の異常	
S	S	横桁	Cr	0101	a				NON	
S	S	横桁	Cr	0102	e				防食機能の劣化	(1)
S	S	横桁	Cr	0102	NA				補修・補強材の損傷	
S	S	横桁	Cr	0102	NA				遊間の異常	
S	S	横桁	Cr	0102	NA				定着部の異常	
S	S	横桁	Cr	0104	a				NON	
S	S	横桁	Cr	0106	a				NON	
S	S	横桁	Cr	0201	a				NON	
S	S	横桁	Cr	0204	a				NON	
S	S	横桁	Cr	0206	a				NON	
S	S	横桁	Cr	0301	a				NON	
S	S	横桁	Cr	0304	a				NON	
S	S	横桁	Cr	0306	a				NON	
S	S	横桁	Cr	0401	a				NON	
S	S	横桁	Cr	0404	a				NON	
S	S	横桁	Cr	0406	a				NON	
S	S	横桁	Cr	0501	a				NON	
S	S	横桁	Cr	0504	a				NON	
S	S	横桁	Cr	0506	a				NON	

データ記録様式(その１１) 損傷程度の評価記入表 (主要部材)	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

橋梁名 (フリガナ)	蔵波跨線橋 (クラナミコセンキョウ)	路線名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-

工種	材料	部材種別			損傷程度			損傷パターン	損傷の種類	分類
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値	単位			
S	S	横桁	Cr	0601	a				NON	
S	S	横桁	Cr	0602	e				防食機能の劣化	(1)
S	S	横桁	Cr	0602	NA				補修・補強材の損傷	
S	S	横桁	Cr	0602	NA				遊間の異常	
S	S	横桁	Cr	0602	NA				定着部の異常	
S	S	横桁	Cr	0604	a				NON	
S	S	横桁	Cr	0606	a				NON	
S	C	床版	Ds	0101	e				その他	遊離石灰
S	C	床版	Ds	0101	NA				定着部の異常	
S	C	床版	Ds	0201	a				NON	
S	C	床版	Ds	0202	c			(1)	床版ひびわれ	
S	C	床版	Ds	0202	NA				遊間の異常	
S	C	床版	Ds	0202	NA				定着部の異常	
S	C	床版	Ds	0203	c			(1)	床版ひびわれ	
S	C	床版	Ds	0203	NA				遊間の異常	
S	C	床版	Ds	0203	NA				定着部の異常	
S	C	床版	Ds	0204	c			(1)	床版ひびわれ	
S	C	床版	Ds	0204	NA				遊間の異常	
S	C	床版	Ds	0204	NA				定着部の異常	
S	C	床版	Ds	0205	c			(1)	床版ひびわれ	

データ記録様式(その１１）損傷程度の評価記入表 (主要部材)	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

橋梁名 (フリガナ)	蔵波跨線橋 (クラナミコセンキョウ)	路線名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-

工種	材料	部材種別			損傷程度			損傷パターン	損傷の種類	分類
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値	単位			
S	C	床版	Ds	0205	NA				定着部の異常	
S	C	床版	Ds	0302	c			(1)	床版ひびわれ	
S	C	床版	Ds	0302	NA				定着部の異常	
S	C	床版	Ds	0303	d				漏水・遊離石灰	
S	C	床版	Ds	0303	d	幅0.1/間隔0.7,最大幅0.1	mm/m,mm	(1)	床版ひびわれ	
S	C	床版	DS	0303	NA				遊間の異常	
S	C	床版	Ds	0303	NA				定着部の異常	
S	C	床版	Ds	0304	d				漏水・遊離石灰	
S	C	床版	Ds	0304	d	幅0.1/間隔0.4,最大幅0.2	mm/m,mm	(1)	床版ひびわれ	
S	C	床版	Ds	0304	NA				遊間の異常	
S	C	床版	Ds	0304	NA				定着部の異常	
S	C	床版	Ds	0305	c			(1)	床版ひびわれ	
S	C	床版	Ds	0305	NA				定着部の異常	
S	C	床版	Ds	0402	c			(1)	床版ひびわれ	
S	C	床版	Ds	0402	NA				定着部の異常	
S	C	床版	Ds	0403	c			(1)	床版ひびわれ	
S	C	床版	Ds	0403	NA				遊間の異常	
S	C	床版	Ds	0403	NA				定着部の異常	
S	C	床版	Ds	0404	c			(1)	床版ひびわれ	
S	C	床版	Ds	0404	NA				遊間の異常	

データ記録様式(その１１）損傷程度の評価記入表 (主要部材)	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

橋梁名 (フリガナ)	蔵波跨線橋 (クラナミコセンキョウ)	路線名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	－

工種	材料	部材種別			損傷程度			損傷パターン	損傷の種類	分類
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値	単位			
S	C	床版	Ds	0404	NA				定着部の異常	
S	C	床版	Ds	0405	c	50×1000	mm		剥離・鉄筋露出	
S	C	床版	Ds	0405	d				漏水・遊離石灰	
S	C	床版	Ds	0405	d	幅0.1/間隔0.4,最大幅0.1	mm/m,mm	(1)	床版ひびわれ	
S	C	床版	Ds	0405	NA				定着部の異常	
S	C	床版	Ds	0405	e				漏水・滞水	
S	C	床版	Ds	0502	c			(1)	床版ひびわれ	
S	C	床版	Ds	0502	NA				定着部の異常	
S	C	床版	Ds	0503	c			(1)	床版ひびわれ	
S	C	床版	Ds	0503	NA				遊間の異常	
S	C	床版	Ds	0503	NA				定着部の異常	
S	C	床版	Ds	0504	c	幅0.1/間隔1.0以上,最大幅0.1	mm/m,mm	(1)	床版ひびわれ	
S	C	床版	Ds	0504	NA				遊間の異常	
S	C	床版	Ds	0504	NA				定着部の異常	
S	C	床版	Ds	0505	c			(1)	床版ひびわれ	
S	C	床版	Ds	0505	NA				定着部の異常	
S	C	床版	Ds	0602	c	幅0.1/間隔0.7,最大幅0.1	mm/m,mm	(1)	床版ひびわれ	
S	C	床版	Ds	0602	NA				定着部の異常	
S	C	床版	Ds	0603	c			(1)	床版ひびわれ	
S	C	床版	Ds	0603	NA				遊間の異常	

データ記録様式(その１１) 損傷程度の評価記入表 (主要部材)	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

橋梁名 (フリガナ)	蔵波跨線橋 (クラナミコセンキョウ)	路線名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-

工種	材料	部材種別			損傷程度			損傷パターン	損傷の種類	分類
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値	単位			
S	C	床版	Ds	0603	NA				定着部の異常	
S	C	床版	Ds	0604	c			(1)	床版ひびわれ	
S	C	床版	Ds	0604	NA				遊間の異常	
S	C	床版	Ds	0604	NA				定着部の異常	
S	C	床版	Ds	0605	c			(1)	床版ひびわれ	
S	C	床版	Ds	0605	NA				定着部の異常	
S	C	床版	Ds	0701	a				NON	
S	C	床版	Ds	0702	d				漏水・遊離石灰	
S	C	床版	Ds	0702	d			(1)	床版ひびわれ	
S	C	床版	Ds	0702	NA				遊間の異常	
S	C	床版	Ds	0702	NA				定着部の異常	
S	C	床版	Ds	0703	d				漏水・遊離石灰	
S	C	床版	Ds	0703	d			(1)	床版ひびわれ	
S	C	床版	Ds	0703	NA				遊間の異常	
S	C	床版	Ds	0703	NA				定着部の異常	
S	C	床版	Ds	0704	c			(1)	床版ひびわれ	
S	C	床版	Ds	0704	NA				遊間の異常	
S	C	床版	Ds	0704	NA				定着部の異常	
S	C	床版	Ds	0705	c			(1)	床版ひびわれ	
S	C	床版	Ds	0705	NA				定着部の異常	

データ記録様式(その１１）損傷程度の評価記入表 (主要部材)	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

橋梁名(フリガナ)	蔵波跨線橋(クラナミコセンキョウ)	路線名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-

工種	材料	部材種別			損傷程度			損傷パターン	損傷の種類	分類
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値	単位			
S	C	床版	Ds	0801	d				漏水・遊離石灰	
S	C	床版	Ds	0801	c	ふくれ:150×600	mm		補修・補強材の損傷	(2)
S	C	床版	Ds	0801	NA				定着部の異常	
P	C	柱部・壁部	Pw	0102	d	幅0.3/間隔0.7	mm/m	(10)	ひびわれ	
P	C	柱部・壁部	Pw	0102	d				漏水・遊離石灰	
P	C	柱部・壁部	Pw	0102	c				補修・補強材の損傷	(3)
P	C	柱部・壁部	Pw	0102	NA				定着部の異常	
P	C	柱部・壁部	Pw	0102	e				漏水・滞水	
P	C	梁部	Pb	0102	NA				補修・補強材の損傷	
P	C	梁部	Pb	0102	NA				定着部の異常	
P	C	梁部	Pb	0102	e				漏水・滞水	
P	C	隅角部・接合部	Pc	0102	a				NON	
F	C	フーチング	Ff	0102	不可視					

データ記録様式(その１２)　損傷程度の評価記入表 (点検調書(その１１)に記載以外の部材)	径間番号	4

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

橋　梁　名 (フリガナ)	蔵波跨線橋 (クラナミコセンキョウ)	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	－

工　種	材　料	部材種別			損傷程度			損傷パターン	損傷の種類	分　　類
		名　　称	記　号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値	単　位			
B	C	落橋防止システム	Sf	1502	d	幅0.7/間隔1.0	mm/m		ひびわれ	
B	C	落橋防止システム	Sf	1502	d	150×200	mm		剥離・鉄筋露出	
B	C	落橋防止システム	Sf	1502	d				漏水・遊離石灰	
B	C	落橋防止システム	Sf	1502	e	150×200	mm		うき	
B	C	落橋防止システム	Sf	1502	NA				遊間の異常	
B	C	落橋防止システム	Sf	1502	e				その他	漏水跡

データ記録様式(その１２)　損傷程度の評価記入表 (点検調書(その１１)に記載以外の部材)	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

橋　梁　名 (フリガナ)	蔵波跨線橋 (クラナミコセンキョウ)	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	－

工　種	材　料	部材種別			損傷程度			損傷パターン	損傷の種類	分　　類
		名　　称	記　号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値	単　位			
S	S	対傾構	Cf	0103	a				NON	
S	S	対傾構	Cf	0105	a				NON	
S	S	対傾構	Cf	0203	a				NON	
S	S	対傾構	Cf	0205	a				NON	
S	S	対傾構	Cf	0303	a				NON	
S	S	対傾構	Cf	0305	a				NON	
S	S	対傾構	Cf	0403	a				NON	
S	S	対傾構	Cf	0405	a				NON	
S	S	対傾構	Cf	0503	a				NON	
S	S	対傾構	Cf	0505	a				NON	
S	S	対傾構	Cf	0603	a				NON	
S	S	対傾構	Cf	0605	a				NON	
S	S	上横構	Lu	0105	a				NON	
S	S	上横構	Lu	0205	a				NON	
B	S	支承本体	Bh	0101	a				NON	
B	S	支承本体	Bh	0102	a				NON	
B	S	支承本体	Bh	0201	a				NON	
B	S	支承本体	Bh	0202	a				NON	
B	S	支承本体	Bh	0301	a				NON	
B	S	支承本体	Bh	0302	a				NON	

データ記録様式(その１２)　損傷程度の評価記入表 (点検調書(その１１)に記載以外の部材)	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

橋　梁　名 (フリガナ)	蔵波跨線橋 (クラナミコセンキョウ)	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	－

工　種	材　料	部材種別			損傷程度			損傷パターン	損傷の種類	分　　類
		名　　称	記　号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値	単　位			
B	S	支承本体	Bh	0401	a				NON	
B	S	支承本体	Bh	0402	a				NON	
B	S	支承本体	Bh	0501	a				NON	
B	S	支承本体	Bh	0502	a				NON	
B	S	支承本体	Bh	0601	a				NON	
B	S	支承本体	Bh	0602	a				NON	
B	S	支承本体	Bh	0701	a				NON	
B	S	支承本体	Bh	0702	a				NON	
B	C	沓座モルタル	Bm	0101	a				NON	
B	C	沓座モルタル	Bm	0102	e				漏水・滞水	
B	C	沓座モルタル	Bm	0201	a				NON	
B	C	沓座モルタル	Bm	0202	a				NON	
B	C	沓座モルタル	Bm	0301	a				NON	
B	C	沓座モルタル	Bm	0302	a				NON	
B	C	沓座モルタル	Bm	0401	a				NON	
B	C	沓座モルタル	Bm	0402	a				NON	
B	C	沓座モルタル	Bm	0501	a				NON	
B	C	沓座モルタル	Bm	0502	a				NON	
B	C	沓座モルタル	Bm	0601	a				NON	
B	C	沓座モルタル	Bm	0602	a				NON	

データ記録様式(その１２)　損傷程度の評価記入表 (点検調書(その１１)に記載以外の部材)	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

橋　梁　名 (フリガナ)	蔵波跨線橋 (クラナミコセンキョウ)	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	－

工　種	材　料	部材種別			損傷程度			損傷パターン	損傷の種類	分　　類
		名　　称	記　号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値	単　位			
B	C	沓座モルタル	Bm	0701	a				NON	
B	C	沓座モルタル	Bm	0702	a				NON	
B	S	落橋防止システム	Sf	0101	a				NON	
B	S	落橋防止システム	Sf	0102	a				NON	
B	S	落橋防止システム	Sf	0201	a				NON	
B	S	落橋防止システム	Sf	0202	a				NON	
B	S	落橋防止システム	Sf	0301	a				NON	
B	S	落橋防止システム	Sf	0302	a				NON	
B	S	落橋防止システム	Sf	0401	a				NON	
B	S	落橋防止システム	Sf	0402	a				NON	
B	S	落橋防止システム	Sf	0501	a				NON	
B	S	落橋防止システム	Sf	0502	a				NON	
B	S	落橋防止システム	Sf	0601	e				防食機能の劣化	(1)
B	S	落橋防止システム	Sf	0601	NA				遊間の異常	
B	S	落橋防止システム	Sf	0601	NA				異常なたわみ	
B	S	落橋防止システム	Sf	0602	a				NON	
B	S	落橋防止システム	Sf	0701	e				防食機能の劣化	(1)
B	S	落橋防止システム	Sf	0701	NA				遊間の異常	
B	S	落橋防止システム	Sf	0701	NA				異常なたわみ	
B	S	落橋防止システム	Sf	0702	e				防食機能の劣化	(1)
B	S	落橋防止システム	Sf	0702	NA				遊間の異常	
B	S	落橋防止システム	Sf	0702	NA				異常なたわみ	

データ記録様式(その１２)　損傷程度の評価記入表 (点検調書(その１１)に記載以外の部材)	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

橋　梁　名（フリガナ）	蔵波跨線橋（クラナミコセンキョウ）	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	－

工種	材料	部材種別			損傷程度			損傷パターン	損傷の種類	分類
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値	単位			
B	C	落橋防止システム	Sf	0802	d	幅0.5/間隔1.0以上	mm/m		ひびわれ	
B	C	落橋防止システム	Sf	0802	d	50×150,他2	mm,箇所		剥離・鉄筋露出	
B	C	落橋防止システム	Sf	0802	d				漏水・遊離石灰	
B	C	落橋防止システム	Sf	0802	NA				遊間の異常	
B	C	落橋防止システム	Sf	0802	e				その他	漏水跡
R	S	高欄	Ra	0101	a				NON	
R	S	高欄	Ra	0501	e	ﾘﾍﾞｯﾄ5/8破損	本		ゆるみ・脱落	
R	S	高欄	Ra	0501	NA				補修・補強材の損傷	
R	C	地覆	Fg	0101	d				漏水・遊離石灰	
R	C	地覆	Fg	0101	c	ふくれ400×200,他1	mm,箇所		補修・補強材の損傷	(2)
R	C	地覆	Fg	0101	e				その他	遊離石灰
R	C	地覆	Fg	0501	d				漏水・遊離石灰	
R	C	地覆	Fg	0501	c	ふくれ350×200	mm		補修・補強材の損傷	(2)
R	S	伸縮装置	Ej	0102	b				腐食	
R	S	伸縮装置	Ej	0102	e				防食機能の劣化	(1)
R	S	伸縮装置	Ej	0102	e				漏水・滞水	
U	S	添架物	Ut	0101	a				NON	
U	S	添架物	Ut	0102	a				NON	
U	S	添架物	Ut	0201	e				その他	漏水跡
U	S	添架物	Ut	0201	NA				異常なたわみ	

データ記録様式(その１２)　損傷程度の評価記入表 (点検調書(その１１)に記載以外の部材)	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	－

工　種	材　料	部材種別			損傷程度			損傷パターン	損傷の種類	分　　類
		名　　称	記　号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値	単　位			
U	S	添架物	Ut	0202	e				その他	漏水跡
U	S	添架物	Ut	0202	NA				異常なたわみ	
U	S	添架物	Ut	0301	e				その他	漏水跡
U	S	添架物	Ut	0301	NA				異常なたわみ	
U	S	添架物	Ut	0302	a				NON	
U	S	添架物	Ut	0401	a				NON	
U	S	添架物	Ut	0402	a				NON	

データ記録様式(その１３) 損傷程度の評価結果総括	径間番号	4

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

フリガナ 橋 梁 名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋	路 線 名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-

工 種	材 料	部材種別			今回定期点検	点 検 日	2019年9月19日	前回定期点検	点 検 日	2015年8月28日
		名 称	記 号	部材番号	損傷の種類（程度）			損傷の種類（程度）		
P	C	柱部・壁部	Pw	02	ひびわれ(d),剥離・鉄筋露出(a),漏水・遊離石灰(d),補修・補強材の損傷(c),うき(a),変色・劣化(a),漏水・滞水(a),異常な音・振動(a),異常なたわみ(a),変形・欠損(a)			ひびわれ(d),補修・補強材の損傷(c)		
P	C	梁部	Pb	02	ひびわれ(c),剥離・鉄筋露出(d),漏水・遊離石灰(d),うき(a),変色・劣化(a),漏水・滞水(e),異常な音・振動(a),異常なたわみ(a),変形・欠損(a)					
P	C	隅角部・接合部	Pc	02	NON(a)					
F	C	フーチング	Ff	02	不可視					
B	C	落橋防止システム	Sf	00	ひびわれ(d),剥離・鉄筋露出(d),漏水・遊離石灰(d),うき(e),支承部の機能障害(a),その他(e),変色・劣化(a),変形・欠損(a),土砂詰まり(a)			ひびわれ(d)		

データ記録様式(その１３) 損傷程度の評価結果総括	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

フリガナ 橋 梁 名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋	路 線 名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-

工 種	材 料	部材種別			今回定期点検	点 検 日	2019年9月19日	前回定期点検	点 検 日	2015年8月28日
		名 称	記 号	部材番号	損傷の種類（程度）			損傷の種類（程度）		
S	S	主桁	Mg	01	腐食(a),亀裂(a),ゆるみ・脱落(a),破断(a),防食機能の劣化(e),遊間の異常(a),漏水・滞水(a),異常な音・振動(a),異常なたわみ(a),変形・欠損(a)			防食機能の劣化(c)		
S	S	主桁	Mg	02	腐食(a),亀裂(a),ゆるみ・脱落(a),破断(a),防食機能の劣化(e),遊間の異常(a),漏水・滞水(a),異常な音・振動(a),異常なたわみ(a),変形・欠損(a)			防食機能の劣化(c)		
S	S	主桁	Mg	03	腐食(a),亀裂(a),ゆるみ・脱落(a),破断(a),防食機能の劣化(e),遊間の異常(a),漏水・滞水(a),異常な音・振動(a),異常なたわみ(a),変形・欠損(a)			防食機能の劣化(c)		
S	S	主桁	Mg	04	腐食(a),亀裂(a),ゆるみ・脱落(a),破断(a),防食機能の劣化(e),遊間の異常(a),漏水・滞水(a),異常な音・振動(a),異常なたわみ(a),変形・欠損(a)			防食機能の劣化(c)		
S	S	主桁	Mg	05	腐食(a),亀裂(a),ゆるみ・脱落(a),破断(a),防食機能の劣化(e),遊間の異常(a),漏水・滞水(a),異常な音・振動(a),異常なたわみ(a),変形・欠損(a)			防食機能の劣化(c)		
S	S	主桁	Mg	06	腐食(a),亀裂(a),ゆるみ・脱落(a),破断(a),防食機能の劣化(e),遊間の異常(a),漏水・滞水(a),異常な音・振動(a),異常なたわみ(a),変形・欠損(a)			防食機能の劣化(c)		
S	S	主桁	Mg	07	腐食(a),亀裂(a),ゆるみ・脱落(a),破断(a),防食機能の劣化(e),遊間の異常(a),漏水・滞水(a),異常な音・振動(a),異常なたわみ(a),変形・欠損(a)			防食機能の劣化(c)		
S	S	横桁	Cr	01	NON(a)					
S	S	横桁	Cr	02	腐食(a),亀裂(a),ゆるみ・脱落(a),破断(a),防食機能の劣化(e),漏水・滞水(a),異常な音・振動(a),異常なたわみ(a),変形・欠損(a)					
S	S	横桁	Cr	04	NON(a)					
S	S	横桁	Cr	06	NON(a)					
S	C	床版	Ds	00	剥離・鉄筋露出(c),漏水・遊離石灰(d),抜け落ち(a),補修・補強材の損傷(c),床版ひびわれ(d),うき(a),遊間の異常(a),その他(e),変色・劣化(a),漏水・滞水(e),異常な音・振動(a),異常なたわみ(a),変形・欠損(a)			ひびわれ(c)		
P	C	柱部・壁部	Pw	02	ひびわれ(d),剥離・鉄筋露出(a),漏水・遊離石灰(d),補修・補強材の損傷(c),うき(a),変色・劣化(a),漏水・滞水(e),異常な音・振動(a),異常なたわみ(a),変形・欠損(a)			ひびわれ(d),補修・補強材の損傷(c)		
P	C	梁部	Pb	02	ひびわれ(a),剥離・鉄筋露出(a),漏水・遊離石灰(a),うき(a),変色・劣化(a),漏水・滞水(e),異常な音・振動(a),異常なたわみ(a),変形・欠損(a)					
P	C	隅角部・接合部	Pc	02	NON(a)					
F	C	フーチング	Ff	02	不可視					
S	S	対傾構	Cf	00	NON(a)					
S	S	上横構	Lu	00	NON(a)					
B	S	支承本体	Bh	00	NON(a)					
B	C	沓座モルタル	Bm	00	ひびわれ(a),剥離・鉄筋露出(a),うき(a),支承部の機能障害(a),漏水・滞水(e),変形・欠損(a)					

データ記録様式(その１３) 損傷程度の評価結果総括	径間番号	5

起点側	緯度	35.445400	終点側	緯度	35.443783	橋梁ID	35.4454,139.983413
	経度	139.983413		経度	139.984536		

フリガナ 橋　梁　名	クラナミコセンキョウ 蔵波跨線橋	路　線　名	市道0110号線(勝下清水頭線)	管理者	袖ケ浦市都市建設部土木管理課	橋梁コード	-

工　種	材　料	部材種別			今回定期点検	点　検　日	2019年9月19日	前回定期点検	点　検　日	2015年8月28日
		名　　称	記　号	部材番号	損傷の種類（程度）			損傷の種類（程度）		
B	S	落橋防止システム	Sf	00	腐食(a),亀裂(a),ゆるみ・脱落(a),破断(a),防食機能の劣化(e),支承部の機能障害(a),異常な音・振動(a),変形・欠損(a)					
B	C	落橋防止システム	Sf	00	ひびわれ(d),剥離・鉄筋露出(d),漏水・遊離石灰(d),うき(a),支承部の機能障害(a),その他(e),変色・劣化(a),変形・欠損(a),土砂詰まり(a)					
R	S	高欄	Ra	00	腐食(a),亀裂(a),ゆるみ・脱落(e),破断(a),防食機能の劣化(a),変形・欠損(a)					
R	C	地覆	Fg	00	ひびわれ(a),剥離・鉄筋露出(a),漏水・遊離石灰(d),補修・補強材の損傷(c),うき(a),その他(e),変色・劣化(a),変形・欠損(a)			うき(e)		
R	S	伸縮装置	Ej	00	腐食(b),亀裂(a),ゆるみ・脱落(a),破断(a),防食機能の劣化(e),遊間の異常(a),路面の凹凸(a),漏水・滞水(e),異常な音・振動(a),変形・欠損(a),土砂詰まり(a)					
U	S	添架物	Ut	00	腐食(a),亀裂(a),ゆるみ・脱落(a),破断(a),防食機能の劣化(a),その他(e),異常な音・振動(a),変形・欠損(a)					

14. 栄橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 25′ 05.56″	橋梁ID
				経度	139° 57′ 13.45″	35.418211,139.953736
栄橋 (フリガナ)サカエハシ	坂戸川間尻線	袖ケ浦市神納1301地先				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市	2019.11.12	浮戸川	有	一般道		不明

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)　漆畑　雄一朗

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版	Ⅱ	遊離石灰	写真1,2,床版01			
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	床版に遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1993年	35.00m	11.80m
橋梁形式		
PC単純プレテン床版橋		

起点側

終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

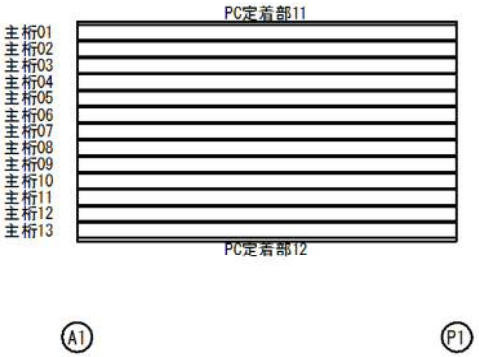
上部構造(床版01)【判定区分:　Ⅱ　】	上部構造(床版01)【判定区分:　Ⅱ　】
写真番号1 床版に遊離石灰が見られる。	写真番号2 写真番号1の近接写真
【判定区分:　　】	【判定区分:　　】

付図-1　部材番号図	径 間 番 号	1

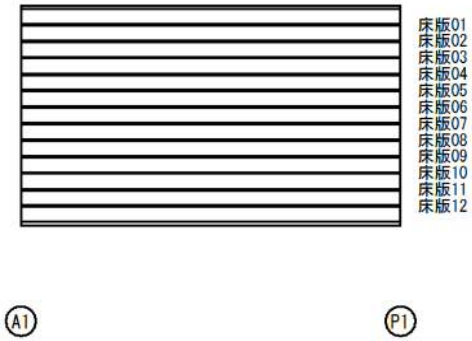
フリガナ 橋　梁　名	サカエハシ 栄橋	路　線　名	坂戸川間尻線	所在地	袖ケ浦市神納1301地先

部材番号図

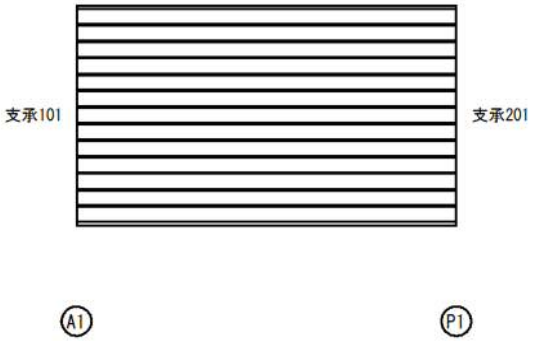
主桁・PC定着部



床版

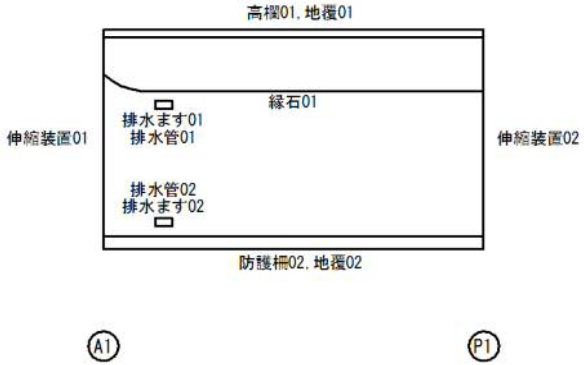


支承部

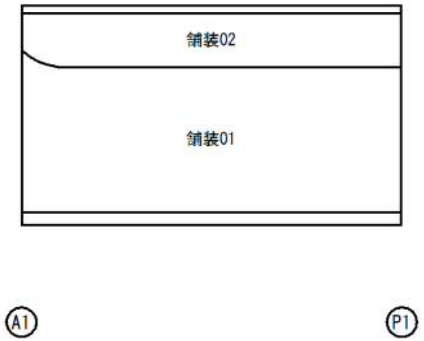


下部工

高欄・防護柵・地覆・伸縮装置・縁石・排水施設



舗装

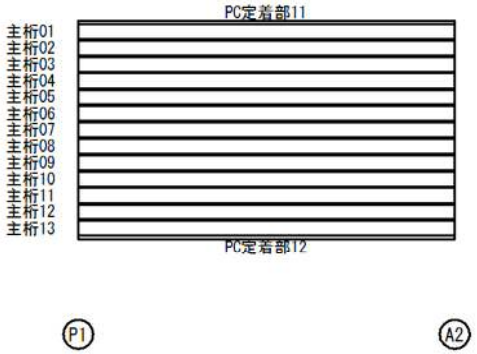


付図-1　部材番号図	径 間 番 号	2

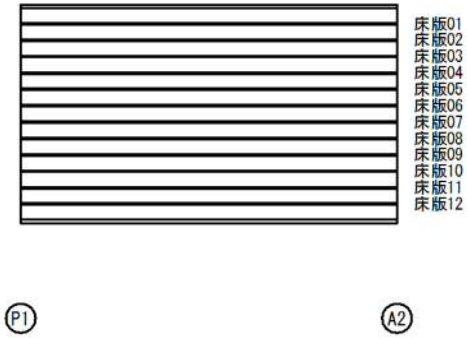
フリガナ 橋　梁　名	サカエハシ 栄橋	路　線　名	坂戸川間尻線	所在地	袖ケ浦市神納1301地先

部材番号図

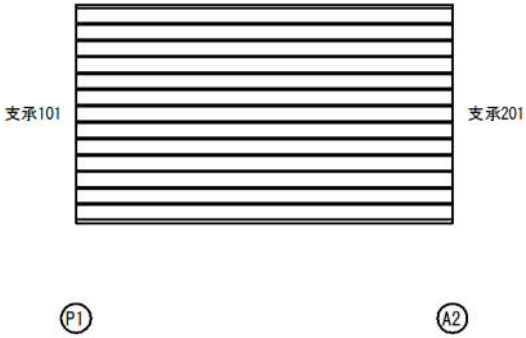
主桁・PC定着部



床版

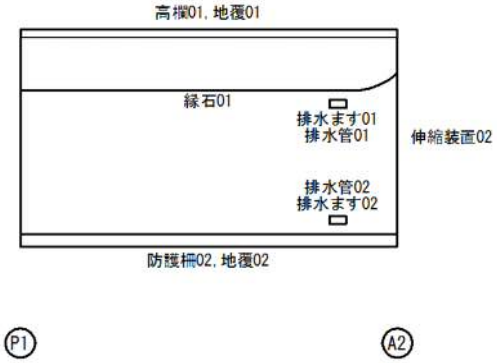


支承部

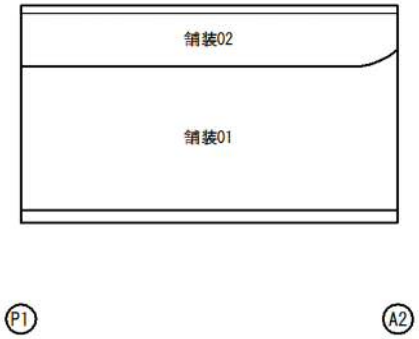


下部工

高欄・防護柵・地覆・伸縮装置・縁石・排水施設



舗装



15. 大曽根橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35°　24′　27.14″	橋梁ID
				経度	140°　00′　32.72″	35.407539,140.009089
大曽根橋 (フリガナ)オゾネハシ	大曽根島合線	袖ケ浦市大曽根115地先				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市	2019.11.6	浮戸川	有	一般道		不明

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)　漆畑　雄一朗

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	土砂詰まり	写真1,排水ます02			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	排水ますに土砂詰まりが見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1995年	12.50m	15.70m
橋梁形式		
PC単純プレテン床版橋		

起点側

終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

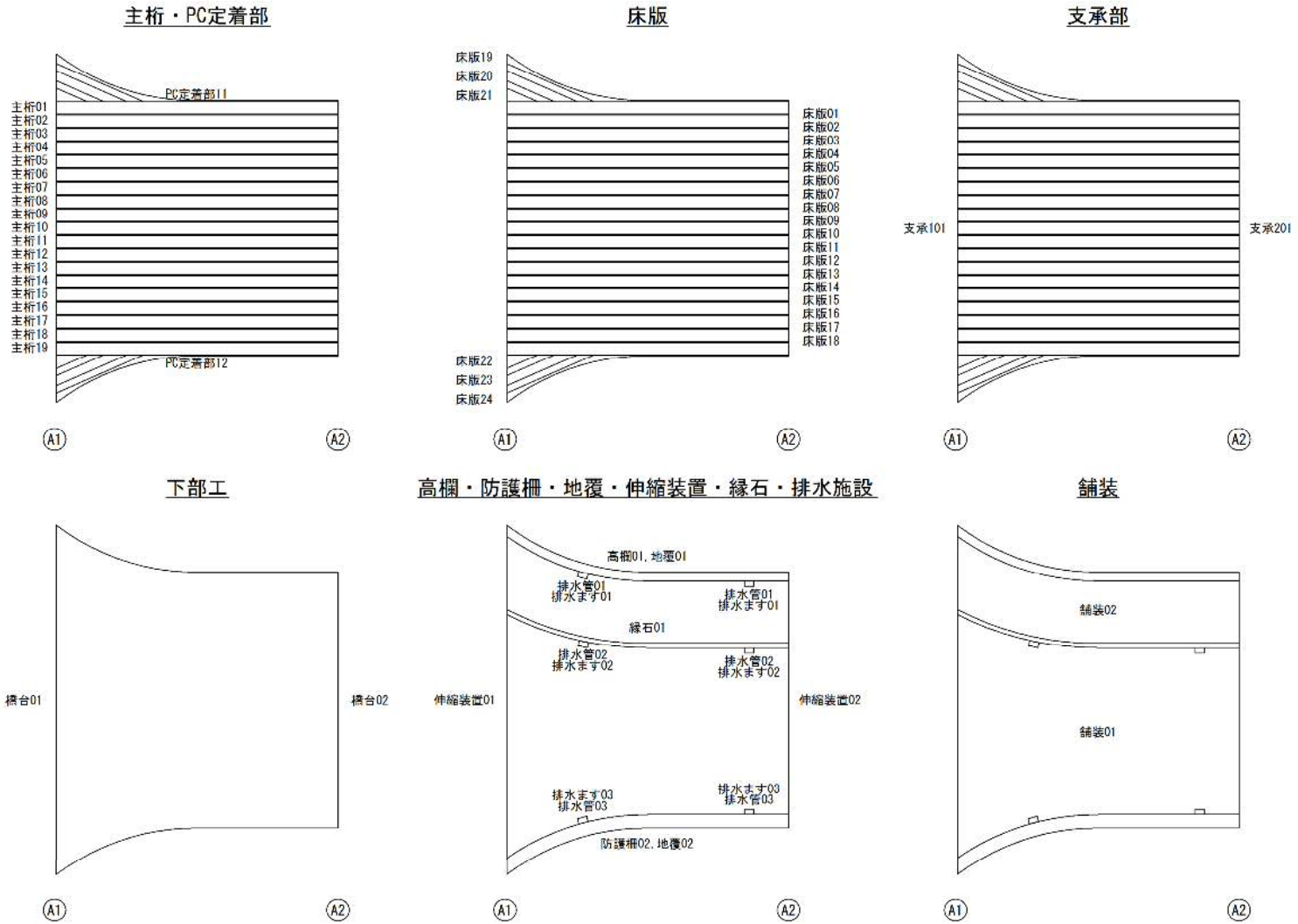
〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他(排水ます02)【判定区分:　Ⅱ　】	【判定区分:　　】
写真番号1 排水ます（排水管全体）に土砂詰まりが見られる。	
【判定区分:　　】	【判定区分:　　】

付図-1　部材番号図	径 間 番 号	1

フリガナ 橋　梁　名	オゾネバシ 大曽根橋	路　線　名	大曽根島合線	所在地	袖ケ浦市大曽根115地先

部材番号図



16. 川原井石崎橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35°　24′　43.96″	橋梁ID
				経度	140°　04′　08.35″	35.412211,140.068986
川原井石崎橋 (フリガナ)カワハライイシザキバシ	川原井林線	袖ケ浦市川原井498地先				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市	2019.11.5	松川	有	一般道		水道管

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)　漆畑　雄一朗

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅱ	植生	写真1,竪壁01			
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	土砂堆積,欠損	写真2,3,舗装01,伸縮装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	竪壁に植生が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
2001年	11.13m	9.90m
橋梁形式		
PC単純プレテン床版橋		

起点側

終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

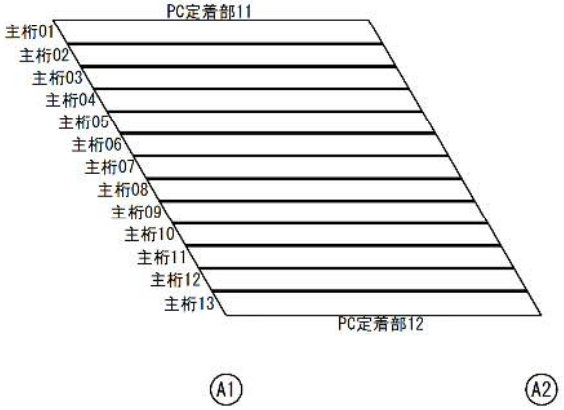
下部構造(橋台01)【判定区分：　Ⅱ　】	その他(舗装01)【判定区分：　Ⅱ　】
写真番号1 竪壁に植生が見られる。	写真番号2 舗装に土砂堆積が見られる。
その他(伸縮装置01)【判定区分：　Ⅱ　】	【判定区分：　　】
写真番号3 伸縮装置に欠損が見られる。	

付図-1　部材番号図	径 間 番 号	1

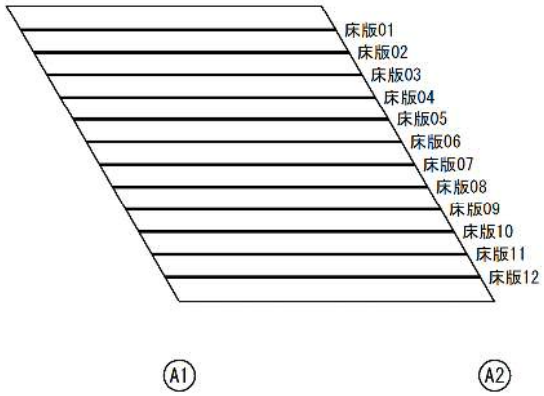
フリガナ 橋　梁　名	カワハライインザキバシ 川原井石崎橋	路　線　名	川原井林線	所在地	袖ケ浦市川原井498地先

部材番号図

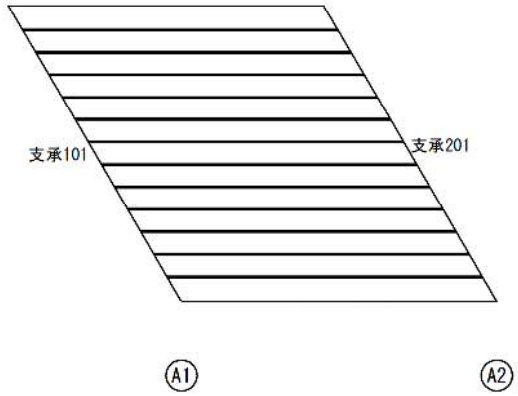
主桁・PC定着部



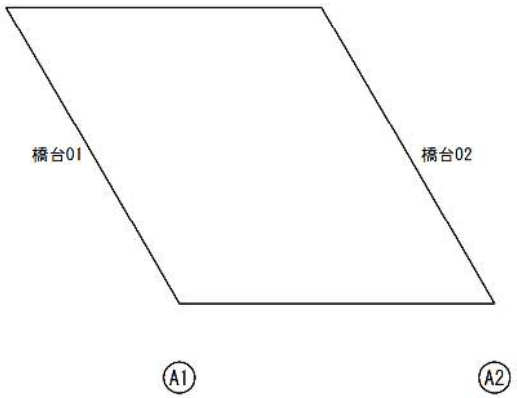
床版



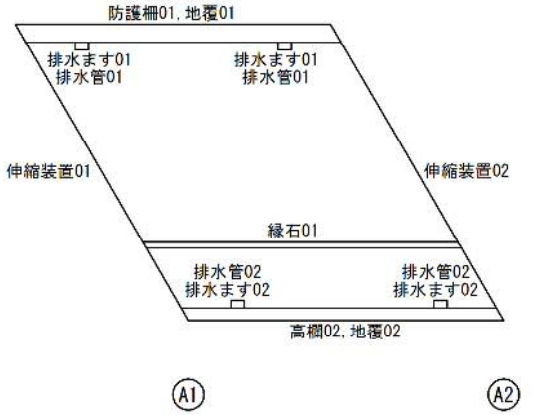
支承部



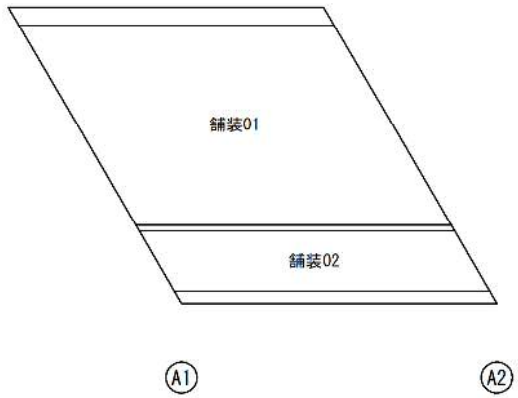
下部工



高欄・防護柵・地覆・伸縮装置・縁石・排水施設



舗装



17. 百目木志保沢橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35°　22′　42.45″	橋梁ID
				経度	140°　02′　42.14″	35.378458,140.045039
百目木志保沢橋 (フリガナ)ドウメキシホサワバシ	百目木2号線	袖ケ浦市百目木727地先				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市	2019.11.5	不明	有	一般道		なし

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)　漆畑　雄一朗

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁	Ⅱ	漏水、腐食、余長不足	写真1,PC定着部12			
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅱ	植生,土砂堆積	写真2,橋台01			
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	舗装の異常	写真3,舗装01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	PC定着部に漏水および腐食、ﾎﾞﾙﾄの余長不足、竪壁前面に土砂等が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
不明	9.19m	4.25m
橋梁形式		
PC単純プレテン床版橋		

起点側

終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2　様式1様式2　　様式2

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

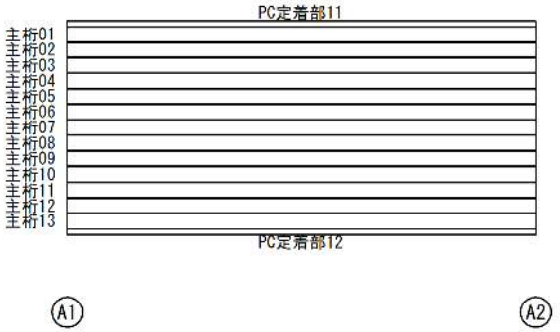
上部構造(PC定着部12)【判定区分:　Ⅱ　】	その他(舗装01)【判定区分:　Ⅱ　】
写真番号1 PC定着部に漏水および腐食、また、ボルトに余長不足が見られる。	写真番号2 竪壁前面に土砂堆積および植生が見られる。
その他(舗装01)【判定区分:　Ⅱ　】	【判定区分:　　】
写真番号3 舗装にひびわれが見られる。	

付図-1　部材番号図	径 間 番 号	1

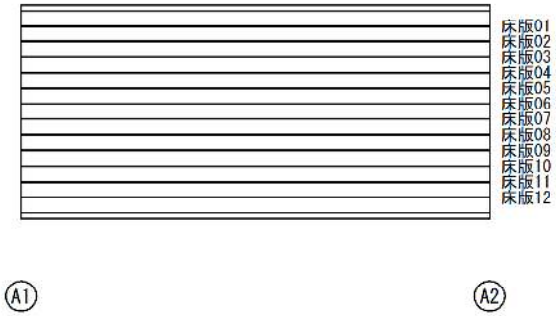
フリガナ 橋　梁　名	ドウメキシホサワバシ 百目木志保沢橋	路　線　名	百目木2号線	所在地	袖ケ浦市百目木727地先

部材番号図

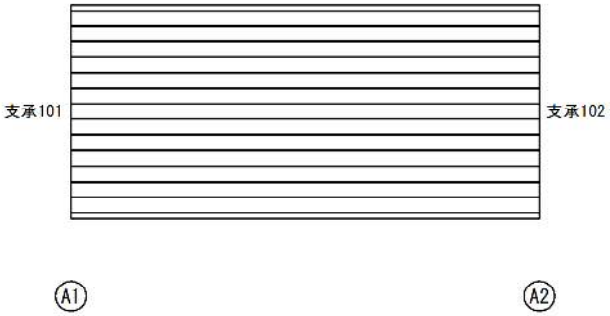
主桁・PC定着部



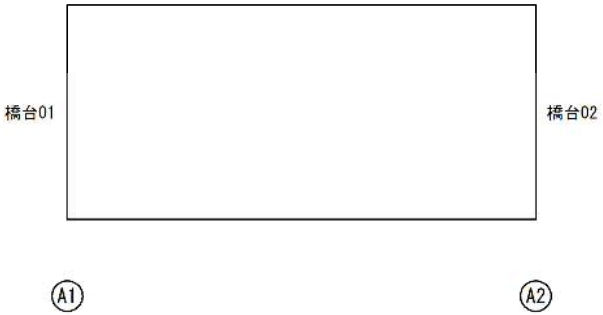
床版



支承部

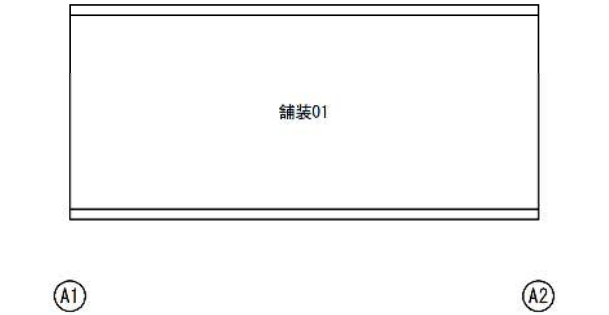


下部工



防護柵・地覆

舗装



18. 百目木暮田橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35°　22′　48.90″	橋梁ID
				経度	140°　02′　13.67″	35.380250,140.037131
百目木暮田橋 (フリガナ)ドウメキクレタバシ	百目木木下内橋線	袖ケ浦市百目木329-4地先				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市	2019.11.5	不明	有	一般道		水道管

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)　漆畑　雄一朗

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
不明	5.94m	5.92m
橋梁形式		
RC単純床版橋(場所打ち)		

起点側

終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

【判定区分:　　】	【判定区分:　　】
【判定区分:　　】	【判定区分:　　】

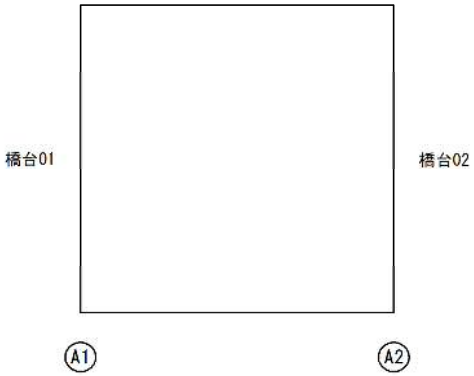
付図-1　部材番号図	径 間 番 号	1

フリガナ 橋　梁　名	ドウメキクレタバシ 百目木暮田橋	路　線　名	百目木木下内橋線	所在地	袖ケ浦市百目木329-4地先

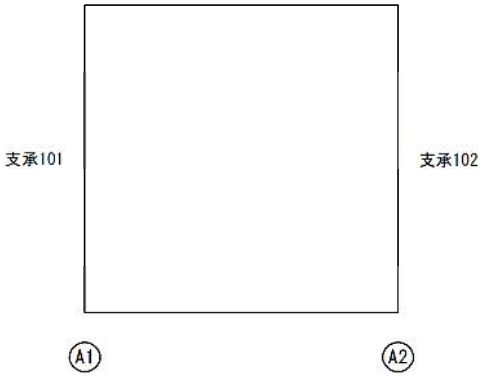
部材番号図

主桁

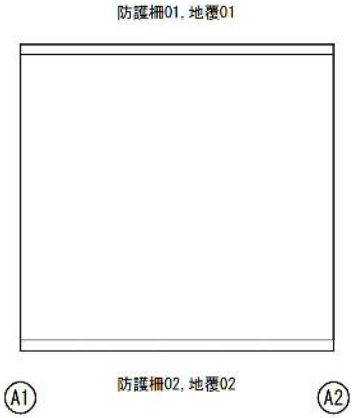
下部工



支承部

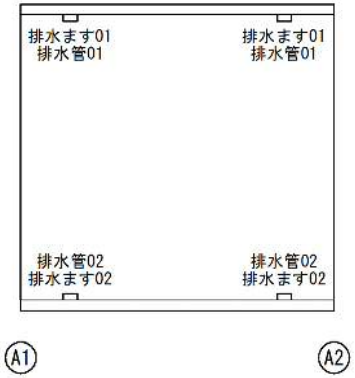


防護柵・地覆



舗装

排水施設



19. 大原橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 23′ 39.04″	橋梁ID
				経度	140° 00′ 58.79″	35.394178,140.016331
大原橋 (フリガナ)オオハラハシ	代宿横田線	袖ケ浦市横田4535地先				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市	2019.11.12	松川	有	一般道		不明

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)　　定期点検者　開発虎ノ門コンサルタント(株)　漆畑　雄一朗

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁	Ⅰ					
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	腐食,欠損,段差	写真1～4,排水01,伸縮02,舗装02			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	排水管に孔食を伴う腐食、伸縮装置のシール材に欠損、舗装に段差が見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1988年	35.50m	9.50m
橋梁形式		
PC単純プレテンT桁橋		

起点側

終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

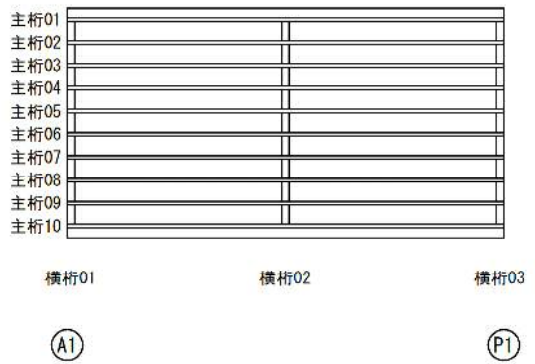
その他(排水管01)【判定区分：　Ⅱ　】	その他(排水管01)【判定区分：　Ⅱ　】
写真番号1 排水管に孔食を伴う腐食が見られる。	写真番号2 写真番号1の近接写真
その他(伸縮装置02)【判定区分：　Ⅱ　】	**その他(舗装02)【判定区分：　Ⅱ　】**
写真番号3 伸縮装置に欠損が見られる。	写真番号4 舗装に段差が見られる。 起点側：35mm 終点側：28mm

付図-1　部材番号図	径 間 番 号	1

フリガナ 橋　梁　名	オオハラバシ 大原橋	路　線　名	代宿横田線	所在地	袖ケ浦市横田4535地先

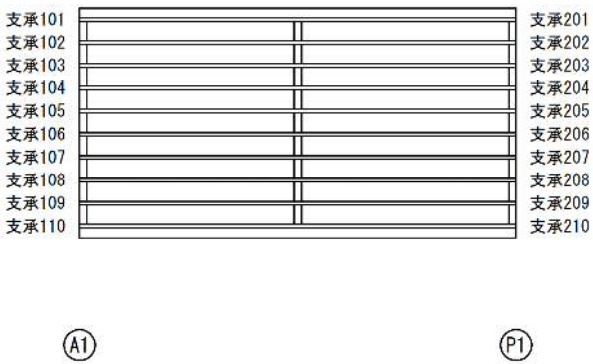
部材番号図

主桁・横桁



PC定着部・床版

支承部



下部工

高欄・防護柵・地覆・伸縮装置・縁石・排水施設

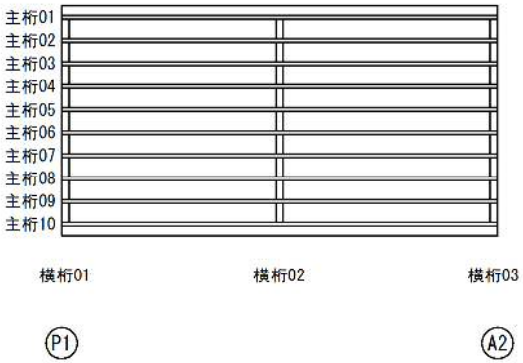
舗装

付図-1　部材番号図	径 間 番 号	2

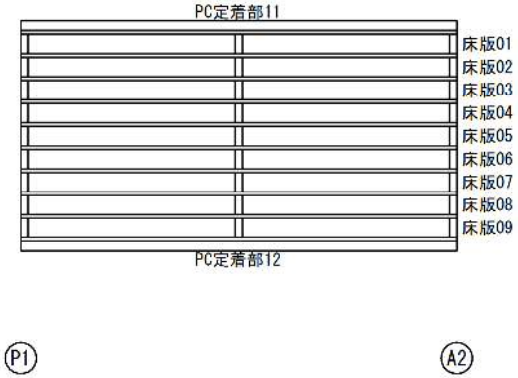
フリガナ 橋　梁　名	オオハラバシ 大原橋	路　線　名	代宿横田線	所在地	袖ケ浦市横田4535地先

部材番号図

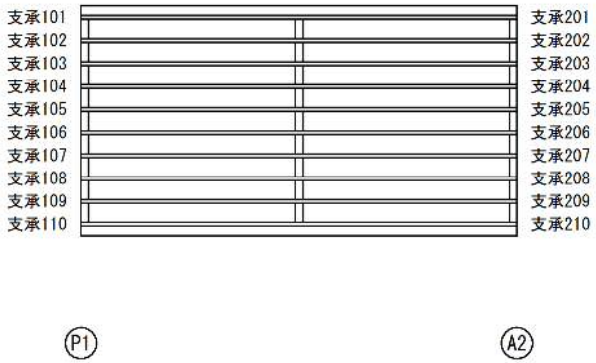
主桁・横桁



PC定着部・床版



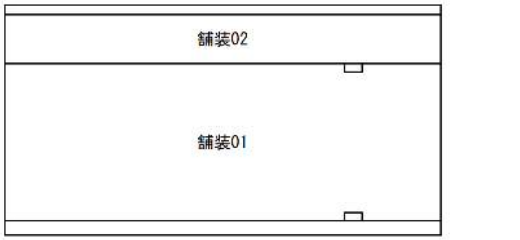
支承部



下部工

高欄・防護柵・地覆・伸縮装置・縁石・排水施設

舗装



20. 無名橋(109)

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 23′ 13.37″	橋梁ID
				経度	140° 02′ 43.48″	35.387047,140.045411
無名橋(109) (フリガナ)ムメイキョウ(109)	三箇下町目線	袖ケ浦市三箇1062-4地先				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市	2019.11.5	不明	有	一般道		なし

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)　漆畑　雄一朗

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	段差	写真1,舗装01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分) Ⅰ	(所見等) 舗装に段差が見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
不明	4.20m	8.20m
橋梁形式		
RC単純床版橋(場所打ち)		

起点側

終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

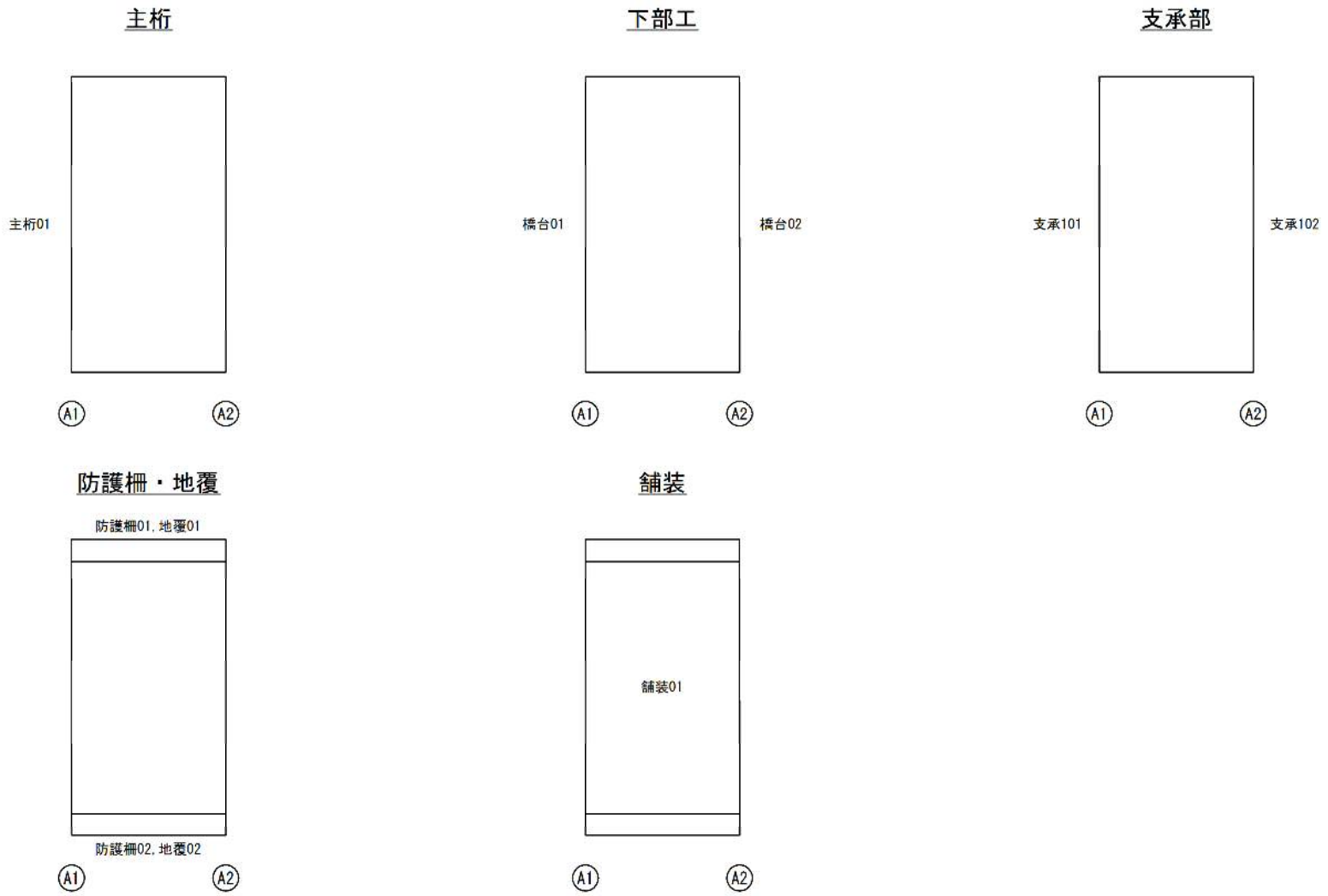
〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他(舗装01)【判定区分:　Ⅱ　】	【判定区分:　　】
写真番号1 舗装に段差が見られる。 起点側:H＝50mm	
【判定区分:　　】	【判定区分:　　】

付図-1　部材番号図	径 間 番 号	1

フリガナ 橋　梁　名	ﾑﾒｲﾊﾞｼ(109) 無名橋(109)	路　線　名	三箇下町目線	所在地	袖ケ浦市三箇1062-4地先

部材番号図



21. ボックスカルバート④

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35°　24′　50.10″	橋梁ID
				経度	139°　59′　29.54″	35.413917,139.991539
ボックスカルバート④ (フリガナ)ボックスカルバート④	飯富22号線	袖ケ浦市飯富1883地先				

管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市	2019.11.6	用水路	有	一般道		なし

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)　漆畑　雄一朗

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅰ					
支承部							
その他		Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分) Ⅰ	(所見等) 道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
不明	2.96m	3.70m
橋梁形式		
ボックスカルバート(場所打ち)		

起点側

終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

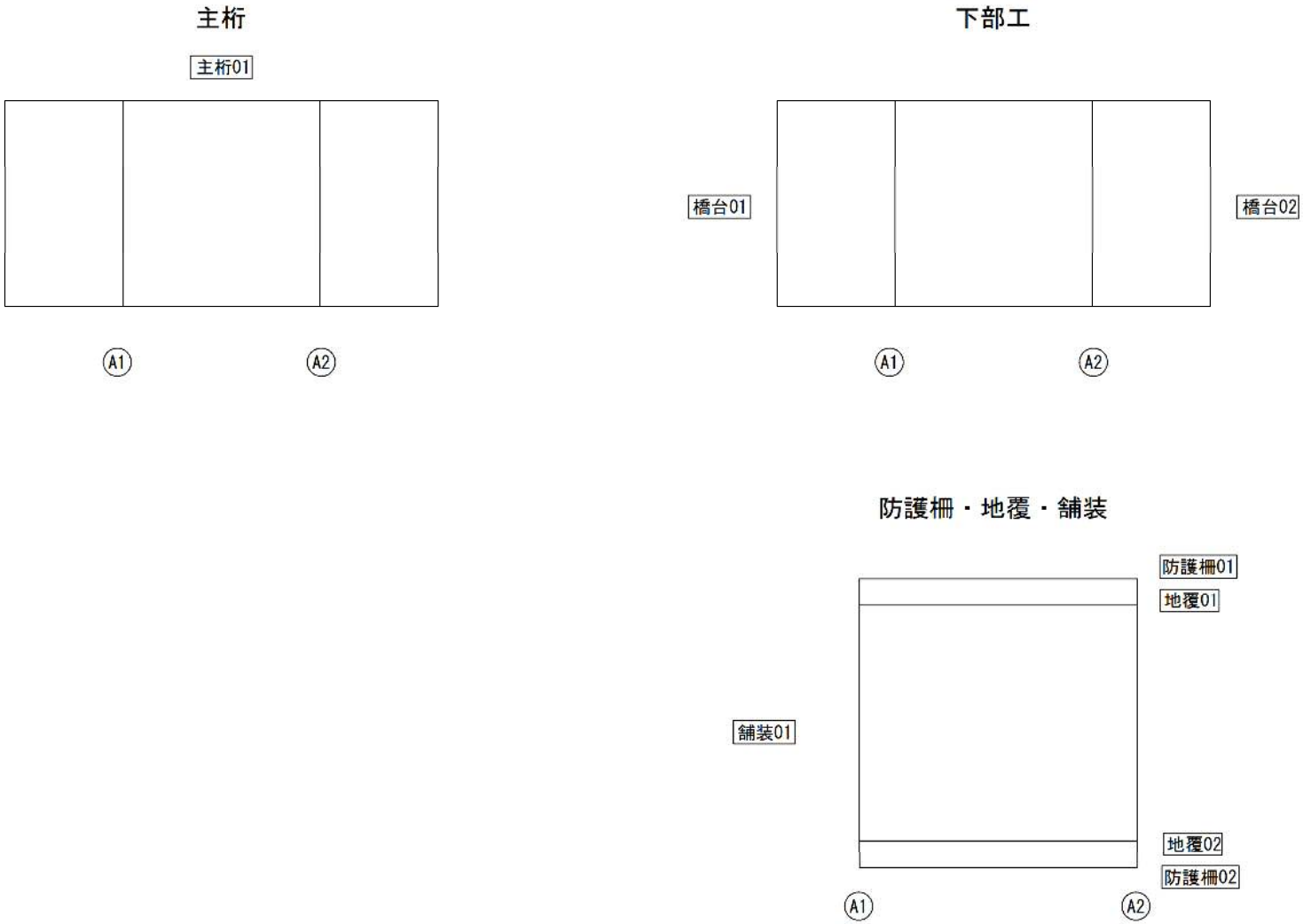
状況写真（損傷状況）

〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

【判定区分:　　】	【判定区分:　　】
【判定区分:　　】	【判定区分:　　】

付図-1　部材番号図	径 間 番 号	1

フリガナ 橋　梁　名	ボックスカルバート④ ボックスカルバート④	路　線　名	飯富22号線	所在地	袖ケ浦市飯富1883地先

部材番号図